

令和 7 年度
青葉区区民意識調査
調査結果報告書

令和 8 年 1 月
横浜市青葉区

目次

I 調査の概要	3
1. 調査の目的	4
2. 調査の方法	4
3. 調査の項目	4
4. 調査票回収結果	4
5. 集計方法	4
6. 調査結果の見方	5
II 調査の結果	6
1. あなた自身について	7
2. 生活環境・定住意識・区や市への愛着について	14
3. 将来について	30
4. 地域のつながりについて	32
5. 防災・防犯について	43
6. 広報について	47
7. 健康について	49
8. 高齢化対策・障害者支援について	57
9. 脱炭素化に向けた取組について	59
10. DX（デジタル・トランスフォーメーション）について	63
III 調査票	64

設問別 ページ対応一覧

	設問	頁
あなた自身について	F1 あなたの年齢をお答えください。	7
	F2 あなたの性別をお答えください。	7
	F3 あなたの世帯の家族構成はどれにあたりますか。	8
	F4 あなたにお子さんはいますか。いる場合、お子さんは次のどの段階に当たりますか。別居しているお子さんも含め全員について、それぞれお答えください。	8
	F5 あなたの同居の家族に 65 歳以上の方はいますか。(自分も含めて)	9
	F6 配偶者(パートナー)はいらっしゃいますか。	9
	F6-1 あなたの配偶者(パートナー)のご職業は何ですか。	10
	F7 あなたの職業はどれにあたりますか。	10
	F7-1 あなたが主に就労・就学している場所はどこですか。	11
	F8 あなたのお住まいは、この中のどれにあたりますか。	11
	F9 あなたは、青葉区(平成5年以前は緑区北部支所管内)にどのくらいの期間お住まいになっていますか。	12
	ライフステージ別	12
生活環境・定住意識・区や市への愛着	問1 あなたは、現在のお住まいの周辺の生活環境をどのように感じていますか。	14
	問2 あなたは、青葉区や横浜市に対して、愛着や誇りを感じていますか。青葉区、横浜市それぞれについてお答えください。	16
	問3 あなたが青葉区に住んだきっかけや理由は何ですか。	19
	問4 あなたは、青葉区に住みつづけたと思いますか。	19
	問5 あなたは、将来、青葉区がどのようなまちであってほしいと思いますか。	22
	問6 現在のお住まいの住環境について(ア)現在の状況と(イ)以前(4, 5年前)と比べた変化、それぞれについて該当する番号に○を付けてください。	24
	問6-1 上記(1)～(21)の質問項目のうち、お住まいの住環境にとって、特にどれが重要だと思いますか。	28
将来	問7 あなたは、自由に使える時間ができたとき(子育て後や退職後など)、どのような生活像を描いていますか。	30
	問8 もし、将来、あなたに介護が必要になったとき、どのような生活を望みますか。	30
	問9 あなたにとって、将来の不安に感じる点はどのようなことですか。	31
地域のつながり	問10 あなたは、自治会・町内会に加入していますか。	32
	問10-1 自治会・町内会へ加入していない理由は何ですか。	34
	問11 あなたは、地域活動に参加していますか、または、参加したいと思いますか。	35
	問12 あなたは、地域活動に関する情報に満足していますか。	38
	問13 あなたが地域活動に参加する場合、期待することは何ですか。	38
	問14 あなたは、地域とどのように関わっていきたいと思いますか。	39
	問14-1 地域と関わりたくない理由は何ですか。	40
	問15 あなたは、地域の困っている人にどのような手助けができると思いますか。また、少し困ったことがあった場合、地域から手助けしてもらいたいことはありますか。	41

防災・防犯	問16 あなたが実施している防災対策は何ですか。	43
	問17 大きな地震が発生したとき、あなたはどこで避難生活を送りたいですか。	44
	問17-1 避難所を選択した理由は何ですか。	44
	問18 あなたやあなたと一緒に住んでいる家族に、災害時要援護者の方はいらっしゃいますか。	45
	問18-1 あなたやあなたと一緒に住んでいる家族で、災害発生時の対応としてあてはまるものに○をしてください。	45
	問19 あなたが実施している防犯対策は何ですか。	46
	問20 地域の防犯対策として、どのようなことが効果があると思いますか。	46
広報	問21 あなたは、青葉区役所からのお知らせや地域情報をどこで知りますか。	47
健康	問22 あなたの健康状態はいかがですか。最近の状況に最も近いものに○をしてください。	49
	問23 あなたは、ご自身の健康のためにどのようなことに気を付けていますか。	51
	問24 あなたは、1回30分以上の運動をどのくらいの頻度で行っていますか。	53
	問25 概ね過去1年以内に受診した健診・検診はありますか。	55
	問25-1 受診していない理由は何ですか。	56
障害対高齢者策 支・化 援	問26 今後、高齢者人口が増加する中で、青葉区はどの施策に力を入れていくべきと思いますか。	57
	問27 あなたは、どのような取組があると障害者への理解が進むと思いますか。	58
脱炭素化	問28 あなたは、「脱炭素化」に向けた取組について、どの程度取り組んでいますか。	59
	問28-1 その理由は何ですか。	60
	問29 あなたが「脱炭素化」につながる行動で既に取り組んでいること、今後取り組んでみたいと思うことはありますか。	61
D X	問30 あなたが区役所のデジタル化に期待する分野・サービスは何ですか。	63

I 調査の概要

1. 調査の目的

区民の意識やニーズ等を的確に把握するための分析及び分析結果をまとめた報告書を作成し、青葉区の運営方針の基本目標である『『住みつづけたい・住みたいまち 青葉』の実現』に向けた区政運営や政策立案の基礎資料として活用する。

2. 調査の方法

- (1) 調査地域：横浜市青葉区
- (2) 調査対象：5,000 人（青葉区内に居住する満 18 歳以上の個人、うち外国人 75 人）
- (3) 抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出
- (4) 調査方法：郵送又はインターネット回答によるアンケート方式
- (5) 調査期間：令和 7 年 6 月 2 日（月）～6 月 20 日（金）

3. 調査の項目

- (1) あなた自身について
- (2) 生活環境・定住意識・区や市への愛着について
- (3) 将来について
- (4) 地域のつながりについて
- (5) 防災・防犯について
- (6) 広報について
- (7) 健康について
- (8) 高齢化対策・障害者支援について
- (9) 脱炭素化に向けた取組について
- (10) DX（デジタル・トランスフォーメーション）について

4. 調査票回収結果

有効回答数：2,127

回収率：42.5%（ $2,127 \div 5,000 \times 100$ ）

5. 集計方法

単純集計／クロス集計

6. 調査結果の見方

- (1) n は質問に対する回答者数で、100%が何人の回答に相当するかを示す割合算出の基数である。
設問によっては、回答対象が限られるため、有効回答数にならない場合がある。
- (2) 設問により回答がなくても、全体のいずれかに回答していれば、有効回答数に含める。
- (3) 百分比は n を 100.0%として算出し、小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示している。このため、内訳の合計が 100.0%に満たない場合や、上回る場合がある。
- (4) 複数回答の設問では、百分比の合計が 100.0%を上回る場合がある。
- (5) クロス集計では無回答・無効票は表示しないため、合計値が各選択肢の回答総数と一致しない場合がある。
- (6) 本文や図表中の選択肢表記では、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (7) 無作為抽出を用いた場合の標本誤差（サンプル誤差）は、信頼度を 95%としたとき、次の式によって得られる。標本誤差の幅は、割合算出の基数(n)及び回答割合 (P) によって異なる。

<標本誤差の計算式>

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P \times (1-P)}{n}}$$

N = 母集団数
n = 回答件数
P = 回答割合 (%)

<標本誤差早見表>

	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%
3,000 人	±1.07%	±1.42%	±1.63%	±1.74%	±1.78%
2,127 人	±1.27%	±1.69%	±1.94%	±2.07%	±2.12%
2,000 人	±1.31%	±1.75%	±2.00%	±2.14%	±2.18%
1,000 人	±1.86%	±2.47%	±2.83%	±3.03%	±3.09%
500 人	±2.63%	±3.50%	±4.01%	±4.29%	±4.38%

※母集団は横浜市青葉区全体の満 18 歳以上人口 261,417 人である。(令和 7 年 3 月 31 日)

<標本誤差の見方>

例えば、「ある設問の回答者数が 2,127 であり、その設問中の回答割合が 60%であった場合、その回答割合の誤差の範囲は最高でも 2.07%以内 (57.93%~62.07%) である」とみることができる。

ただし、信頼度が 95%であるので、そのように判断することは 95%の確率で正しいことになる。

(8) クロス集計結果の見方

- ・濃いグレーの塗りつぶし：選択肢の中で、第1位の項目については濃いグレーで塗りつぶし、数値を反転表示している。
- ・薄いグレーの塗りつぶし：属性別にみて、特徴的な項目（区全体の数値と比べて概ね 10 ポイント以上数値が高い項目）については、薄いグレーで塗りつぶして特記している。

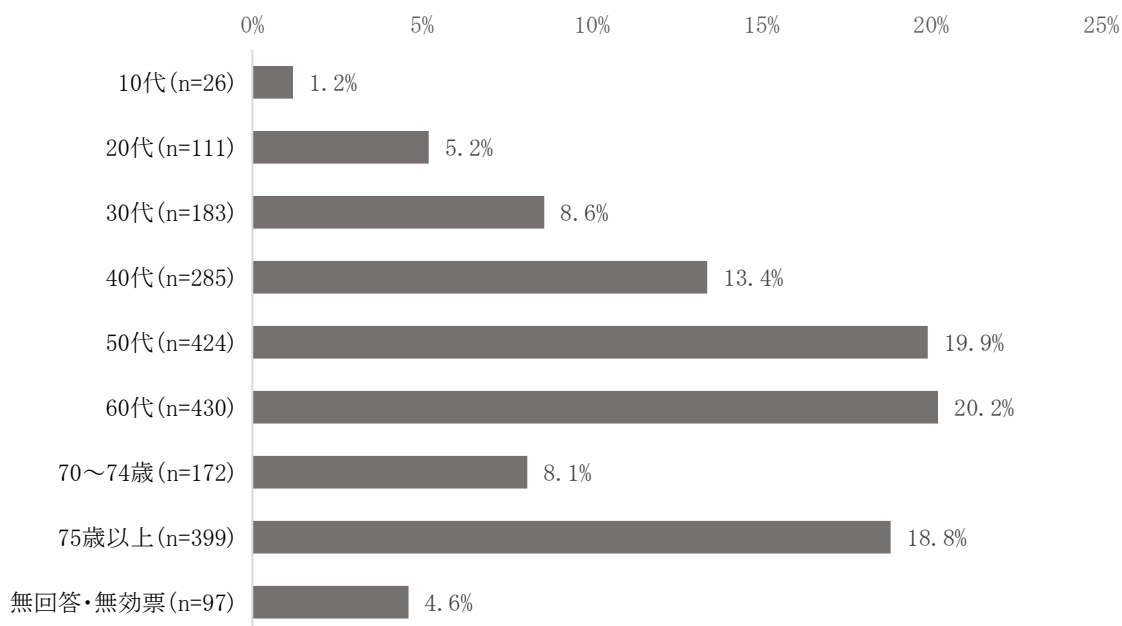
Ⅱ 調査の結果

1. あなた自身について

F 1 あなたの年齢をお答えください。(○は1つだけ)

年代ごとの回答者割合は、「60代」が20.2%と最も高く、次いで「50代」が19.9%となっている。以下、「75歳以上」が18.8%、「40代」が13.4%と続いている。

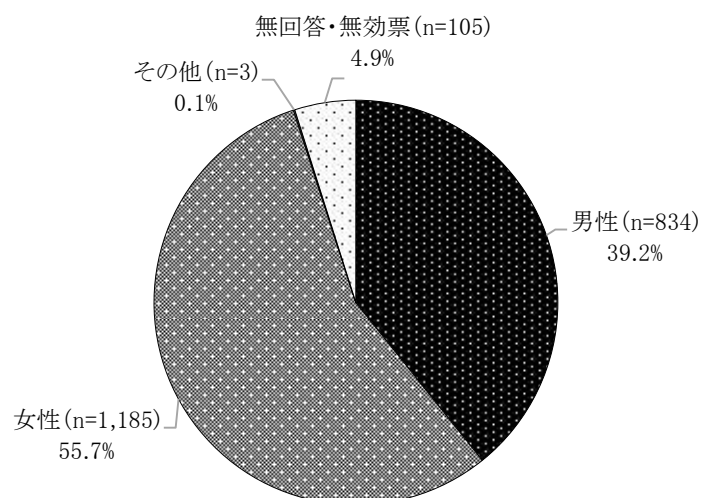
【全体集計】n=2,127



F 2 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

性別ごとの回答者割合は、「女性」が55.7%、「男性」が39.2%となっている。

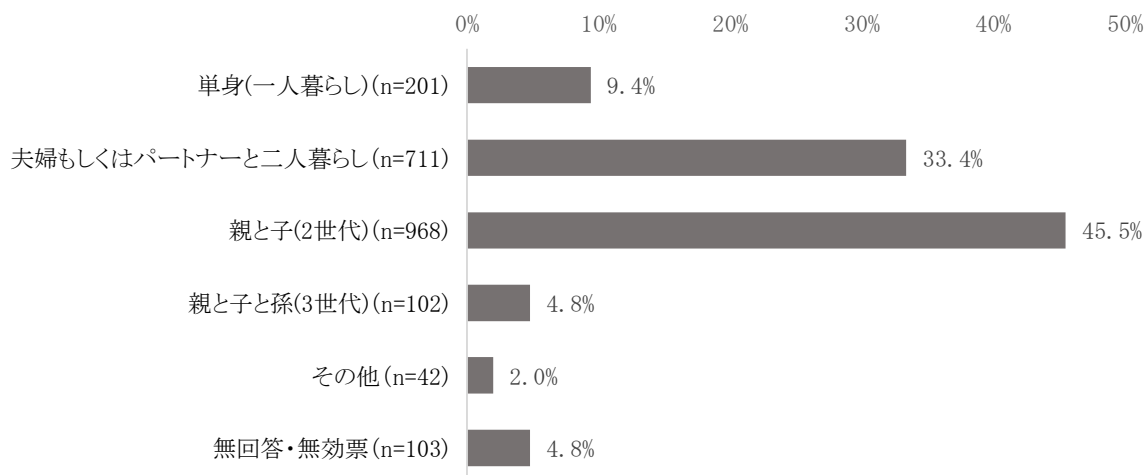
【全体集計】n=2,127



F 3 あなたの世帯の家族構成はどれにあたりますか。(○は1つだけ)

世帯の家族構成は、「親と子(2世代)」が45.5%と割合が最も高く、次いで「夫婦もしくはパートナーと二人暮らし」が33.4%となっている。以下、「単身(一人暮らし)」が9.4%、「親と子と孫(3世代)」が4.8%と続いている。

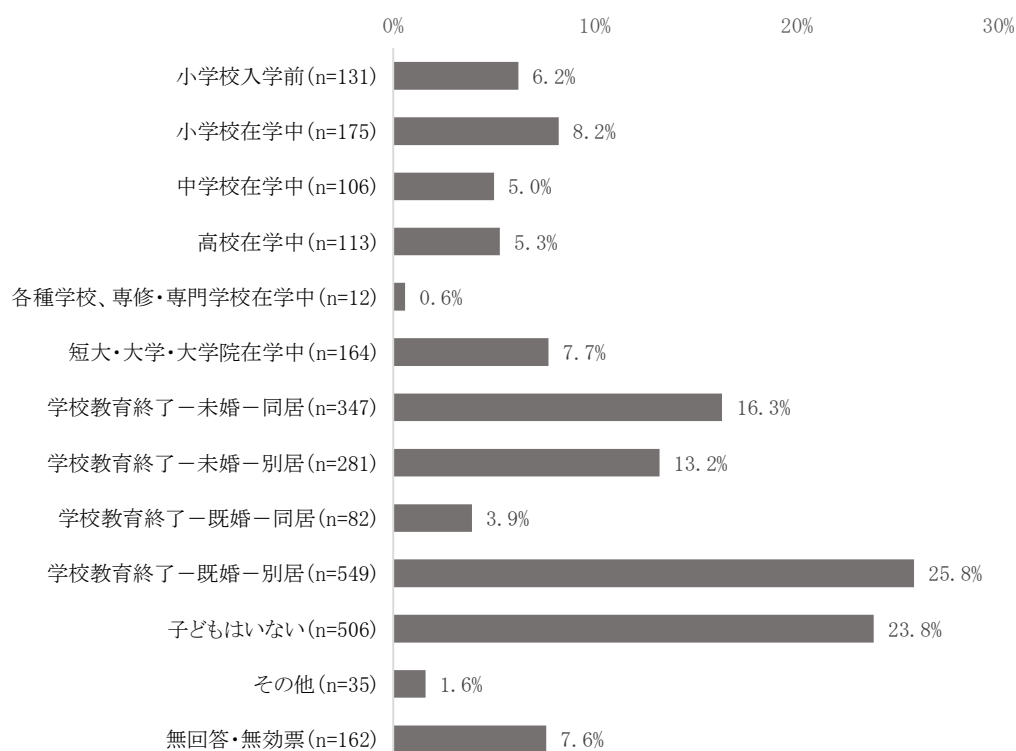
【全体集計】 n=2,127



F 4 あなたにお子さんはいますか。いる場合、お子さんは次のどの段階に当たりますか。別居しているお子さんも含め全員について、それぞれお答えください。(○はいくつでも)

子どもの有無及び成長段階は、「学校教育終了—既婚—別居」が25.8%と割合が最も高く、次いで「子どもはいない」が23.8%となっている。以下、「学校教育終了—未婚—同居」が16.3%、「学校教育終了—未婚—別居」が13.2%と続いている。

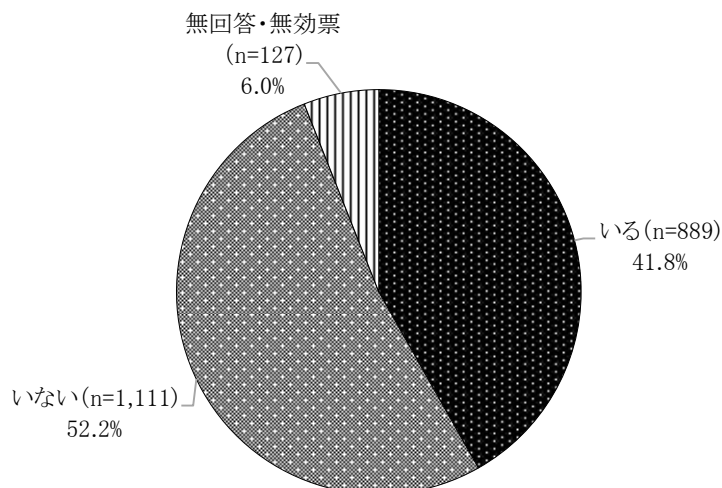
【全体集計】 n=2,127



F 5 あなたの同居の家族に 65 歳以上の方はいますか。(自分も含めて) (○は1つだけ)

同居の家族に 65 歳以上の方がいる割合は、「いない」が 52.2%と半数以上を占めており、「いる」が 41.8%となっている。

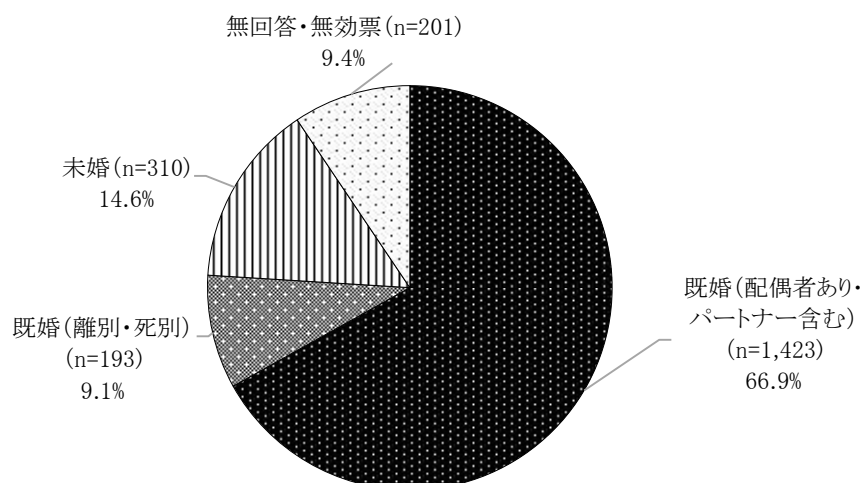
【全体集計】 n=2, 127



F 6 配偶者（パートナー）はいらっしゃいますか。(○は1つだけ)

配偶者の有無は、「既婚（配偶者あり・パートナー含む）」が 66.9%と割合が最も高く、次いで「未婚」が 14.6%となっている。「既婚（離別・死別）」は 9.1%となっている。

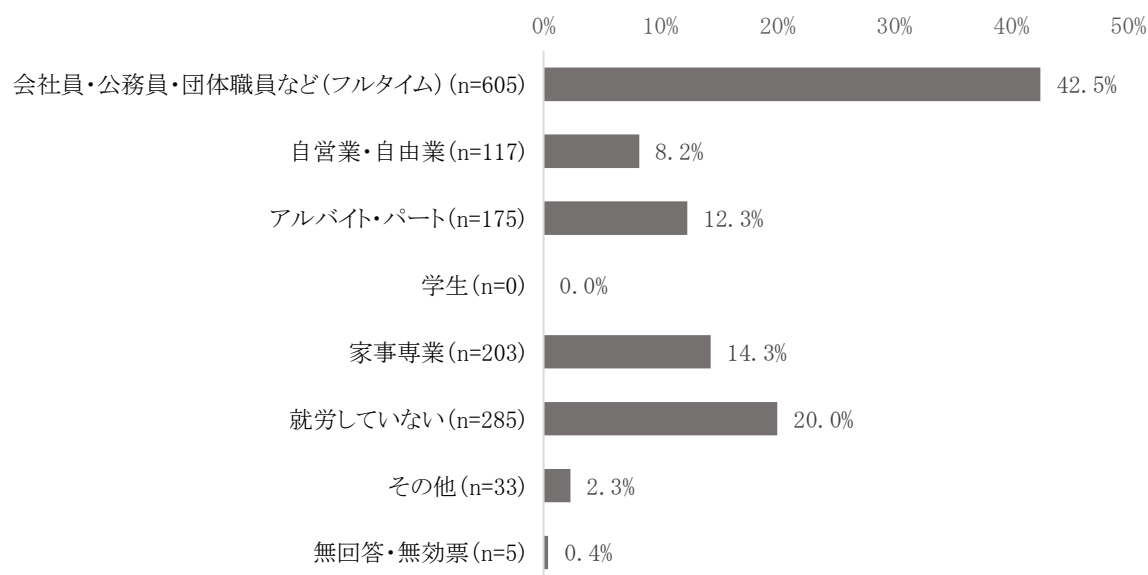
【全体集計】 n=2, 127



F 6－1 あなたの配偶者（パートナー）のご職業は何ですか。（○は1つだけ）
※ F 6で「1 既婚（配偶者あり・パートナー含む）」と回答された方へ

配偶者（パートナー）の職業について、「会社員・公務員・団体職員など（フルタイム）」が42.5%と割合が最も高く、次いで「就労していない」が20.0%となっている。以下、「家事専業」が14.3%、「アルバイト・パート」が12.3%と続いている。

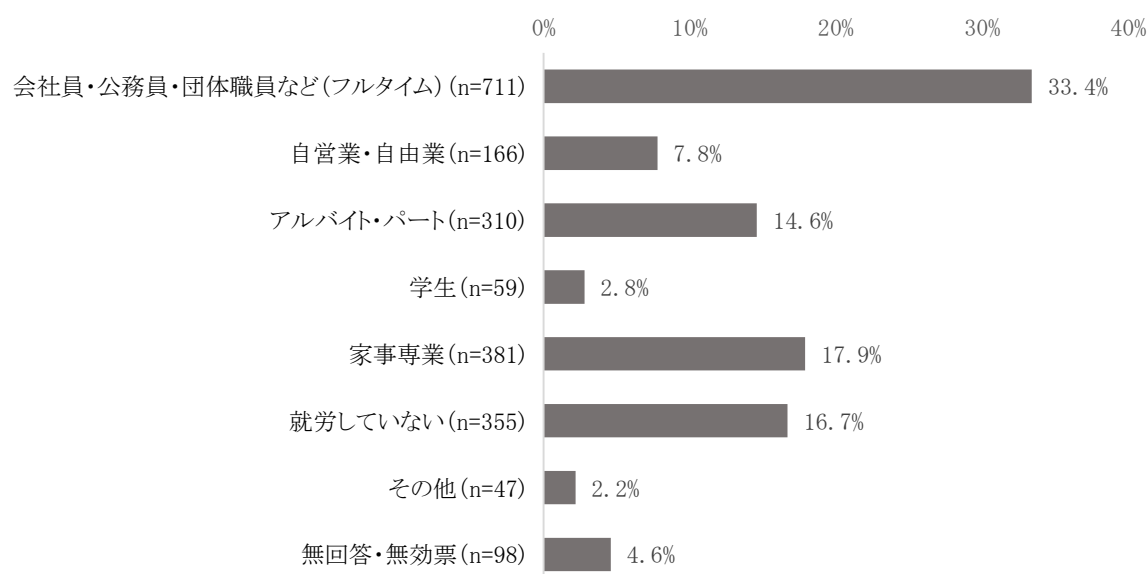
【全体集計】 n=1,423



F 7 あなたの職業はどれにあたりますか。（○は1つだけ）

回答者の職業の割合は、「会社員・公務員・団体職員など（フルタイム）」が33.4%と最も高く、次いで「家事専業」が17.9%となっている。以下、「就労していない」が16.7%、「アルバイト・パート」が14.6%と続いている。

【全体集計】 n=2,127

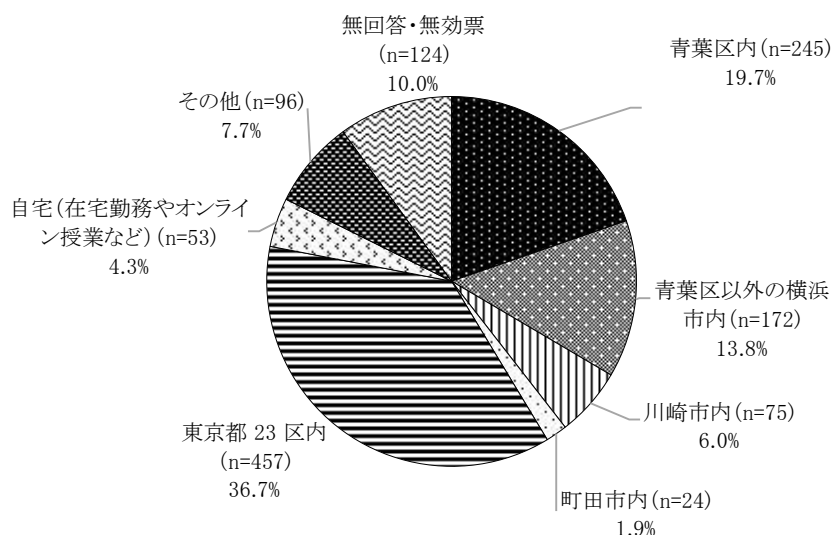


F 7－1 あなたが主に就労・就学している場所はどこですか。(○は1つだけ)

※F 7で「1 会社員・公務員・団体職員など（フルタイム）」～「4 学生」の中から回答された方へ

勤務先または在学先は、「東京都 23 区内」が 36.7%と割合が最も高く、次いで「青葉区内」が 19.7%となっている。以下、「青葉区以外の横浜市内」が 13.8%、「川崎市内」が 6.0%と続いている。

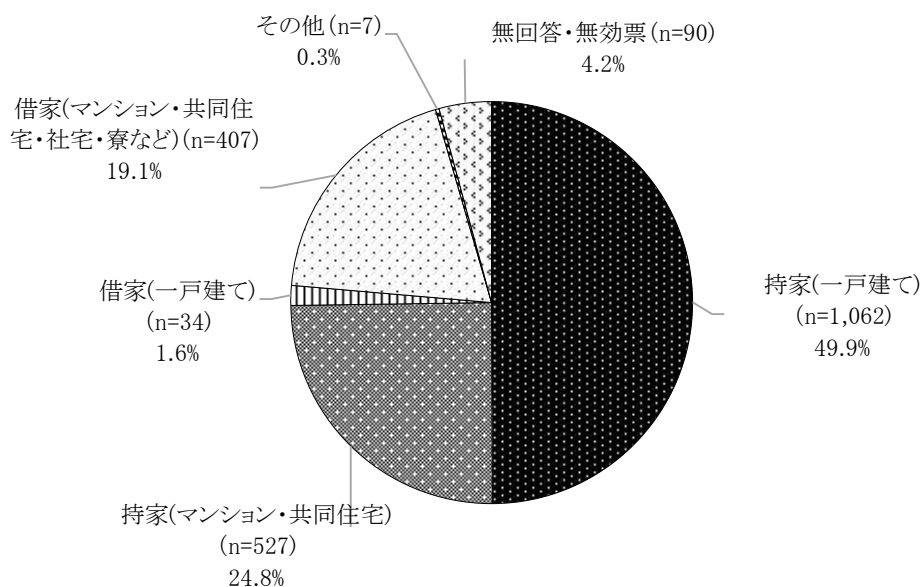
【全体集計】 n=1,246



F 8 あなたのお住まいは、この中のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

回答者の住まいの割合は、「持家(一戸建て)」が 49.9%と最も高く、次いで「持家(マンション・共同住宅)」が 24.8%、この2つを合わせると全体の7割以上を占めている。

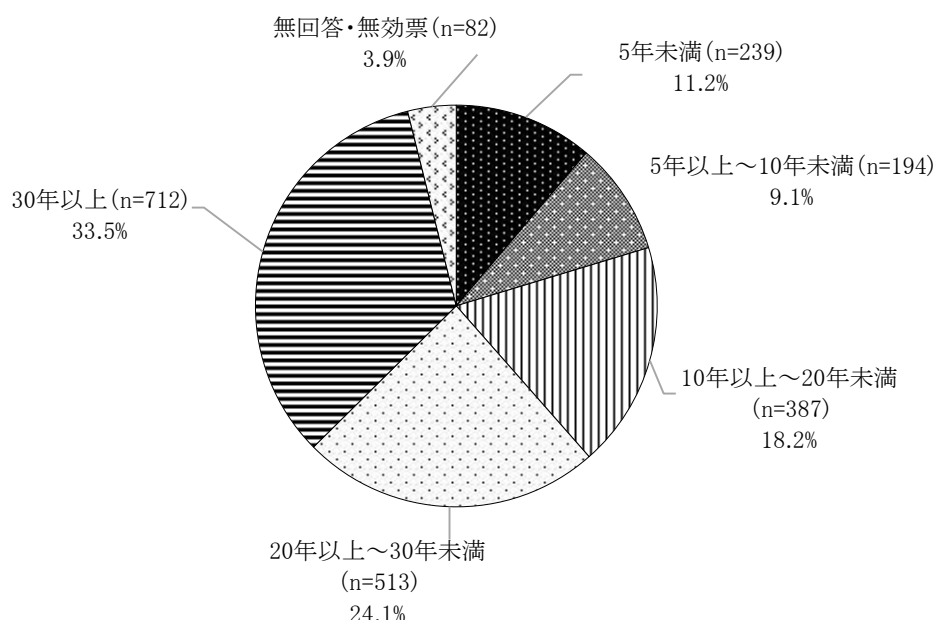
【全体集計】 n=2,127



F 9 あなたは、青葉区（平成5年以前は緑区北部支所管内）にどのくらいの期間お住まいになっていますか。（○は1つだけ）

回答者の青葉区の居住期間は、「30年以上」が33.5%と割合が最も高く、次いで「20年以上～30年未満」が24.1%、この2つを合わせると、全体の半数以上を超えている。以下、「10年以上～20年未満」が18.2%、「5年未満」が11.2%と続いている。

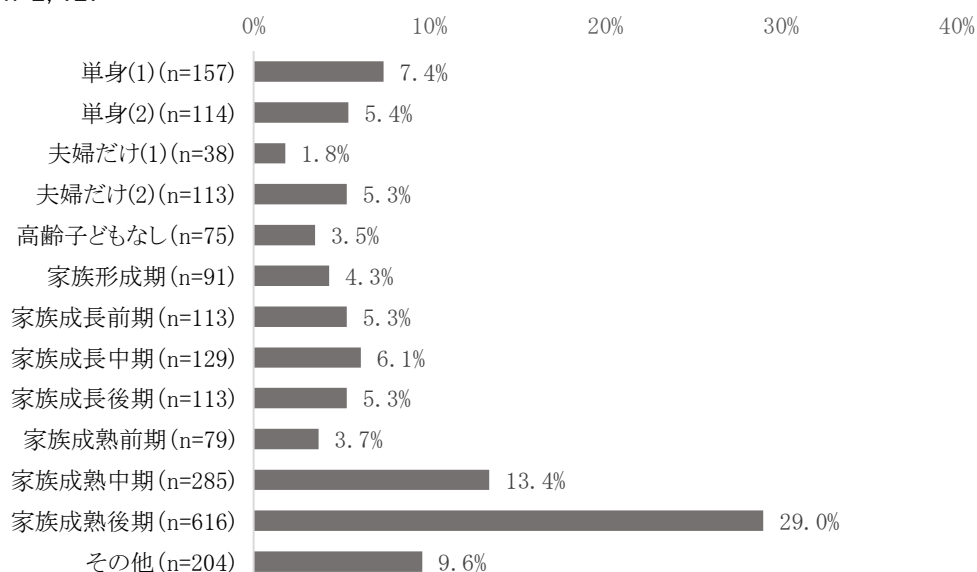
【全体集計】 n=2,127



●ライフステージ別集計

回答者のライフステージは、「家族成熟後期」が29.0%と割合が最も高く、次いで「家族成熟中期」が13.4%、以下、「単身（1）」が7.4%、「家族成長中期」が6.1%と続いている。

【全体集計】 n=2,127



<ライフステージとその構成条件>

ライフステージ 質問、項目名 選択肢名		1 単 身 (1)	2 単 身 (2)	3 夫 婦 だ け (1)	4 夫 婦 だ け (2)	5 高 齢 子 ど も な し	6 家 族 形 成 期	7 家 族 成 長 前 期	8 家 族 成 長 中 期	9 家 族 成 長 後 期	10 家 族 成 熟 前 期	11 家 族 成 熟 中 期	12 家 族 成 熟 後 期	そ の 他
子 ど も	子どもはいない いる(他選択)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
年 齢	40歳未満（1～5） 40歳～64歳（6～10） 65歳以上（11～13）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
未 ・ 既 婚	既婚（配偶者有） 既婚（離死別） 未婚	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
子 ど も の 成 長 段 階	小学校入学前 小学校在学中 中学校在学中 高校在学中 各種学校・専修・専門学校在学中 短大・大学・大学院在学中 学校教育終了 未婚・同居 未婚・別居 既婚・同居 既婚・別居	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

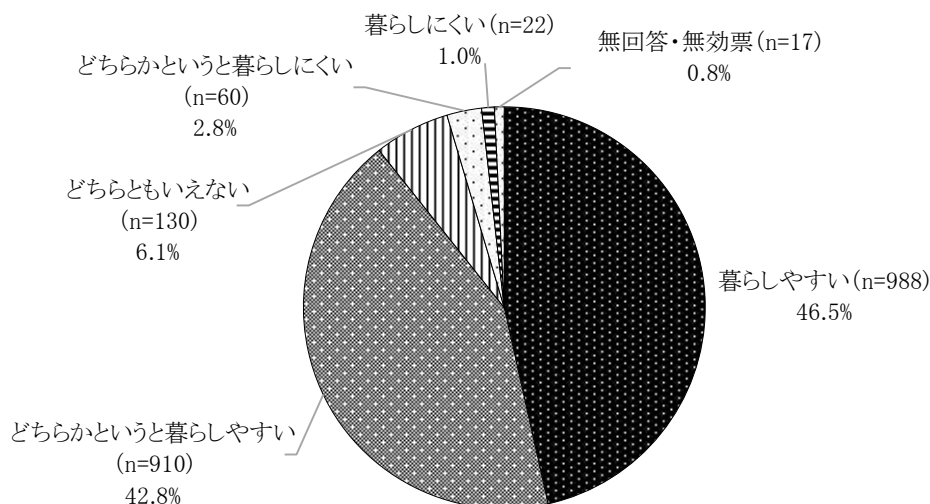
- (注1) 子どもの成長段階の欄のうち、「6家族形成期」、「7家族成長前期」、「8家族成長中期」、「9家族成長後期」の○印は、子どもが複数いる場合、第一子の状況とする。
- (注2) 子どもの成長段階の欄のうち、「10家族成熟前期」は、◎印及び○印がそれぞれ1つ以上あることを条件とする。
- (注3) 「その他」は、構成条件の質問で「その他」の回答や「無回答」があって、1～12以外のもの及分類不能なものである。

2. 生活環境・定住意識・区や市への愛着について

問1 あなたは、現在のお住まいの周辺の生活環境をどのように感じていますか。(〇は1つだけ)

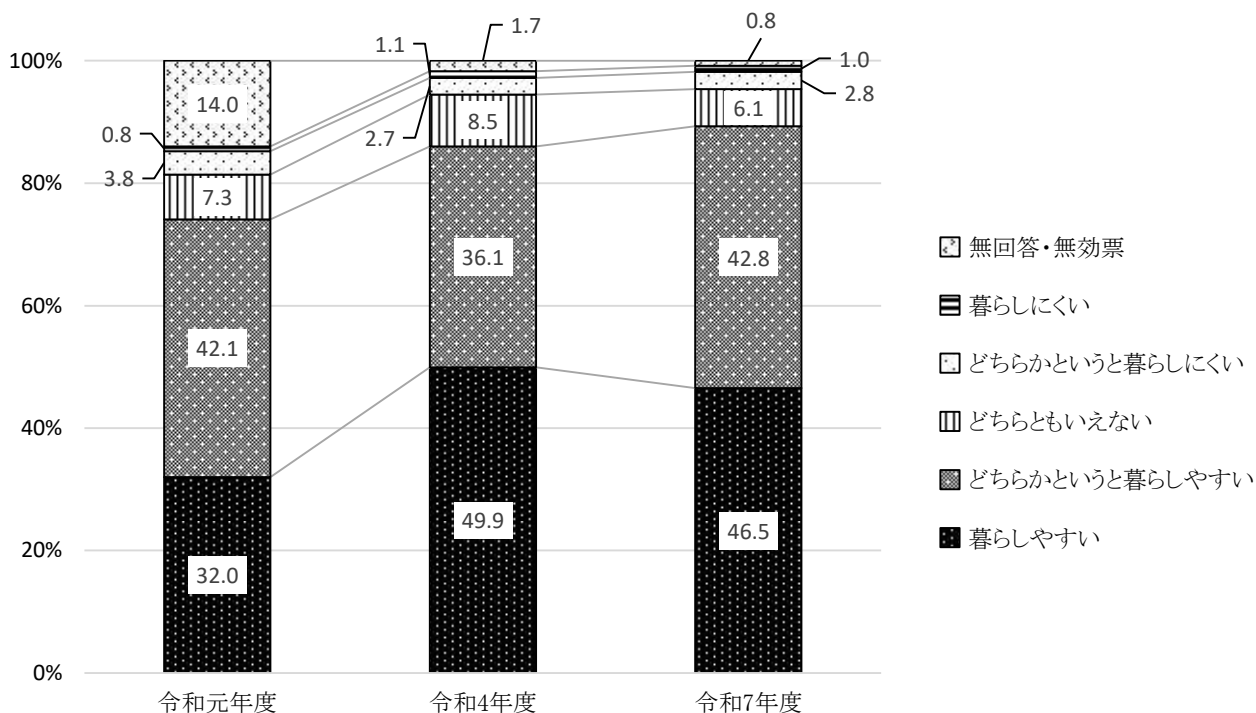
現在の住まいの周辺の生活環境は、「暮らしやすい」が46.5%と割合が最も高く、次いで「どちらかというと暮らしやすい」が42.8%、この2つを合わせると9割弱となる。以下、「どちらともいえない」が6.1%、「どちらかというと暮らしにくい」が2.8%と続いている。

【全体集計】 n=2,127



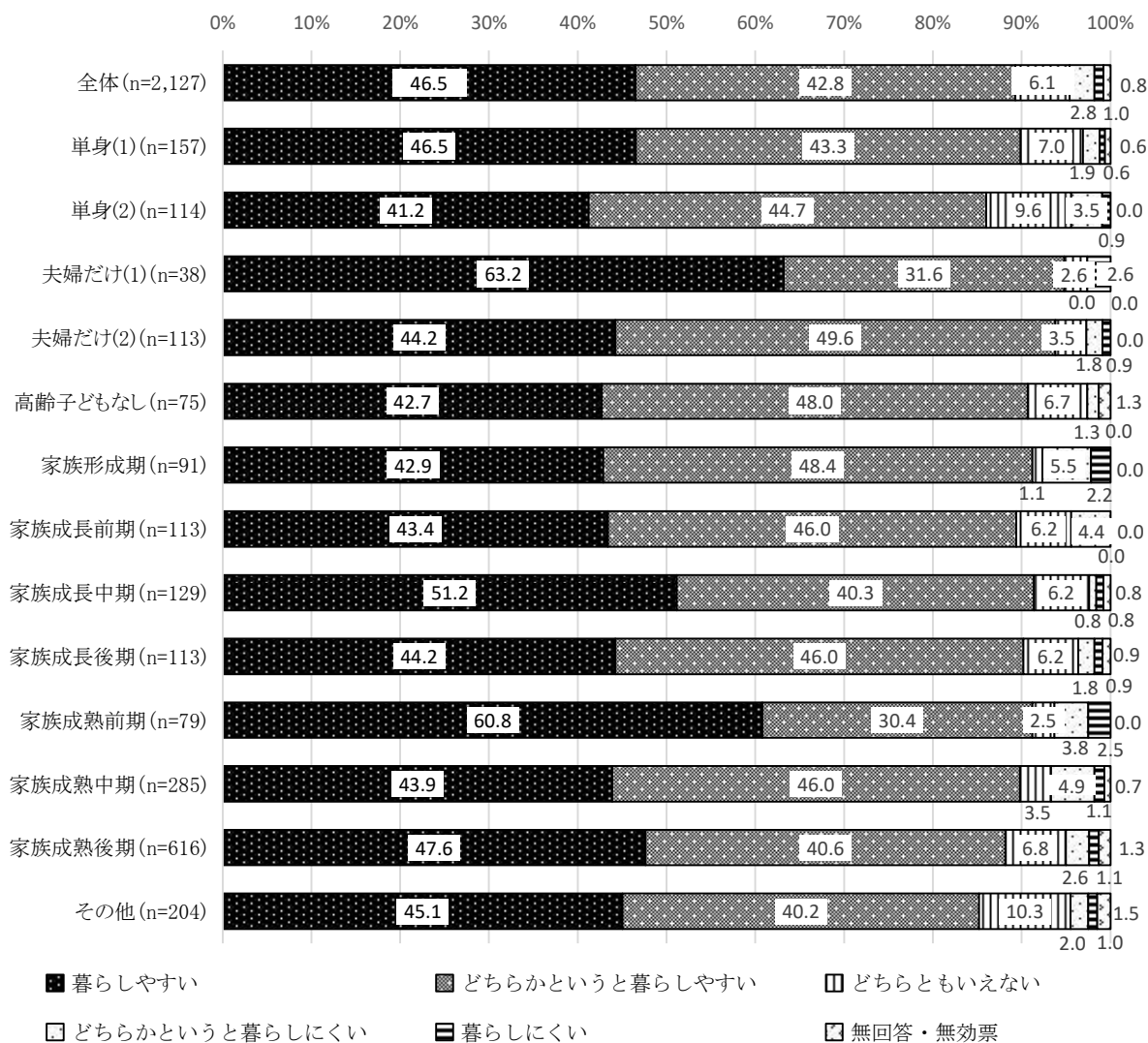
＜令和元年度調査、令和4年度調査との比較＞

令和4年度に比べ、「暮らしやすい」が減り、「どちらかというと暮らしやすい」が増加した。令和元年度と比べると「暮らしやすい」は増加している。



■ライフステージ別（問1×ライフステージ）※ライフステージとその構成条件はp13 参照

ライフステージ別で見ると、「暮らしやすい」は、夫婦だけ（1）で63.2%と最も高い割合となっており、次いで家族成熟前期（60.8%）、家族成長中期（51.2%）となっている。

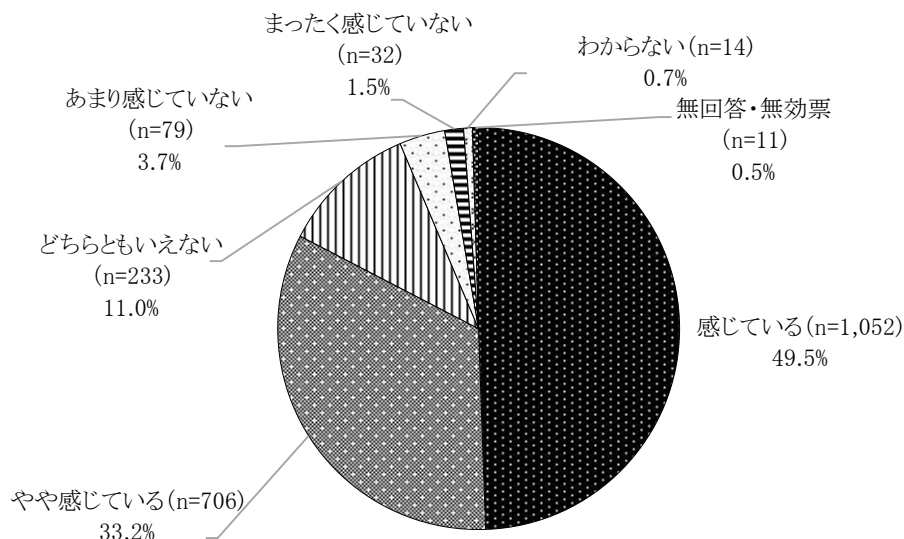


問2 あなたは、青葉区や横浜市に対して、愛着や誇りを感じていますか。
青葉区、横浜市それぞれについてお答えください。(それぞれに○は1つ)

○青葉区

青葉区に対して愛着や誇りを感じている割合は、「感じている」が49.5%と最も高く、全体の半数近くを占めており、次いで「やや感じている」が33.2%、この2つを合わせると8割を超える。以下、「どちらともいえない」が11.0%、「あまり感じていない」が3.7%と続いている。

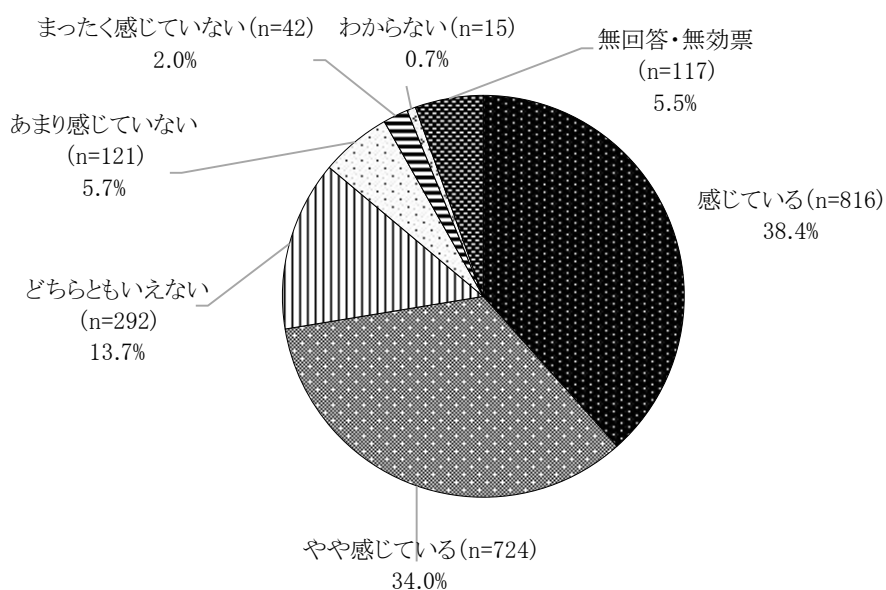
【全体集計】 n=2,127



○横浜市

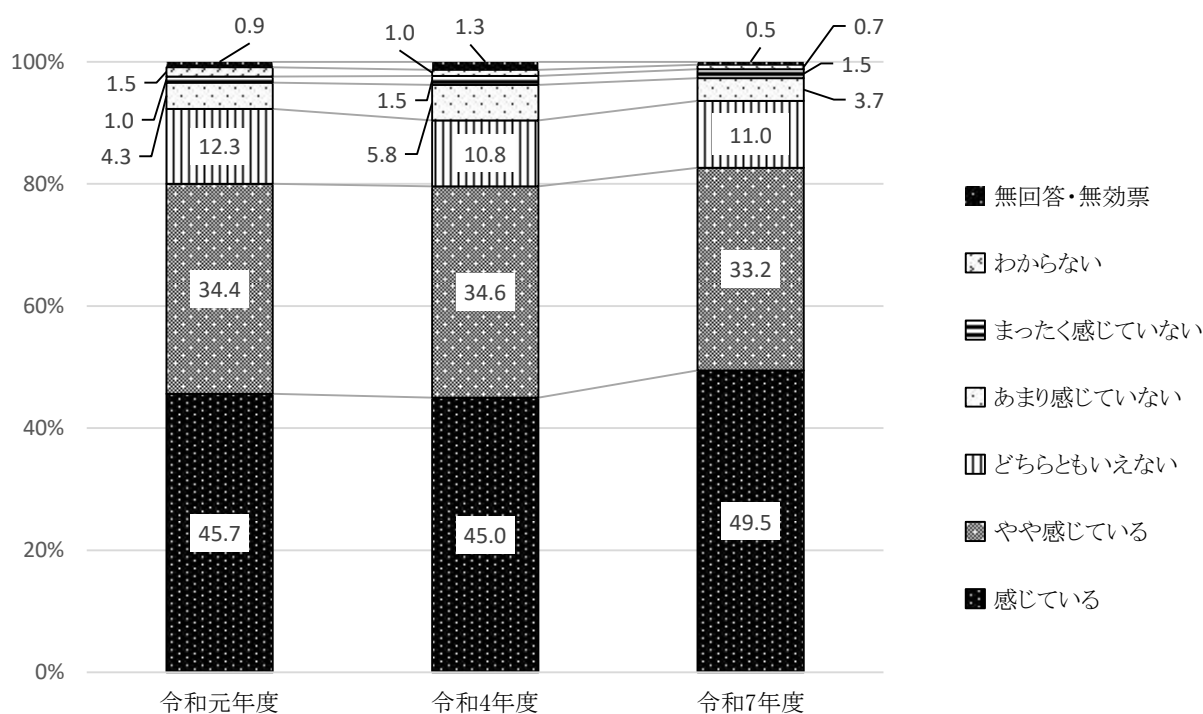
横浜市に対して愛着や誇りを感じている割合は、「感じている」が38.4%と最も高く、次いで「やや感じている」が34.0%、この2つを合わせると7割を超える。以下、「どちらともいえない」が13.7%、「あまり感じていない」が5.7%と続いている。

【全体集計】 n=2,127



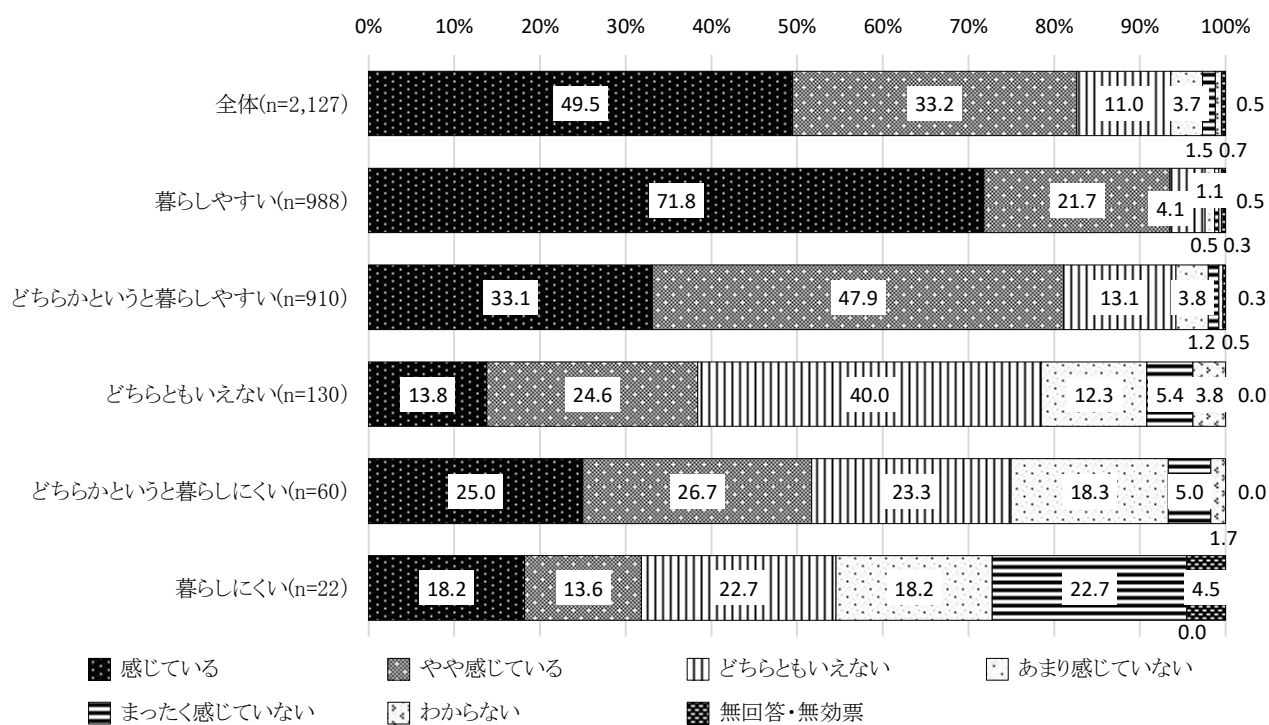
＜青葉区への愛着や誇り 令和元年度調査、令和4年度調査との比較＞

令和元年度、令和4年度と比べると、「感じている」が増加した。



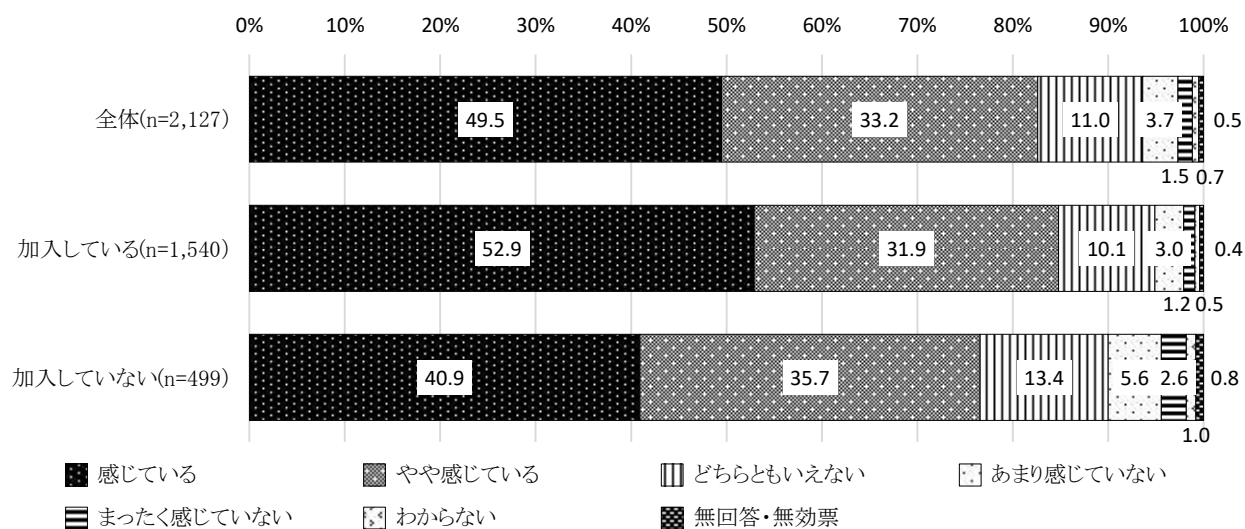
■生活環境別（問2 青葉区×問1）

生活環境別で見ると、「暮らしやすい」と回答した人の71.8%が青葉区への愛着や誇りを感じており、最も高い割合となっている。



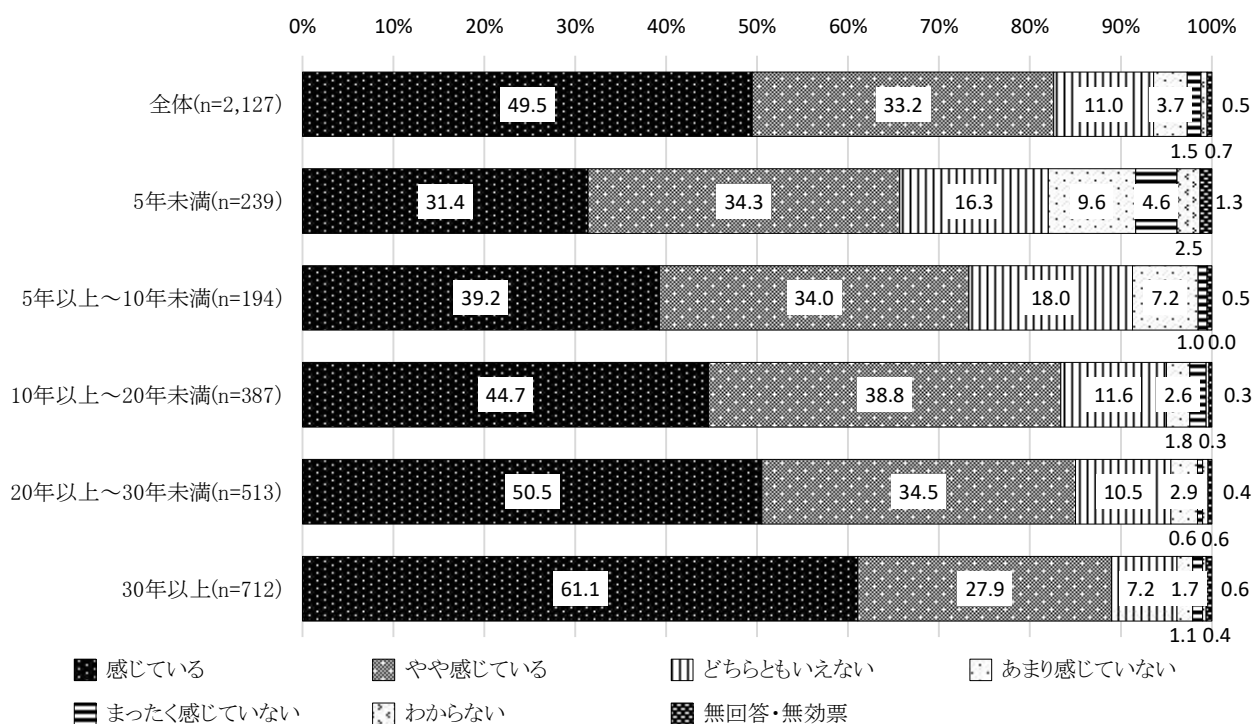
■自治会・町内会の加入状況別（問2 青葉区×問10）

自治会・町内会の加入状況別で見ると、「加入している」と回答した人の 52.9%が青葉区への愛着や誇りを感じている。



■居住期間別（問2 青葉区×居住期間）

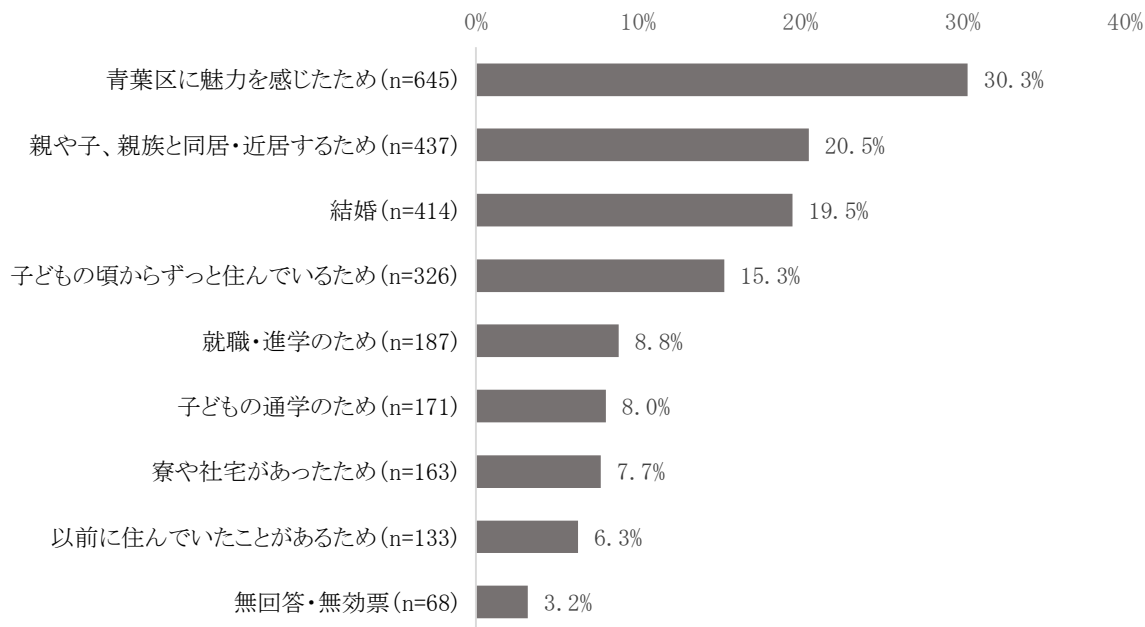
居住期間別で見ると、「30年以上」と回答した人の 61.1%が青葉区への愛着や誇りを感じており、居住期間が長いほど愛着を感じている傾向がある。



問3 あなたが青葉区に住んだきっかけや理由は何ですか。(〇はいくつでも)

青葉区に住んだきっかけ及び理由は、「青葉区に魅力を感じたため」が 30.3%と割合が最も高く、次いで「親や子、親族と同居・近居するため」が 20.5%となっている。以下、「結婚」が 19.5%、「子どもの頃からずっと住んでいるため」が 15.3%、「就職・進学のため」が 8.8%と続いている。

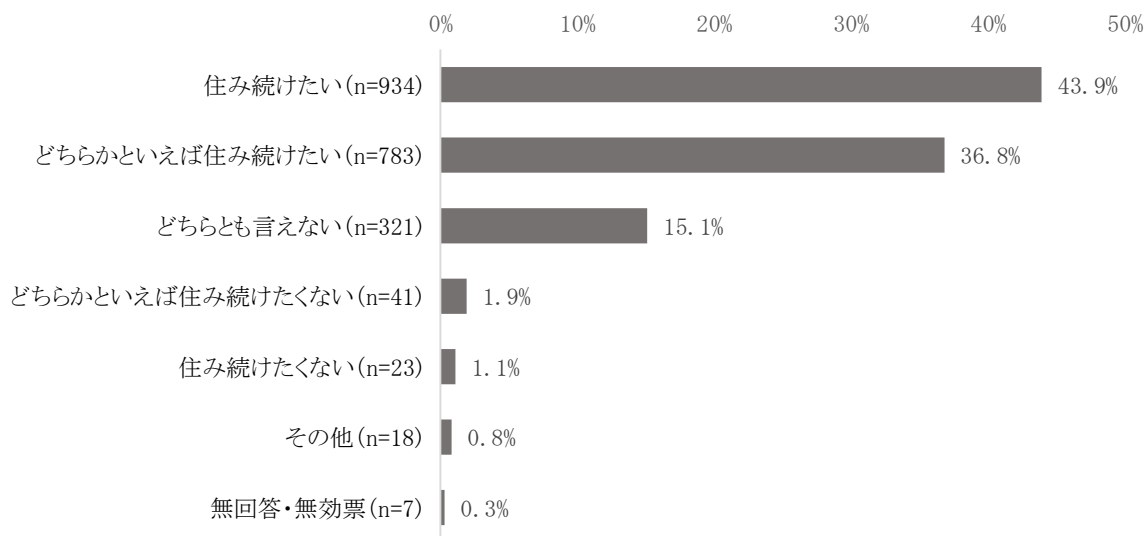
【全体集計】 n=2, 127



問4 あなたは、青葉区に住みつづけたいと思いますか。(〇は1つだけ)

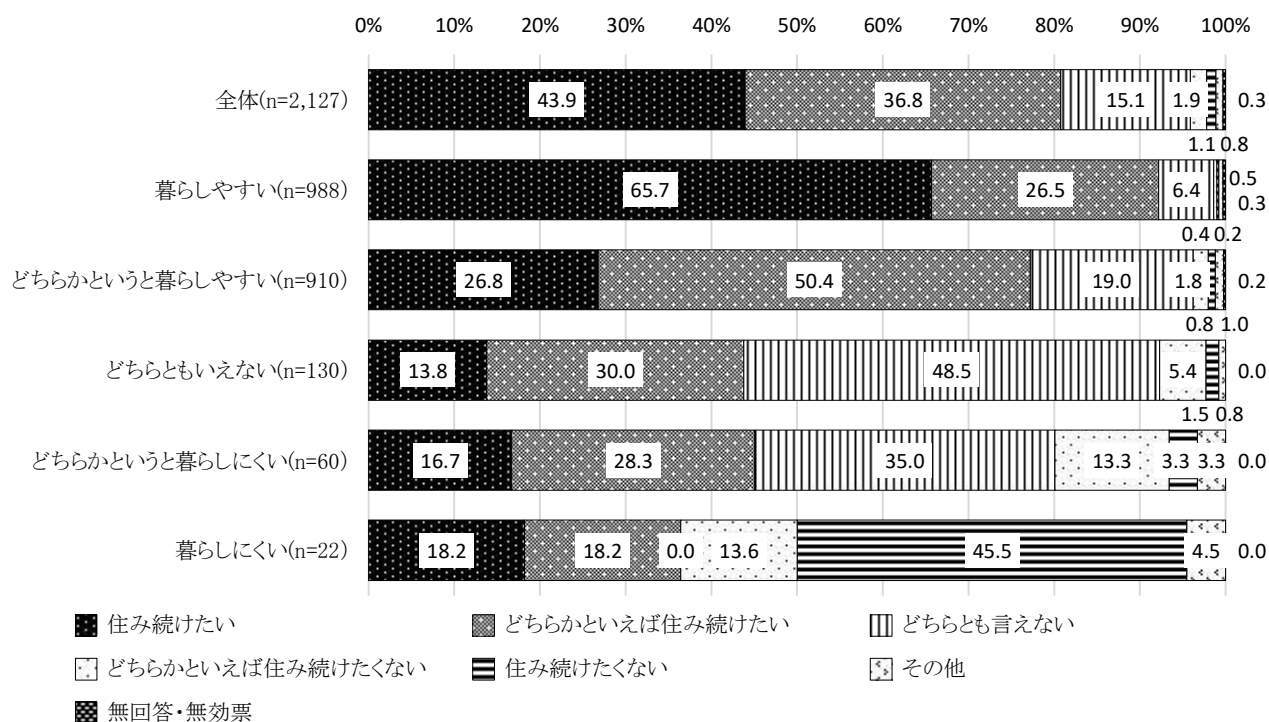
青葉区に住みつづけたいかという質問に対して、「住み続けたい」が 43.9%と割合が最も高く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」が 36.8%となっている。以下、「どちらとも言えない」が 15.1%、「どちらかといえば住み続けたくない」が 1.9%と続いている。

【全体集計】 n=2, 127



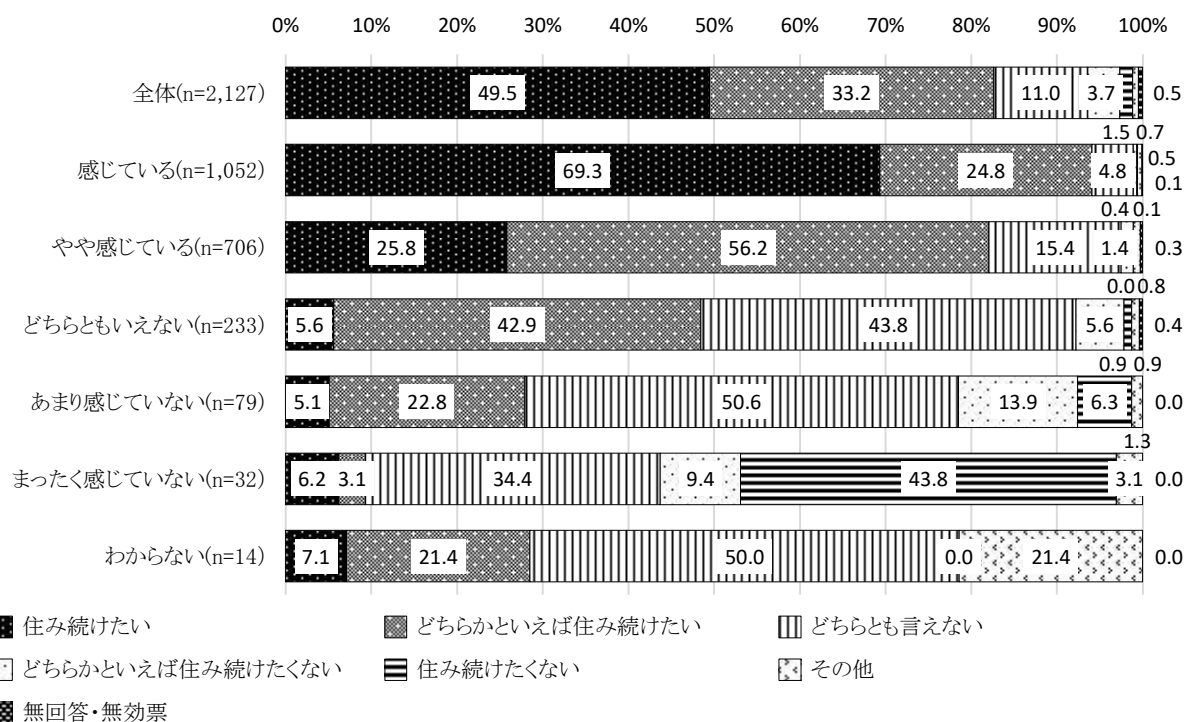
■生活環境別（問４×問１）

生活環境別で見ると、「暮らしやすい」と回答した人の 65.7%が「住み続けたい」としており、暮らしやすいと感じている人ほど住み続けたいという意向が高い。



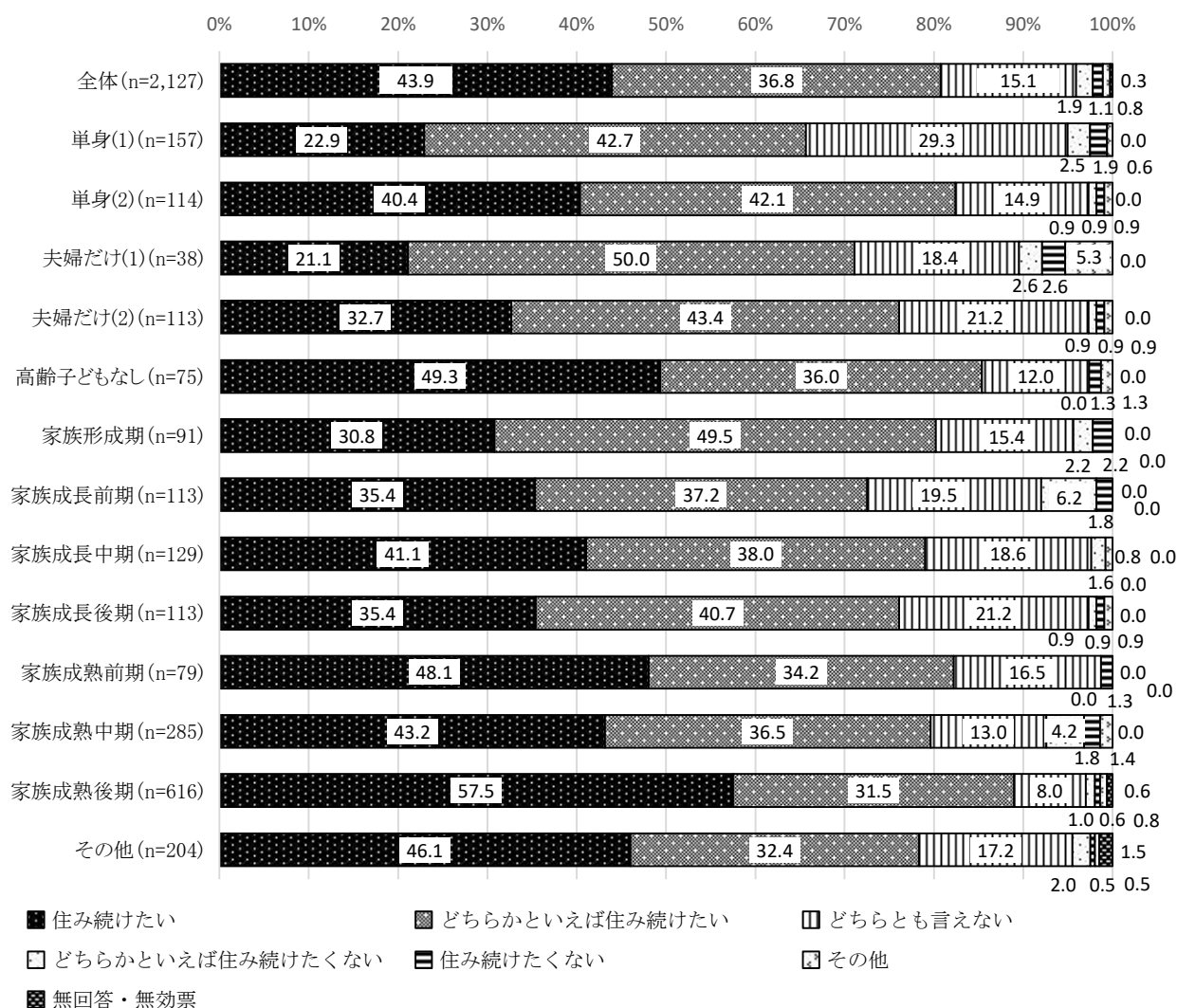
■青葉区への愛着別（問４×問２）

青葉区への愛着別で見ると、「感じている」と回答した人の 69.3%が「住み続けたい」としており、愛着を感じているほど住み続けたいという意向が高い。



■ライフステージ別（問4×ライフステージ）※ライフステージとその構成条件はp13 参照

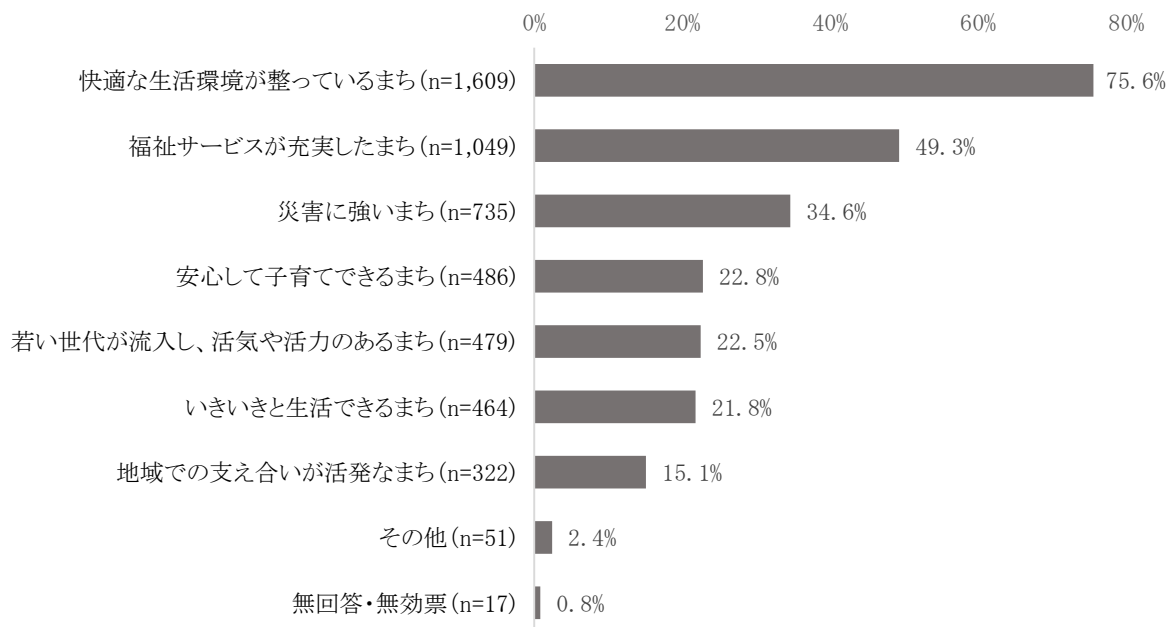
ライフステージ別の居留意向は、「家族成熟後期」で「住み続けたい」が57.5%と最も高い割合となり、全体的にライフステージが進むほど住み続けたいという意向が高い。



問5 あなたは、将来、青葉区がどのようなまちであってほしいと思いますか。(〇は3つまで)

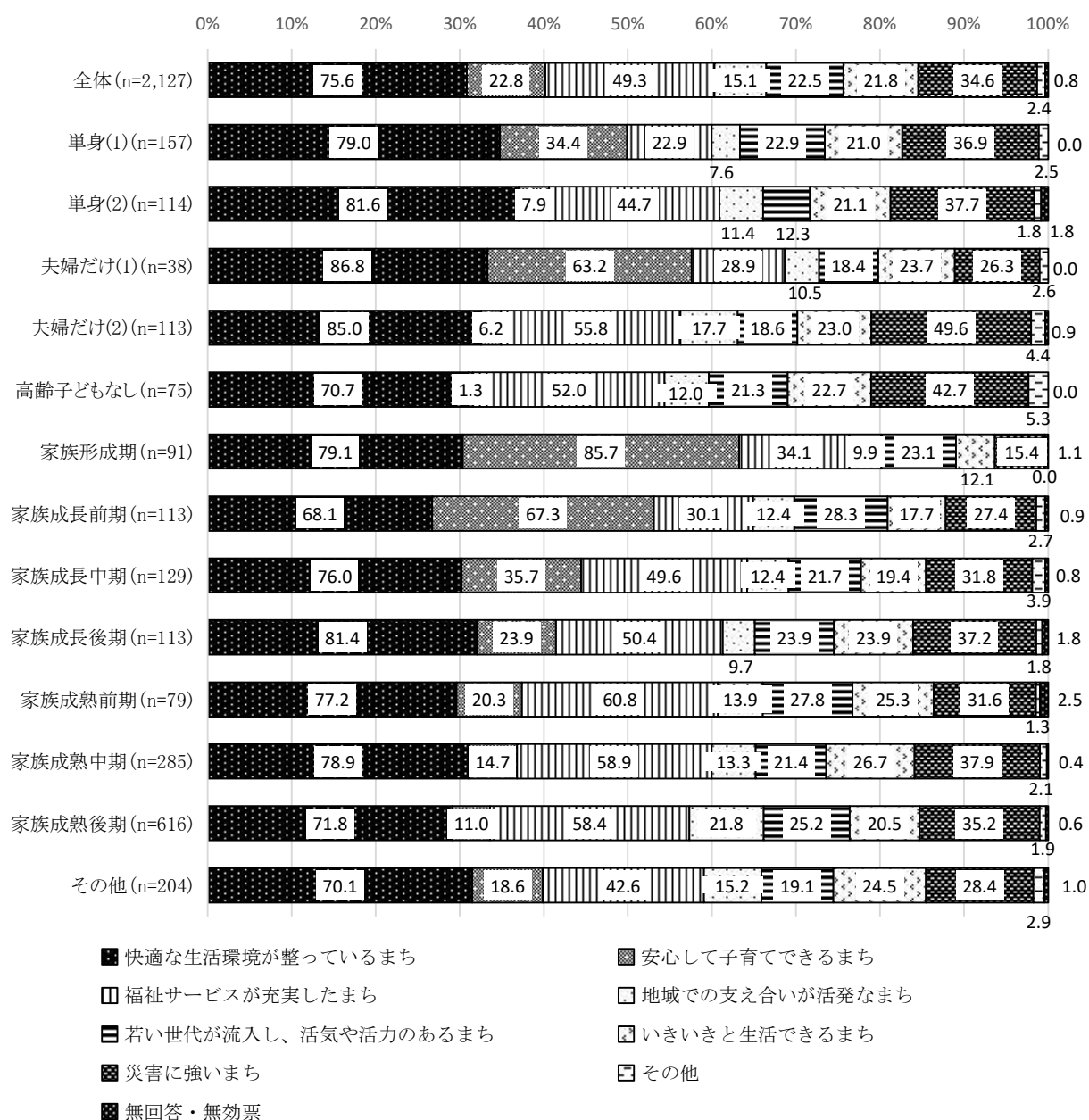
将来、青葉区がどのようなまちであってほしいと思うかという質問に対して、「快適な生活環境が整っているまち」が75.6%と割合が最も高く、次いで「福祉サービスが充実したまち」が49.3%となっている。以下、「災害に強いまち」が34.6%、「安心して子育てできるまち」が22.8%、「若い世代が流入し、活気や活力のあるまち」が22.5%と続いている。

【全体集計】 n=2,127



■ ライフステージ別（問5×ライフステージ）※ライフステージとその構成条件は p13 参照

ライフステージ別に見ると、家族形成期は「安心して子育てできるまち」、それ以外は「快適な生活環境が整っているまち」の割合がそれぞれ最も高くなっている。

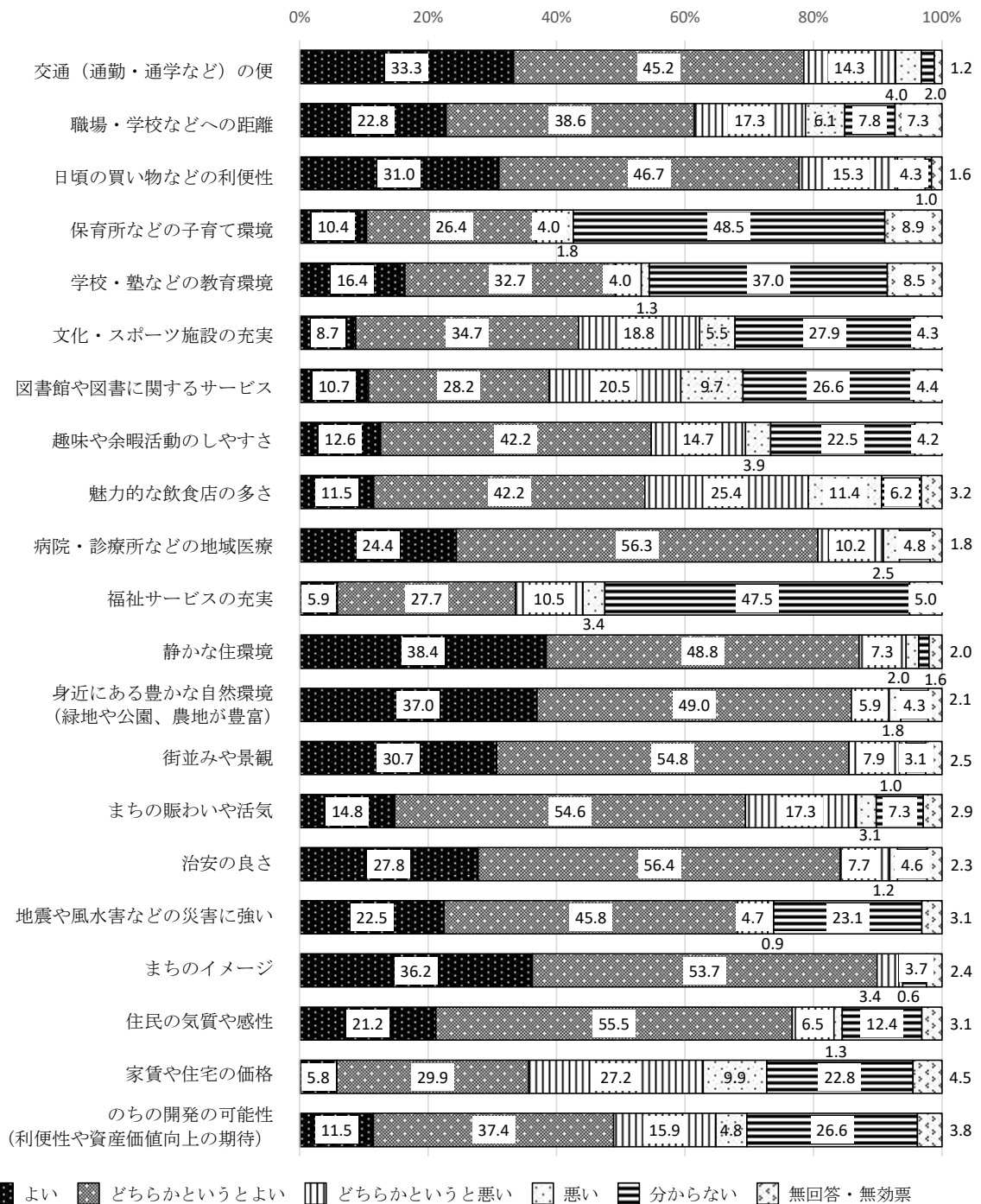


問6 現在のお住まいの住環境について（ア）現在の状況と（イ）以前（4, 5 年前）と比べた変化、それぞれについて該当する番号に○を付けてください。
（当てはまる項目に○はいくつでも）

○現在の状況

お住まいの住環境の現在の状況について、「よい」と感じている項目は、「静かな住環境」が38.4%と割合が最も高く、次いで「身近にある豊かな自然環境（緑地や公園、農地が豊富）」が37.0%となっている。以下、「まちのイメージ」が36.2%、「交通（通勤・通学など）の便」が33.3%と続いている。

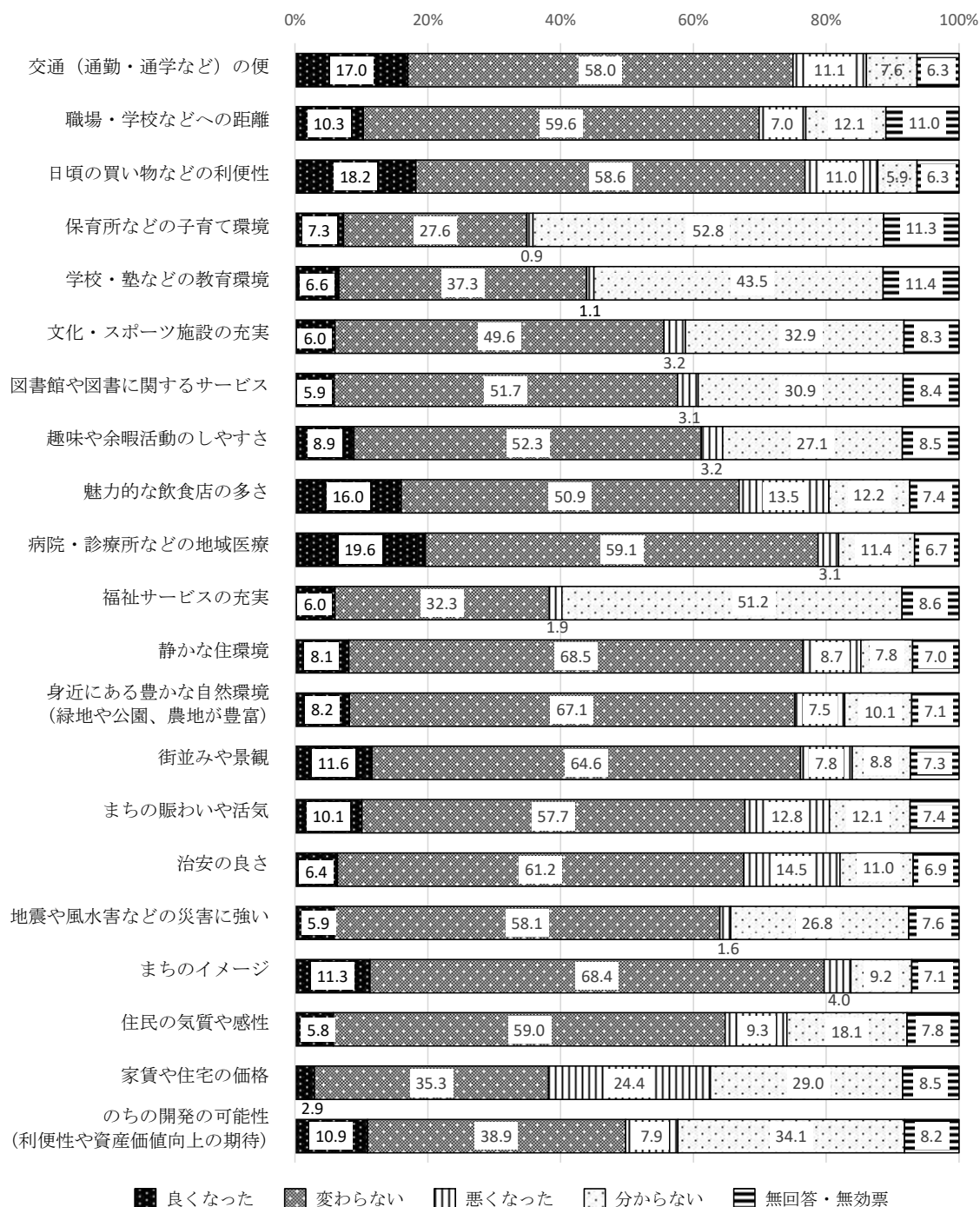
【全体集計】 n=2, 127



○以前（4，5 年前）と比べた変化

お住まいの住環境の、以前（4，5 年前）と比べた変化について、「良くなった」と感じている項目は、「病院・診療所などの地域医療」が 19.6%と割合が最も高く、次いで「日頃の買い物などの利便性」が 18.2%となっている。以下、「交通（通勤・通学など）の便」が 17.0%、「魅力的な飲食店の多さ」が 16.0%と続いている。

【全体集計】 n=2, 127



◆年代別（問6×年代） 現在の状況「よい」：上位5位

年代別に、お住まいの住環境の現在の状況が「よい」と回答した割合を見ると、10代、40代、60代、75歳以上では「静かな住環境」、20代、30代では「まちなイメージ」、30代、50代では「身近にある豊かな自然環境」、70～74歳で「交通（通勤・通学など）の便」が1位となっている。

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,127)	静かな住環境 38.4%	身近にある豊かな自然環境 37.0%	まちなイメージ 36.2%	交通（通勤・通学など）の便 33.3%	日頃の買い物などの利便性 31.0%
10代 (n=26)	静かな住環境 57.7%	学校・塾などの教育環境 53.8%	交通（通勤・通学など）の便 身近にある豊かな自然環境 まちなイメージ 46.2%		
20代 (n=111)	まちなイメージ 49.5%	静かな住環境 45.0%	治安の良さ 41.4%	交通（通勤・通学など）の便 39.6%	身近にある豊かな自然環境 38.7%
30代 (n=183)	身近にある豊かな自然環境 まちなイメージ 45.9%		静かな住環境 44.8%	治安の良さ 43.7%	街並みや景観 41.0%
40代 (n=285)	静かな住環境 41.8%	まちなイメージ 36.1%	身近にある豊かな自然環境 35.1%	街並みや景観 33.3%	交通（通勤・通学など）の便 33.0%
50代 (n=424)	身近にある豊かな自然環境 39.6%	静かな住環境 37.3%	まちなイメージ 36.8%	交通（通勤・通学など）の便 32.1%	日頃の買い物などの利便性 31.8%
60代 (n=430)	静かな住環境 35.8%	身近にある豊かな自然環境 35.6%	まちなイメージ 31.9%	交通（通勤・通学など）の便 30.7%	日頃の買い物などの利便性 29.8%
70～74歳 (n=172)	交通（通勤・通学など）の便 37.8%	日頃の買い物などの利便性 33.7%	静かな住環境 30.8%	身近にある豊かな自然環境 27.3%	まちなイメージ 26.7%
75歳以上 (n=399)	静かな住環境 37.8%	交通（通勤・通学など）の便 35.8%	身近にある豊かな自然環境 35.8%	まちなイメージ 34.3%	日頃の買い物などの利便性 30.6%

◆年代別（問6×年代） 現在の状況「悪い」：上位5位

年代別に、お住まいの住環境の現在の状況が「悪い」と回答した割合を見ると、20代、30代、40代では「家賃や住宅の価格」、60代、70～74歳、75歳以上では「魅力的な飲食店の多さ」、10代は「職場・学校などへの距離」、50代は「図書館や図書に関するサービス」が1位となっている。

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,127)	魅力的な飲食店の多さ 11.4%	家賃や住宅の価格 9.9%	図書館や図書に関するサービス 9.7%	職場・学校などへの距離 6.1%	文化・スポーツ施設の充実 5.5%
10代 (n=26)	職場・学校などへの距離 11.5%	文化・スポーツ施設の充実 図書館や図書に関するサービス 魅力的な飲食店の多さ 7.7%			交通（通勤・通学など）の便 保育所などの子育て環境 趣味や余暇活動のしやすさ 治安の良さ のちの開発の可能性 3.8%
20代 (n=111)	家賃や住宅の価格 9.9%	魅力的な飲食店の多さ 9.0%	福祉サービスの充実 のちの開発の可能性 5.4%		交通（通勤・通学など）の便 職場・学校などへの距離 日頃の買い物などの利便性 文化・スポーツ施設の充実 図書館や図書に関するサービス 趣味や余暇活動のしやすさ 3.6%
30代 (n=183)	家賃や住宅の価格 16.9%	職場・学校などへの距離 13.7%	魅力的な飲食店の多さ 13.1%	図書館や図書に関するサービス 12.0%	交通（通勤・通学など）の便 7.1%
40代 (n=285)	家賃や住宅の価格 13.3%	図書館や図書に関するサービス 12.3%	魅力的な飲食店の多さ 12.3%	職場・学校などへの距離 8.4%	文化・スポーツ施設の充実 6.7%
50代 (n=424)	図書館や図書に関するサービス 12.7%	家賃や住宅の価格 11.8%	魅力的な飲食店の多さ 9.7%	職場・学校などへの距離 7.3%	文化・スポーツ施設の充実 6.6%
60代 (n=430)	魅力的な飲食店の多さ 12.8%	図書館や図書に関するサービス 9.1%	家賃や住宅の価格 8.8%	文化・スポーツ施設の充実 6.5%	のちの開発の可能性 6.0%
70～74歳 (n=172)	魅力的な飲食店の多さ 14.0%	図書館や図書に関するサービス 10.5%	家賃や住宅の価格 8.7%	文化・スポーツ施設の充実 6.4%	日頃の買い物などの利便性 4.7%
75歳以上 (n=399)	魅力的な飲食店の多さ 11.0%	図書館や図書に関するサービス 7.0%	のちの開発の可能性 5.0%	家賃や住宅の価格 4.5%	日頃の買い物などの利便性 3.5%

◆年代別（問6×年代） 以前と比べて「良くなった」： 上位5位

年代別に、以前（4, 5 年前）と比べた変化について、「良くなった」と感じている割合を見ると、10代は「のちの開発の可能性」、20代は「日頃の買い物などの利便性」、30代、50代では「魅力的な飲食店の多さ」、40代、60代では「病院・診療所などの地域医療」、70歳～74歳、75歳以上では「交通（通勤・通学など）の便」が1位となっている。

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,127)	病院・診療所などの地域医療 19.6%	日頃の買い物などの利便性 18.2%	交通（通勤・通学など）の便 17.0%	魅力的な飲食店の多さ 16.0%	街並みや景観 11.6%
10代 (n=26)	のちの開発の可能性 34.6%	日頃の買い物などの利便性 病院・診療所などの地域医療 30.8%		魅力的な飲食店の多さ 26.9%	職場・学校などへの距離 身近にある豊かな自然環境 街並みや景観 まちのイメージ 23.1%
20代 (n=111)	日頃の買い物などの利便性 20.7%	魅力的な飲食店の多さ 19.8%		街並みや景観 16.2%	病院・診療所などの地域医療 まちのイメージ 15.3%
30代 (n=183)	魅力的な飲食店の多さ 18.6%	病院・診療所などの地域医療 18.0%	日頃の買い物などの利便性 17.5%	街並みや景観 15.8%	身近にある豊かな自然環境 13.7%
40代 (n=285)	病院・診療所などの地域医療 17.9%	魅力的な飲食店の多さ 17.2%	日頃の買い物などの利便性 16.8%	交通（通勤・通学など）の便 14.7%	のちの開発の可能性 11.9%
50代 (n=424)	魅力的な飲食店の多さ 18.9%	病院・診療所などの地域医療 17.9%	日頃の買い物などの利便性 17.2%	交通（通勤・通学など）の便 13.4%	のちの開発の可能性 13.0%
60代 (n=430)	病院・診療所などの地域医療 20.7%	交通（通勤・通学など）の便 15.1%	魅力的な飲食店の多さ 14.9%	日頃の買い物などの利便性 14.7%	職場・学校などへの距離 まちのイメージ 10.0%
70～74歳 (n=172)	交通（通勤・通学など）の便 26.2%	日頃の買い物などの利便性 22.7%	病院・診療所などの地域医療 20.9%	魅力的な飲食店の多さ 17.4%	まちのイメージ 14.5%
75歳以上 (n=399)	交通（通勤・通学など）の便 25.1%	病院・診療所などの地域医療 21.6%	日頃の買い物などの利便性 21.1%	まちのイメージ 12.8%	街並みや景観 11.3%

◆年代別（問6×年代） 以前と比べて「悪くなった」： 上位5位

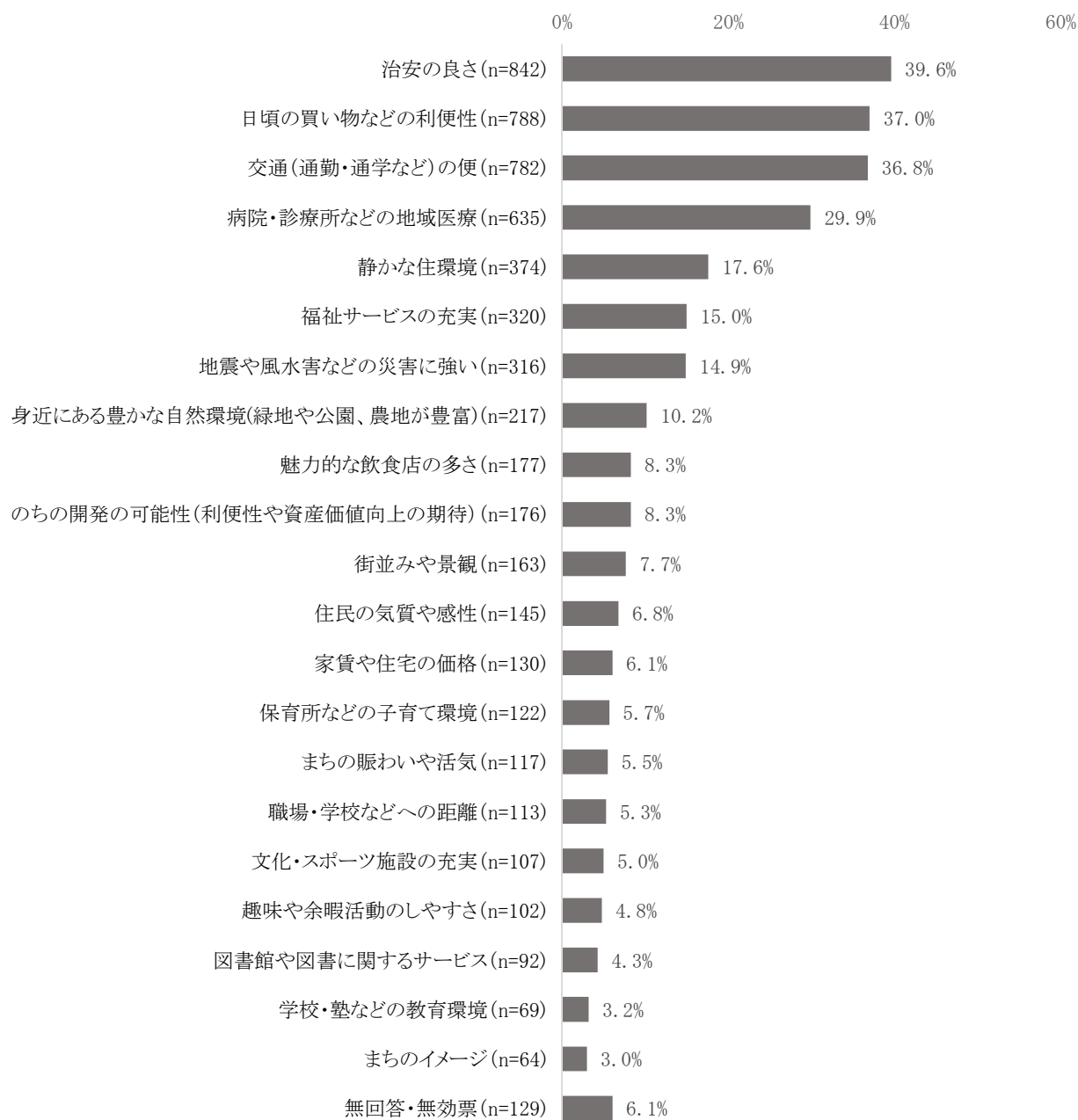
年代別に、以前（4, 5 年前）と比べた変化について、「悪くなった」と感じている割合を見ると、10代は「職場・学校などへの距離」、75歳以上は「魅力的な飲食店の多さ」、それ以外の年代（10代含む）では「家賃や住宅の価格」が1位となっている。

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,127)	家賃や住宅の価格 24.4%	治安の良さ 14.5%	魅力的な飲食店の多さ 13.5%	まちの賑わいや活気 12.8%	交通（通勤・通学など）の便 11.1%
10代 (n=26)	職場・学校などへの距離 家賃や住宅の価格 26.9%		魅力的な飲食店の多さ まちの賑わいや活気 19.2%		治安の良さ 15.4%
20代 (n=111)	家賃や住宅の価格 20.7%		身近にある豊かな自然環境（緑） 職場・学校などへの距離 13.5%		静かな住環境 まちの賑わいや活気 住民の気質や感性 9.9%
30代 (n=183)	家賃や住宅の価格 29.5%	交通（通勤・通学など）の便 17.5%	職場・学校などへの距離 12.6%	魅力的な飲食店の多さ 12.0%	まちの賑わいや活気 9.3%
40代 (n=285)	家賃や住宅の価格 31.9%	治安の良さ 18.9%	まちの賑わいや活気 13.7%	日頃の買い物などの利便性 13.3%	住民の気質や感性 12.3%
50代 (n=424)	家賃や住宅の価格 29.0%	治安の良さ 17.0%	魅力的な飲食店の多さ 14.9%	日頃の買い物などの利便性 14.4%	まちの賑わいや活気 住民の気質や感性 12.5%
60代 (n=430)	家賃や住宅の価格 25.6%	治安の良さ 18.4%	まちの賑わいや活気 18.1%	魅力的な飲食店の多さ 16.7%	交通（通勤・通学など）の便 14.4%
70～74歳 (n=172)	家賃や住宅の価格 21.5%	治安の良さ 12.8%	まちの賑わいや活気 10.5%	魅力的な飲食店の多さ 9.3%	日頃の買い物などの利便性 7.0%
75歳以上 (n=399)	魅力的な飲食店の多さ 14.8%	家賃や住宅の価格 14.0%	日頃の買い物などの利便性 10.8%	まちの賑わいや活気 10.0%	交通（通勤・通学など）の便 9.0%

問 6－1 お住まいの住環境にとって、特にどれが重要だと思いますか。
(問 6 (1)～(21)の質問項目のうち、該当する項目の番号を3つまで)

お住まいの住環境にとって重要だと思う点は、「治安の良さ」が 39.6%と割合が最も高く、次いで「日頃の買い物などの利便性」が 37.0%となっている。以下、「交通(通勤・通学など)の便」が 36.8%、「病院・診療所などの地域医療」が 29.9%と続いている。

【全体集計】 n=2,127



◆年代別（問6－1×年代）

年代別に、お住まいの住環境にとって重要だと思う点の割合を見ると、10代、20代、30代では「交通（通勤・通学など）の便」、50代、60代では「治安の良さ」、70～74歳、75歳以上では「病院・診療所などの地域医療」、40代は「日頃の買い物などの利便性」が1位となっている。

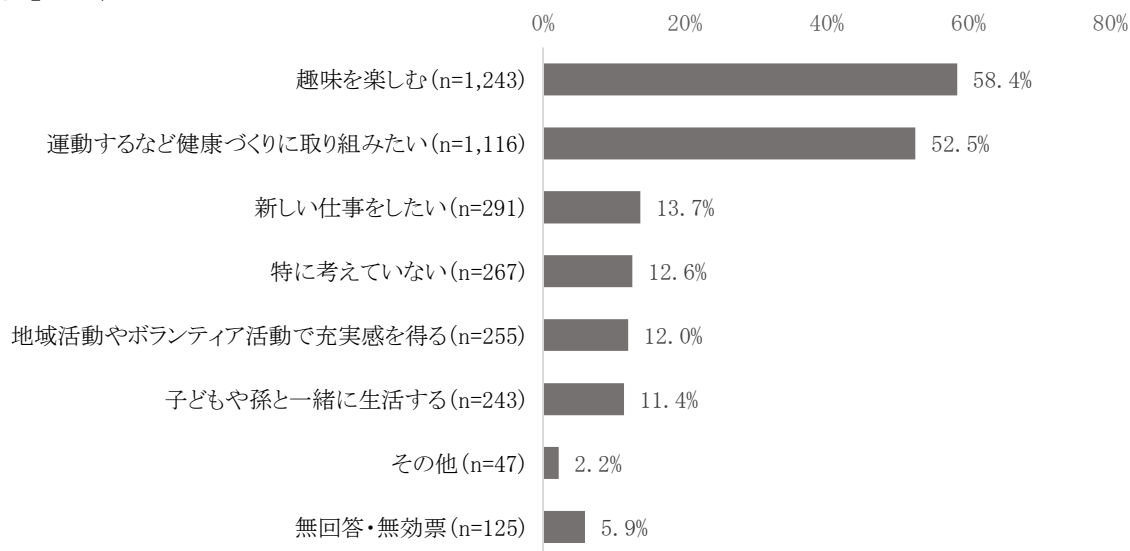
	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,127)	治安の良さ 39.6%	日頃の買い物などの利便性 37.0%	交通（通勤・通学など）の便 36.8%	病院・診療所などの地域医療 29.9%	静かな住環境 17.6%
10代 (n=26)	交通（通勤・通学など）の便 46.2%	治安の良さ 42.3%	日頃の買い物などの利便性 34.6%	病院・診療所などの地域医療 23.1%	まちの賑わいや活気 地震や風水害などの災害に強い 15.4%
20代 (n=111)	交通（通勤・通学など）の便 56.8%	日頃の買い物などの利便性 38.7%	治安の良さ 36.9%	病院・診療所などの地域医療 19.8%	保育所などの子育て環境 家賃や住宅の価格 12.6%
30代 (n=183)	交通（通勤・通学など）の便 43.7%	治安の良さ 40.4%	日頃の買い物などの利便性 37.2%	保育所などの子育て環境 20.8%	静かな住環境 15.8%
40代 (n=285)	日頃の買い物などの利便性 49.5%	治安の良さ 46.3%	交通（通勤・通学など）の便 40.7%	病院・診療所などの地域医療 21.8%	静かな住環境 17.5%
50代 (n=424)	治安の良さ 38.9%	日頃の買い物などの利便性 38.2%	交通（通勤・通学など）の便 36.3%	病院・診療所などの地域医療 27.6%	静かな住環境 21.0%
60代 (n=430)	治安の良さ 42.1%	病院・診療所などの地域医療 33.7%	交通（通勤・通学など）の便 31.9%	日頃の買い物などの利便性 31.2%	静かな住環境 21.6%
70～74歳 (n=172)	病院・診療所などの地域医療 47.1%	日頃の買い物などの利便性 37.8%	交通（通勤・通学など）の便 36.0%	治安の良さ 36.0%	福祉サービスの充実 27.9%
75歳以上 (n=399)	病院・診療所などの地域医療 38.8%	治安の良さ 34.6%	日頃の買い物などの利便性 33.3%	交通（通勤・通学など）の便 31.3%	福祉サービスの充実 19.5%

3. 将来について

問7 あなたは、自由に使える時間ができたとき(子育て後や退職後など)、どのような生活像を描いていますか。(〇はいくつでも)

退職後などの将来の生活像は、「趣味を楽しむ」が 58.4%と割合が最も高く、次いで「運動するなど健康づくりに取り組みたい」が 52.5%となっている。

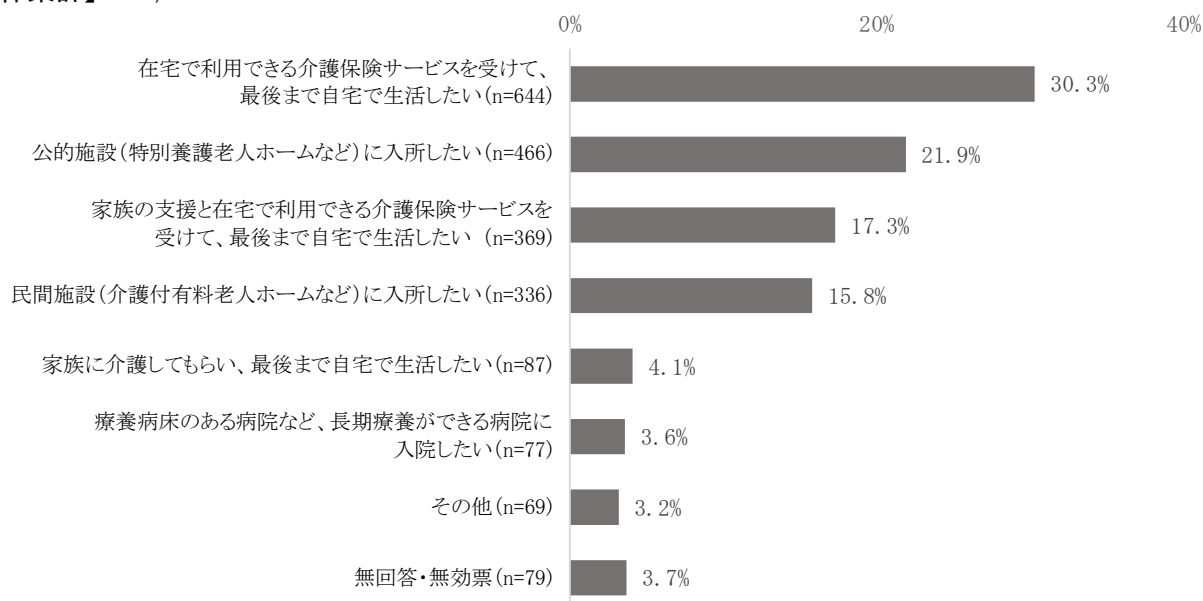
【全体集計】 n=2,127



問8 もし、将来、あなたに介護が必要になったとき、どのような生活を望みますか。(〇は1つだけ)

将来介護が必要になった際の生活像は、「在宅で利用できる介護保険サービスを受けて、最後まで自宅で生活したい」が 30.3%と最も高く、次いで「公的施設（特別養護老人ホームなど）に入所したい」が 21.9%となっている。

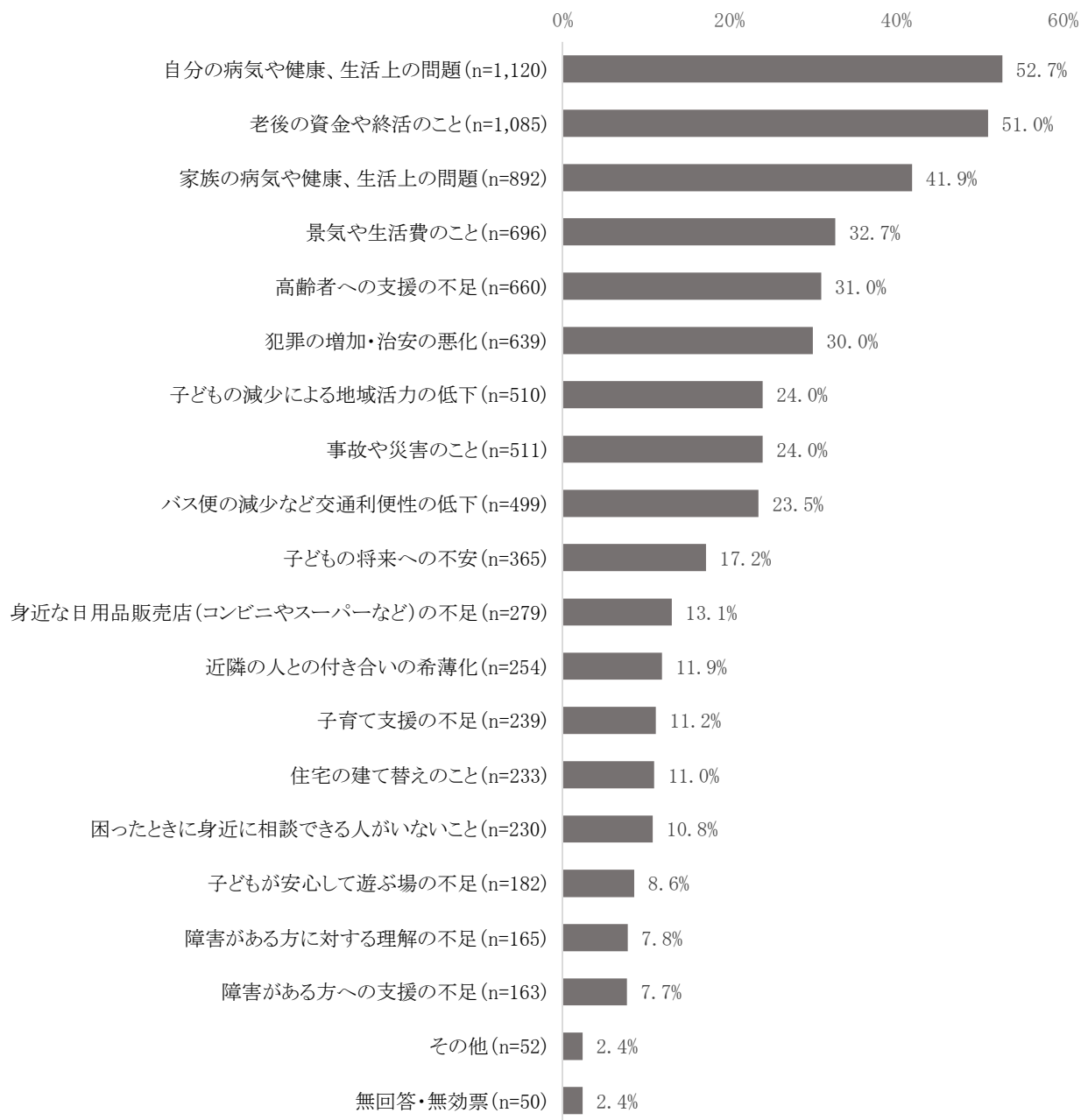
【全体集計】 n=2,127



問9 あなたにとって、将来の不安に感じる点はどのようなことですか。(〇はいくつでも)

将来の不安に感じる点は、「自分の病気や健康、生活上の問題」が 52.7%と割合が最も高く、次いで「老後の資金や終活のこと」が 51.0%となっている。以下、「家族の病気や健康、生活上の問題」が 41.9%、「景気や生活費のこと」が 32.7%と続いている。

【全体集計】 n=2,127

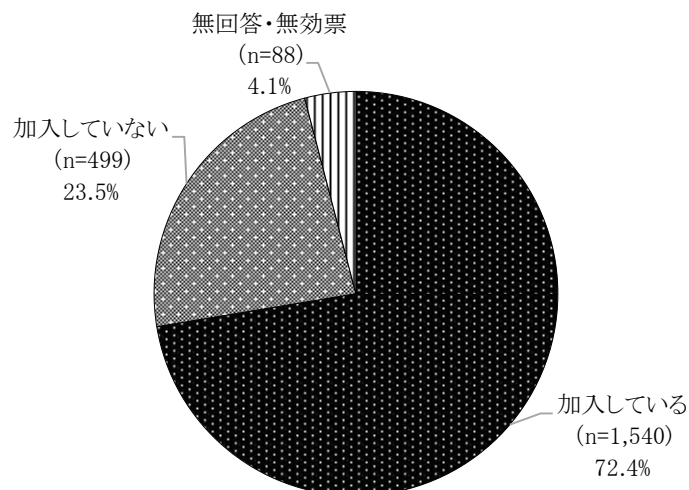


4. 地域のつながりについて

問10 あなたは、自治会・町内会に加入していますか。(〇は1つだけ)

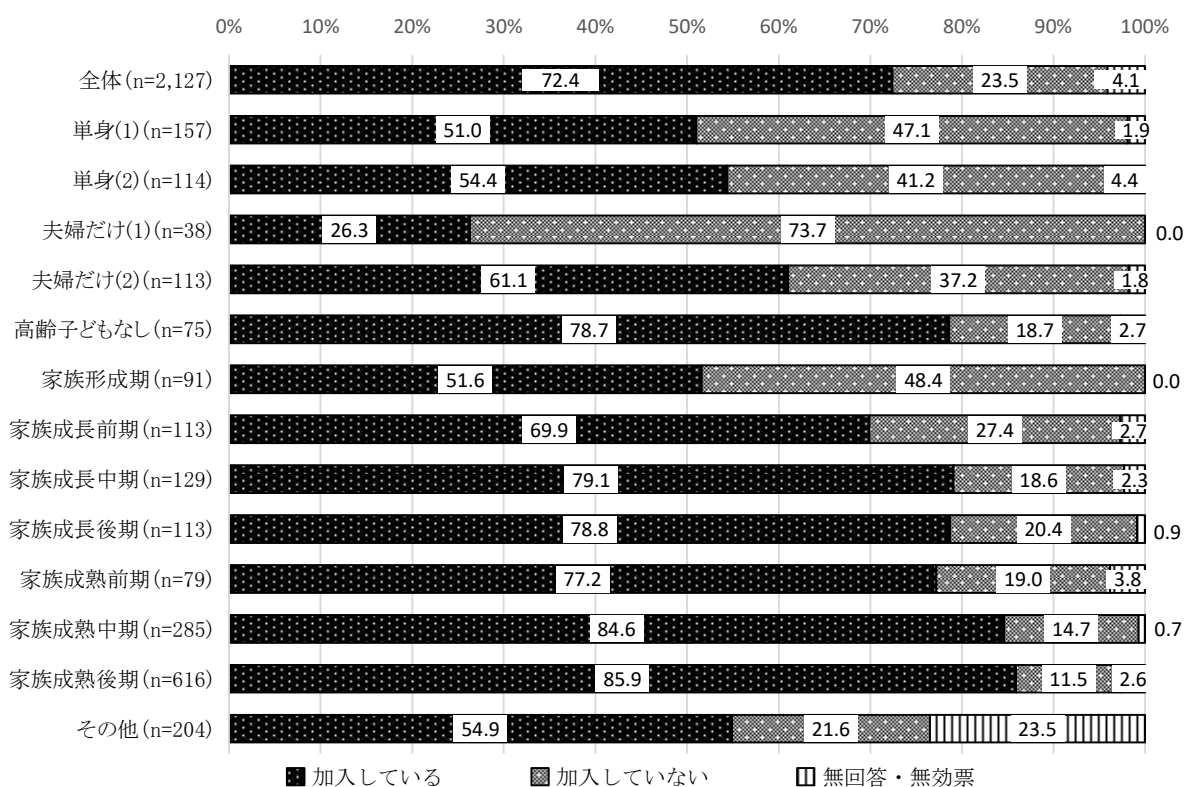
自治会・町内会に「加入している」と回答した割合が72.4%と、全体の7割を占めている。一方、「加入していない」と回答した割合は23.5%となっている。

【全体集計】n=2,127



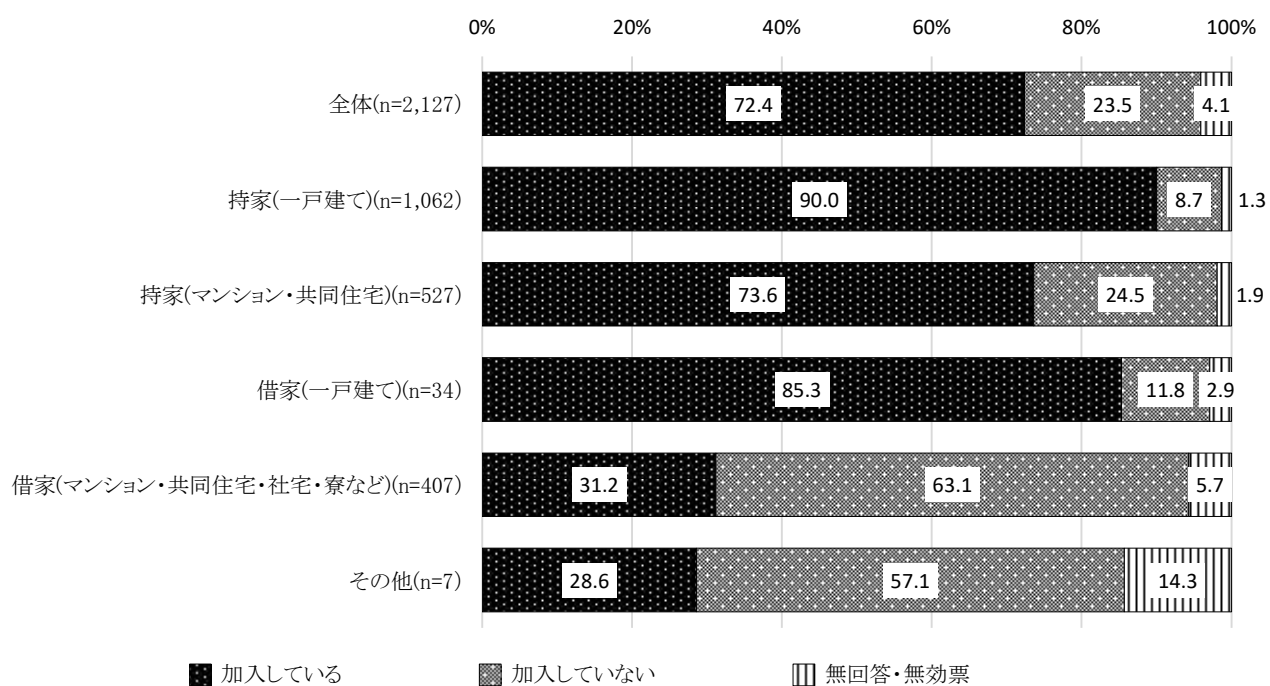
■ライフステージ別（問10×ライフステージ）※ライフステージとその構成条件はp13参照

ライフステージ別で見ると、「加入している」の割合が最も高いのは、家族成熟後期(85.9%)で、一方、「加入していない」の割合が最も高いのは、夫婦だけ(1)(73.7%)となっている。



■居住形態別（問 10×居住形態）

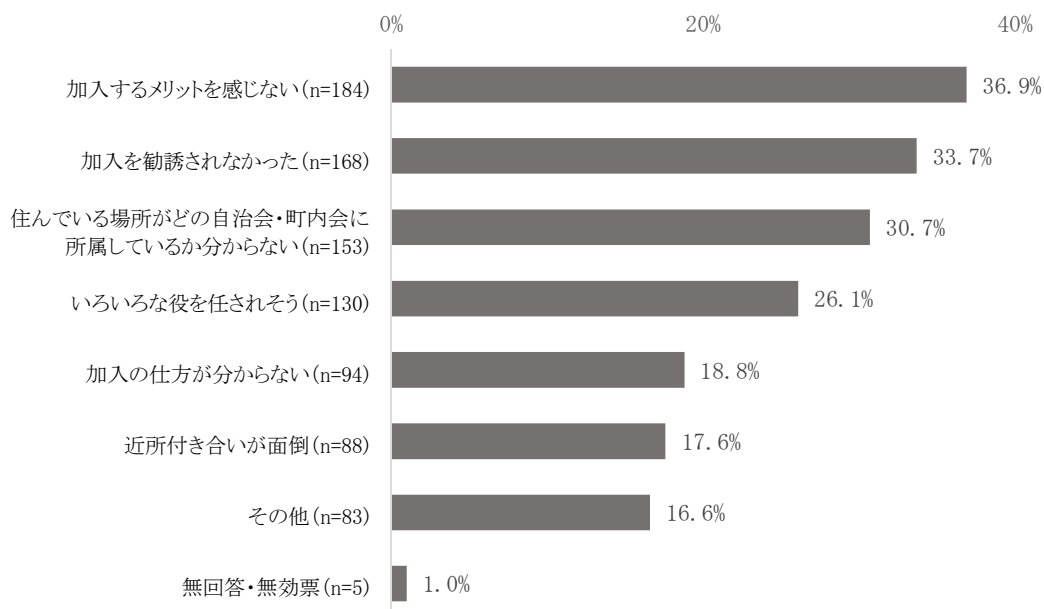
居住形態別で見ると、「加入している」の割合が最も高いのは、持家（一戸建て）（90.0%）となっている。一方、「加入していない」の割合が最も高いのは、借家（マンション・共同住宅・社宅・寮など）（63.1%）となっている。



問 10-1 自治会・町内会へ加入していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)
※問 10 で「2 加入していない」と回答された方へ

自治会・町内会に加入していない理由は、「加入するメリットを感じない」が 36.9%と割合が最も高く、次いで「加入を勧誘されなかった」が 33.7%となっている。以下、「住んでいる場所がどの自治会・町内会に所属しているか分からない」が 30.7%、「いろいろな役を任せられそう」が 26.1%と続いている。

【全体集計】 n=499



■居住形態別（問 10-1×居住形態）※クロス集計結果の見方は p5 参照

居住形態別で見ると、持家(一戸建て)、持家(マンション・共同住宅)が「加入するメリットを感じない」、借家(一戸建て)が「住んでいる場所がどの自治体・町内会に所属しているか分からない」、借家(マンション・共同住宅・社宅・寮など)は「加入を勧誘されなかった」の割合がそれぞれ最も高くなっている。

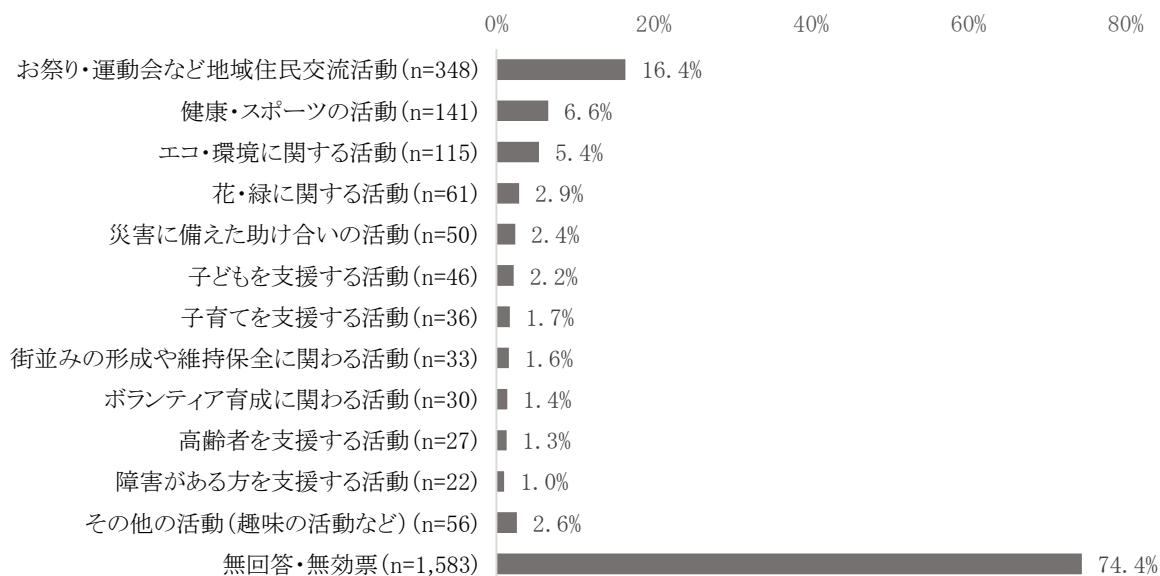
	合計	加入するメリットを感じない	いろいろな役を任せられそう	近所付き合いが面倒	加入を勧誘されなかった	加入の仕方が分からない	住んでいる場所がどの自治会・町内会に所属しているか分からない	その他	無回答・無効票
全体	499	36.9	26.1	17.6	33.7	18.8	30.7	16.6	1.0
持家(一戸建て)	92	60.9	35.9	17.4	20.7	14.1	14.1	17.4	0.0
持家(マンション・共同住宅)	129	34.1	23.3	10.9	26.4	20.2	29.5	20.9	0.8
借家(一戸建て)	4	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0
借家(マンション・共同住宅・社宅・寮など)	257	30.4	24.1	20.6	42.0	20.6	37.4	14.0	1.2
その他	4	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	50.0	0.0

問 11 あなたは、地域活動に参加していますか、または、参加したいと思いますか。
(当てはまる項目に○はいくつでも)

○参加者として現在参加している

参加者として参加している地域活動は、「お祭り・運動会など地域住民交流活動」が 16.4%と割合が最も高く、次いで「健康・スポーツの活動」が 6.6%となっている。以下、「エコ・環境に関する活動」が 5.4%、「花・緑に関する活動」が 2.9%と続いている。

【全体集計】 n=2,127



○運営スタッフとして現在参加している

運営スタッフとして参加している地域活動は、「お祭り・運動会など地域住民交流活動」が 3.9%と割合が最も高く、次いで「災害に備えた助け合いの活動」が 1.2%となっている。以下、「エコ・環境に関する活動」が 1.1%、「健康・スポーツの活動」、「高齢者を支援する活動」が 1.0%と続いている。

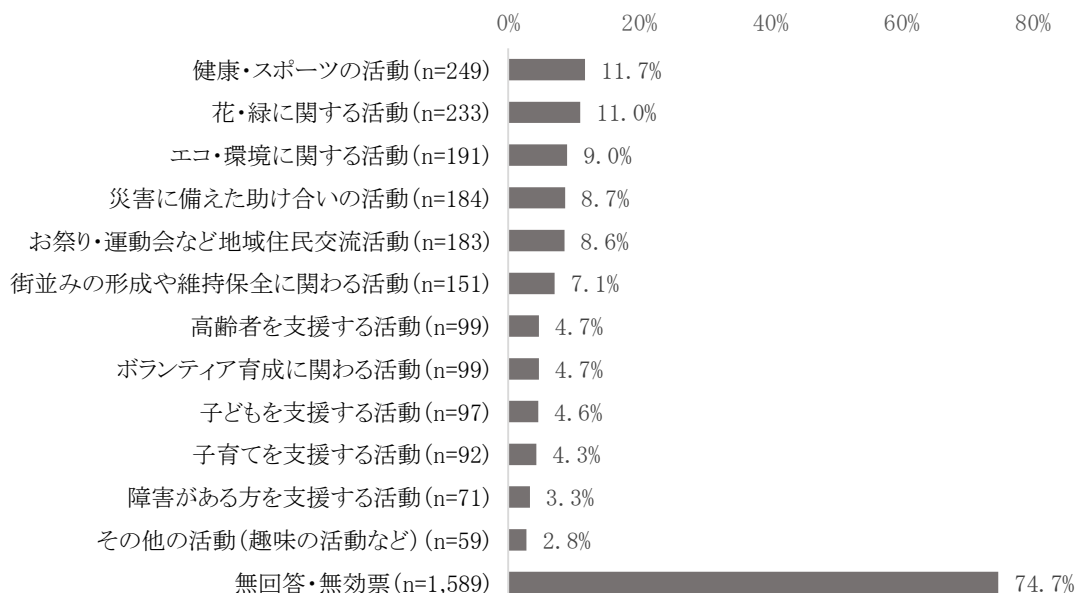
【全体集計】 n=2,127



○参加者として参加してみたい

参加者として参加してみたい地域活動は、「健康・スポーツの活動」が 11.7%と割合が最も高く、次いで「花・緑に関する活動」が 11.0%となっている。以下、「エコ・環境に関する活動」が 9.0%、「災害に備えた助け合いの活動」が 8.7%、「お祭り・運動会など地域住民交流活動」が 8.6%と続いている。

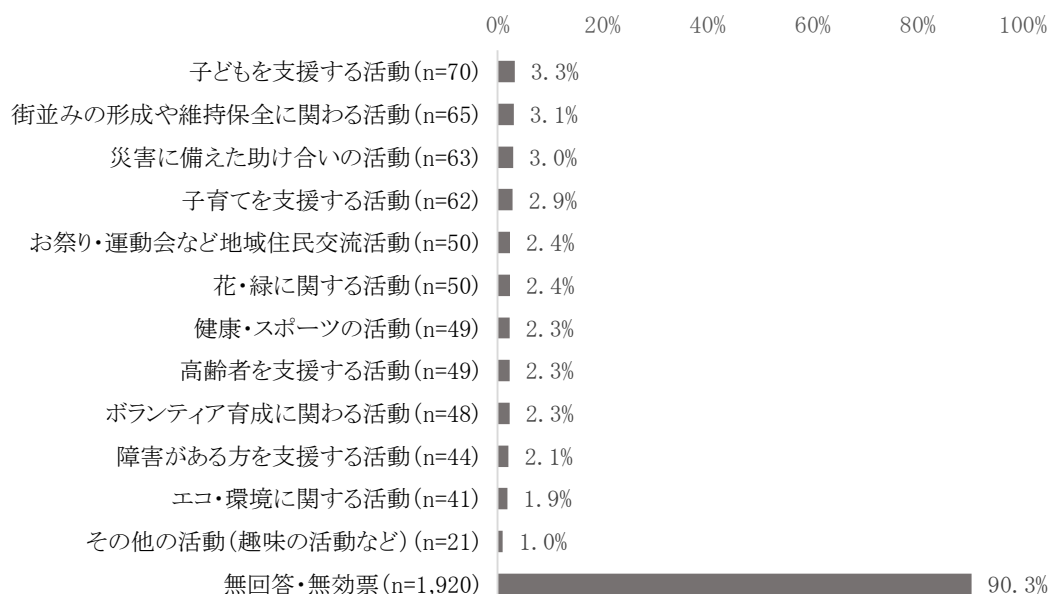
【全体集計】 n=2, 127



○運営スタッフとして参加してみたい

運営スタッフとして参加してみたい地域活動は、「子どもを支援する活動」が 3.3%と割合が最も高く、次いで「街並みの形成や維持保全に関わる活動」が 3.1%となっている。以下、「災害に備えた助け合いの活動」が 3.0%、「子育てを支援する活動」が 2.9%と続いている。

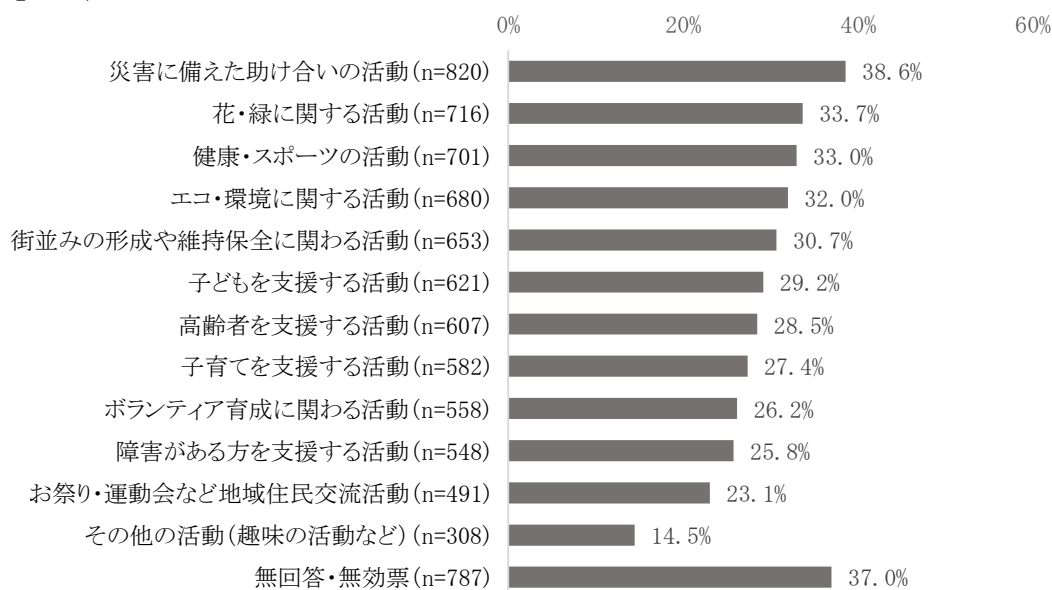
【全体集計】 n=2, 127



○今は参加できないが興味はある

興味がある地域活動は、「災害に備えた助け合いの活動」が 38.6%と割合が最も高く、次いで「花・緑に関する活動」が 33.7%となっている。以下、「健康・スポーツの活動」が 33.0%、「エコ・環境に関する活動」が 32.0%となっている。

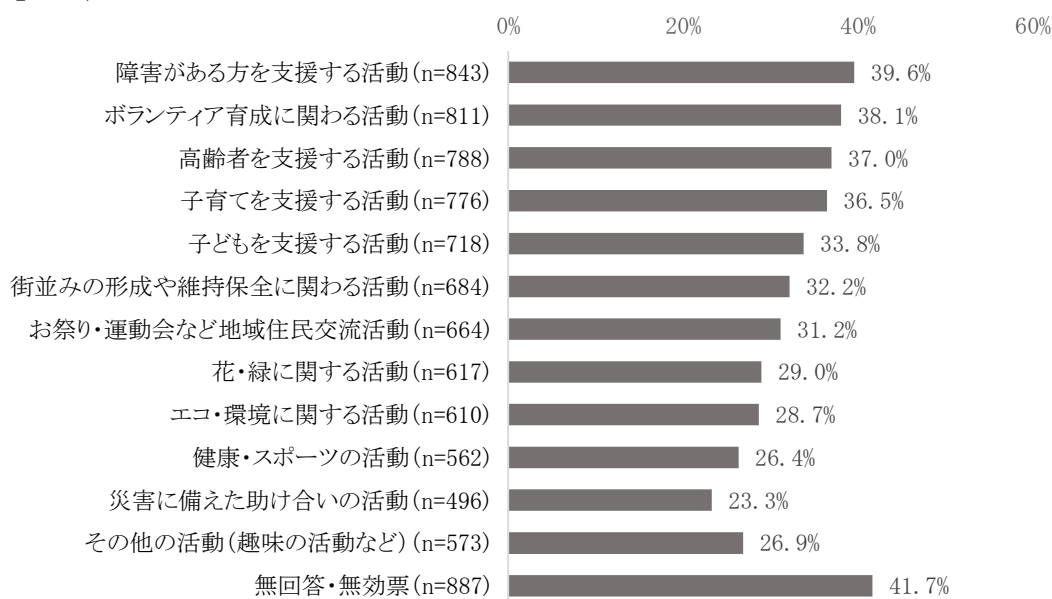
【全体集計】 n=2,127



○参加できない・するつもりはない

参加できない・するつもりはない地域活動は、「障害がある方を支援する活動」が 39.6%と割合が最も高く、次いで「ボランティア育成に関わる活動」が 38.1%となっている。以下、「高齢者を支援する活動」が 37.0%、「子育てを支援する活動」が 36.5%と続いている。

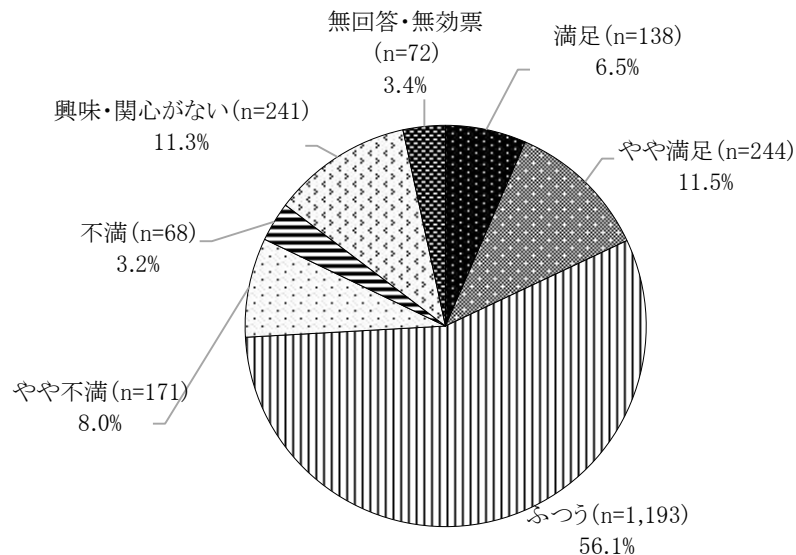
【全体集計】 n=2,127



問 12 あなたは、地域活動に関する情報に満足していますか。(○は1つだけ)

地域活動に関する情報の満足度は、「ふつう」が 56.1%と割合が最も高く、半数以上を占めており、次いで「やや満足」が 11.5%となっている。以下、「興味・関心がない」が 11.3%、「やや不満」が 8.0%と続いている。

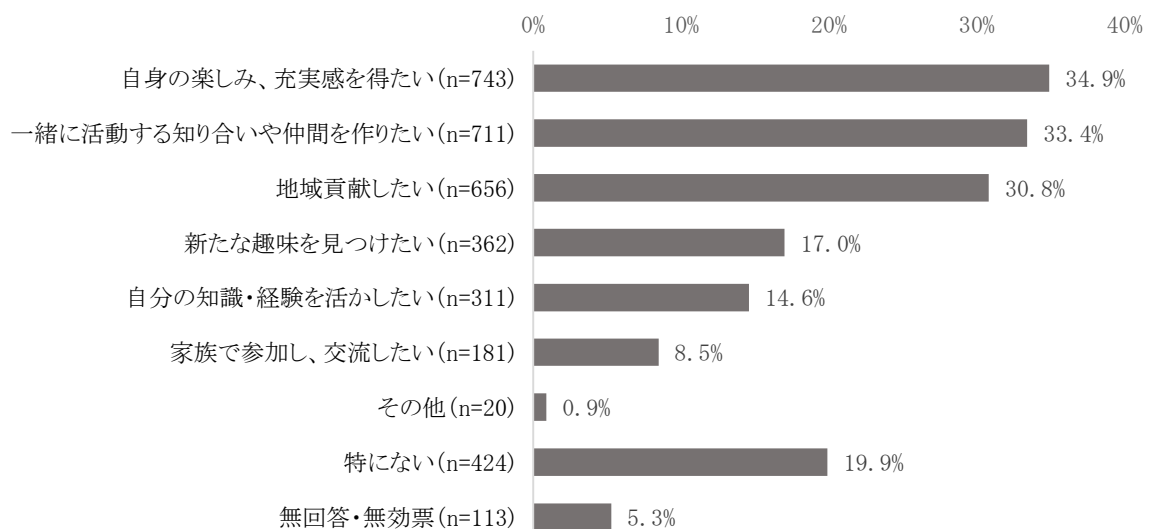
【全体集計】 n=2,127



問 13 あなたが地域活動に参加する場合、期待することは何ですか。(○はいくつでも)

地域活動に参加する場合に期待することは、「自身の楽しみ、充実感を得たい」が 34.9%と割合が最も高く、次いで「一緒に活動する知り合いや仲間を作りたい」が 33.4%となっている。以下、「地域貢献したい」が 30.8%、「新たな趣味を見つけない」が 17.0%と続いている。

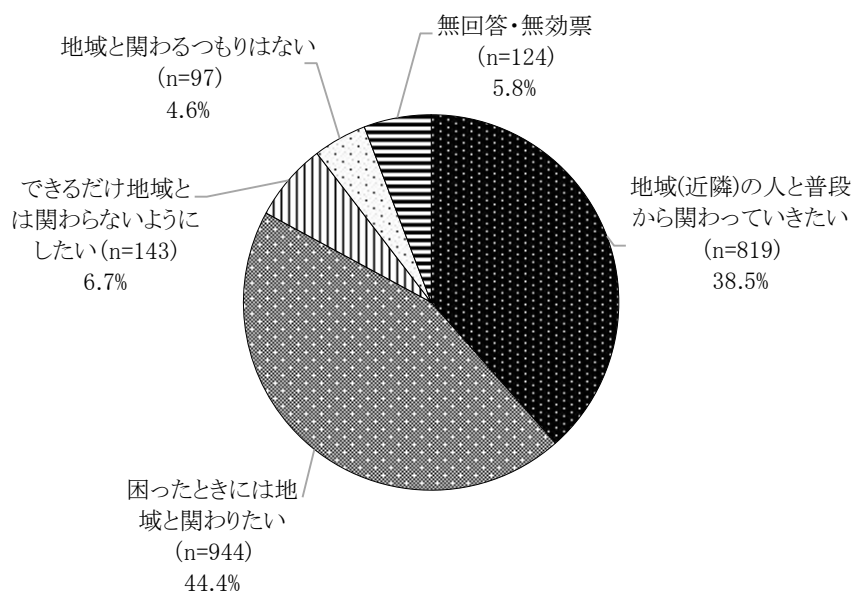
【全体集計】 n=2,127



問 14 あなたは、地域とどのように関わっていきたいと思いますか。(〇は1つだけ)

地域とどのように関わっていきたいかは、「困ったときには地域と関わりたい」が 44.4%と最も高く、次いで「地域(近隣)の人と普段から関わっていきたい」が 38.5%となっている。以下、「できるだけ地域とは関わらないようにしたい」が 6.7%、「地域と関わるつもりはない」が 4.6%と続いている。

【全体集計】 n=2,127



■ライフステージ別 (問 14×ライフステージ)

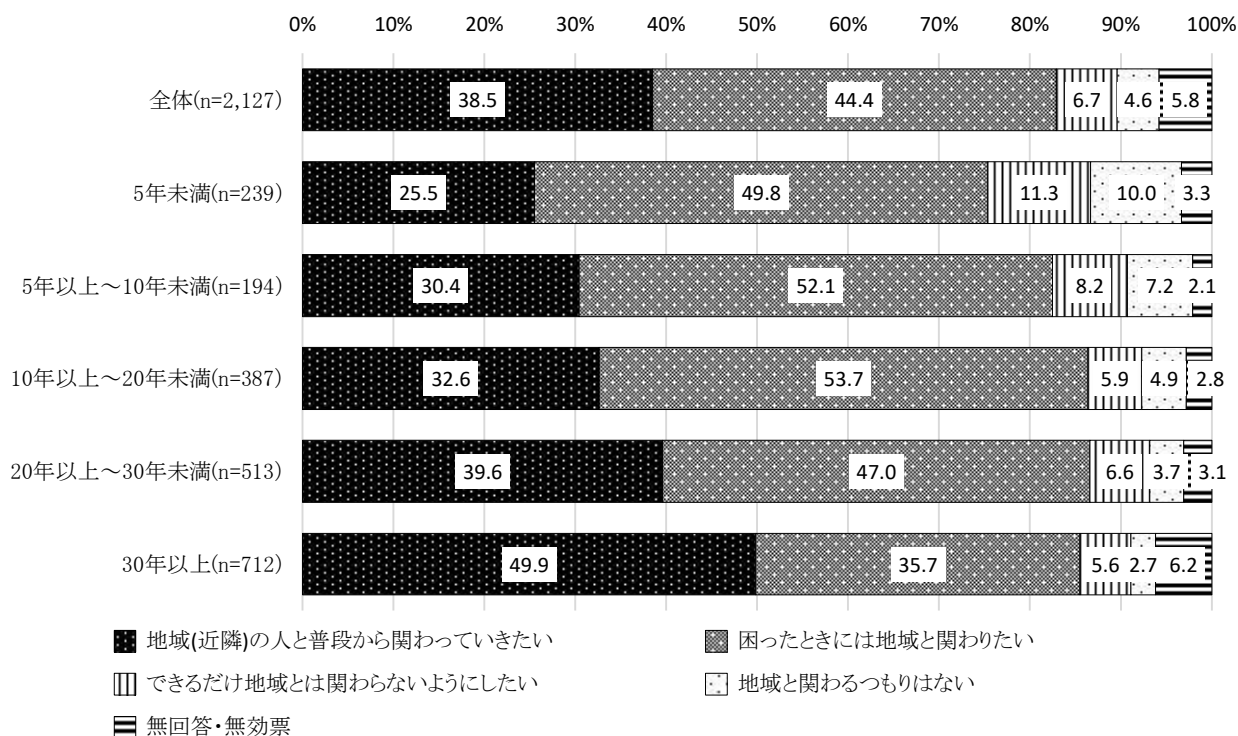
※クロス集計結果の見方は p5、ライフステージとその構成条件は p13 参照

ライフステージ別で見ると、家族成熟後期は「地域(近隣)の人と普段から関わっていきたい」、それ以外は、「困ったときには地域と関わりたい」の割合がそれぞれ最も高い。

	合計	地域(近隣)の人と普段から関わっていきたい	困ったときには地域と関わりたい	できるだけ地域とは関わらないようにしたい	地域と関わるつもりはない	無回答・無効票
全体	2,127	38.5	44.4	6.7	4.6	5.8
単身(1)	157	21.0	61.8	8.3	7.6	1.3
単身(2)	114	21.9	51.8	14.9	8.8	2.6
夫婦だけ(1)	38	15.8	50.0	15.8	18.4	0.0
夫婦だけ(2)	113	28.3	61.9	6.2	3.5	0.0
高齢子どもなし	75	38.7	45.3	5.3	6.7	4.0
家族形成期	91	30.8	54.9	8.8	4.4	1.1
家族成長前期	113	39.8	50.4	4.4	3.5	1.8
家族成長中期	129	39.5	48.8	7.0	3.1	1.6
家族成長後期	113	31.9	54.9	8.8	2.7	1.8
家族成熟前期	79	40.5	51.9	2.5	3.8	1.3
家族成熟中期	285	41.1	45.3	7.0	4.6	2.1
家族成熟後期	616	52.6	32.8	5.4	3.2	6.0
その他	204	29.9	29.9	4.4	3.9	31.9

■居住期間別（問 14×居住期間）

居住期間別で見ると、居住期間が長いほど、「地域(近隣)の人と普段から関わっていききたい」の割合が高い。

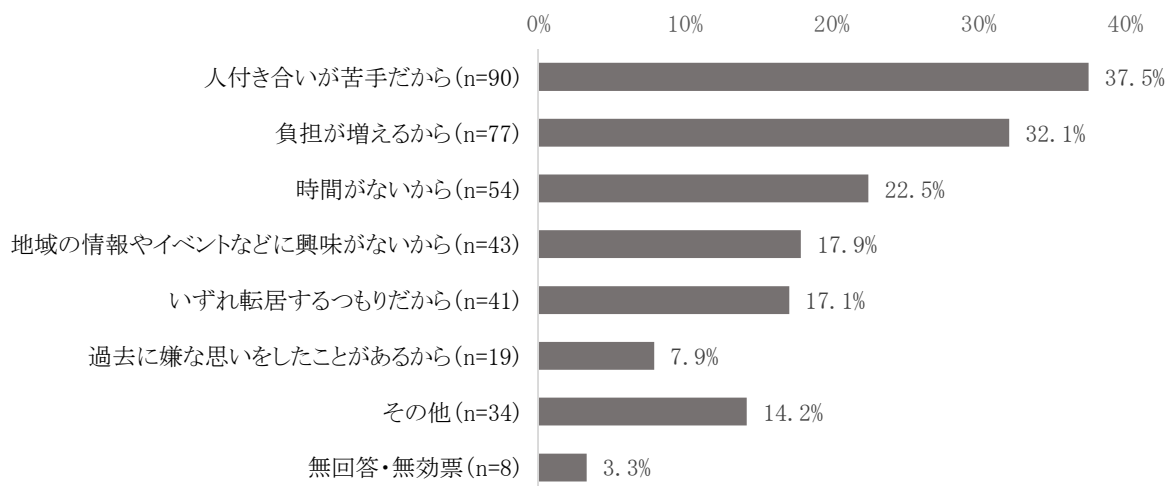


問 14-1 地域と関わりたくない理由は何ですか。(○は2つまで)

※問 14 で「3 できるだけ地域とは関わらないようにしたい」「4 地域と関わるつもりはない」と回答された方へ

地域と関わりたくない理由は、「人付き合いが苦手だから」が 37.5%と割合が最も高く、次いで「負担が増えるから」が 32.1%となっている。以下、「時間がないから」が 22.5%、「地域の情報やイベントなどに興味がないから」が 17.9%と続いている。

【全体集計】 n=240

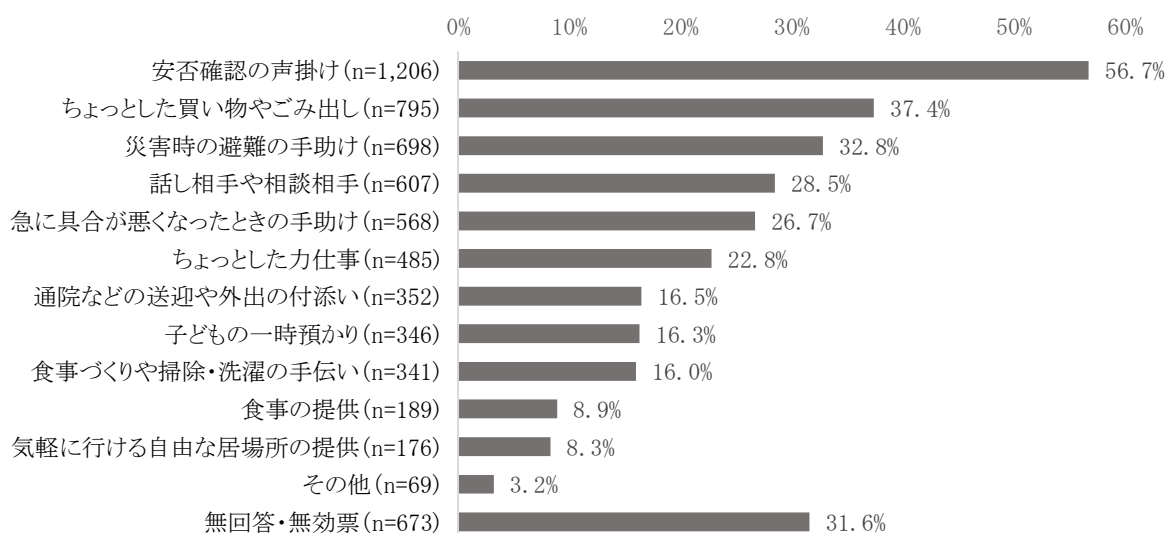


問 15 あなたは、地域の困っている人にどのような手助けができると思いますか。
また、少し困ったことがあった場合、地域から手助けしてもらいたいことはありますか。
(当てはまる項目に○はいくつでも)

○手助けできること

手助けできることは、「安否確認の声掛け」が 56.7%と割合が最も高く、次いで「ちょっとした買い物やごみ出し」が 37.4%となっている。以下、「災害時の避難の手助け」が 32.8%、「話し相手や相談相手」が 28.5%と続いている。

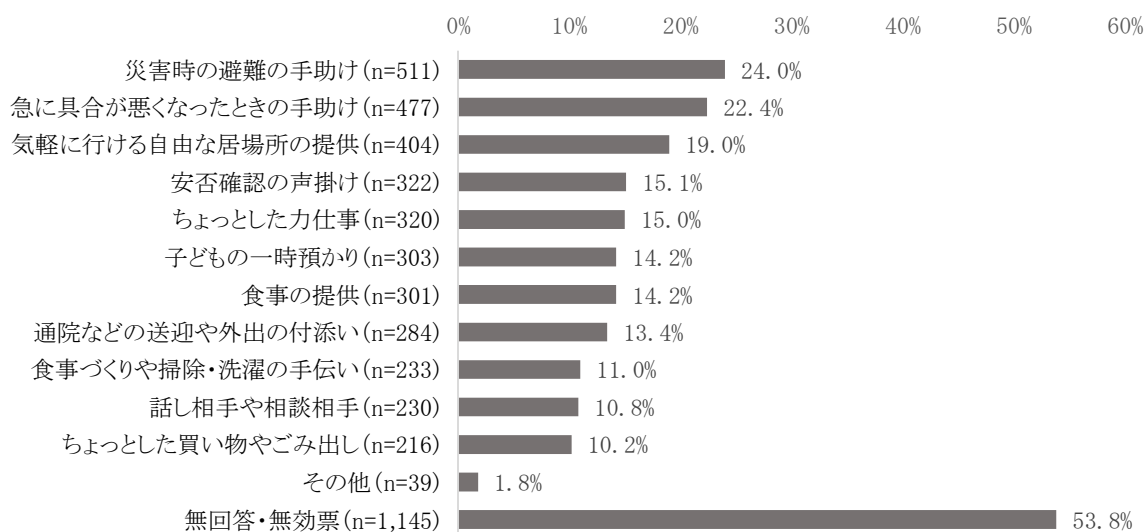
【全体集計】 n=2, 127



○地域に手助けしてほしいこと

手助けしてほしいことは、「災害時の避難の手助け」が 24.0%と割合が最も高く、次いで「急に具合が悪くなったときの手助け」が 22.4%となっている。以下、「気軽に行ける自由な居場所の提供」が 19.0%、「安否確認の声掛け」が 15.1%と続いている。

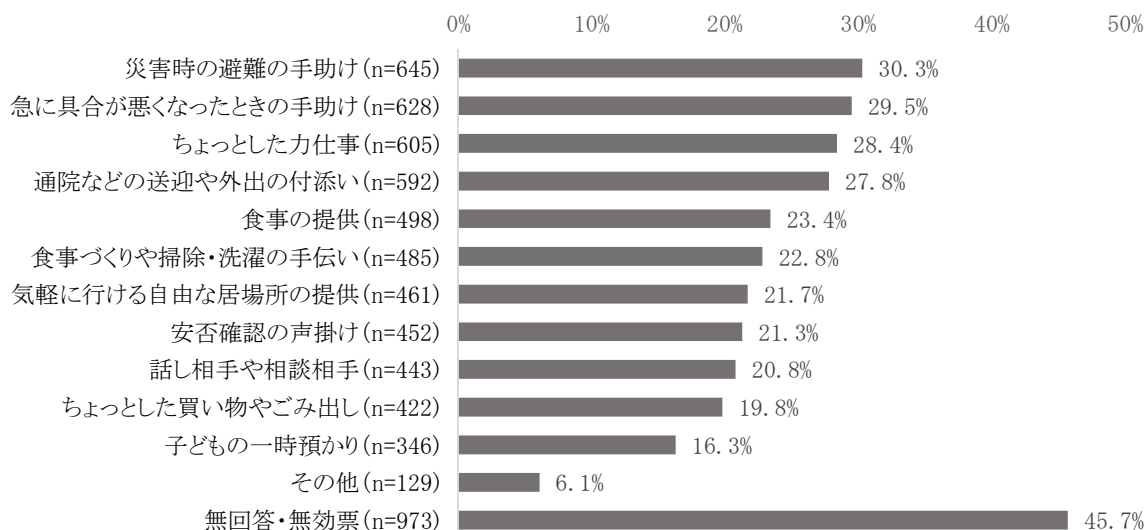
【全体集計】 n=2, 127



○将来、地域の手助けが必要になりそうなこと

将来手助けが必要になりそうなことは、「災害時の避難の手助け」が30.3%と割合が最も高く、次いで「急に具合が悪くなったときの手助け」が29.5%となっている。以下、「ちょっとした力仕事」が28.4%、「通院などの送迎や外出の付添い」が27.8%と続いている。

【全体集計】 n=2,127



◆共助に対する意識の実態（手助けできること－手助けしてほしいこと）

「手助けできること(A)」が「手助けしてほしいこと(B)」を上回っている割合が最も大きいのは、「安否確認の声掛け」(41.6%)、一方、「手助けしてほしいこと(B)」が「手助けできること(A)」を上回っている割合が最も大きいのは、「気軽に行ける自由な居場所の提供」(-10.7%)となっている。

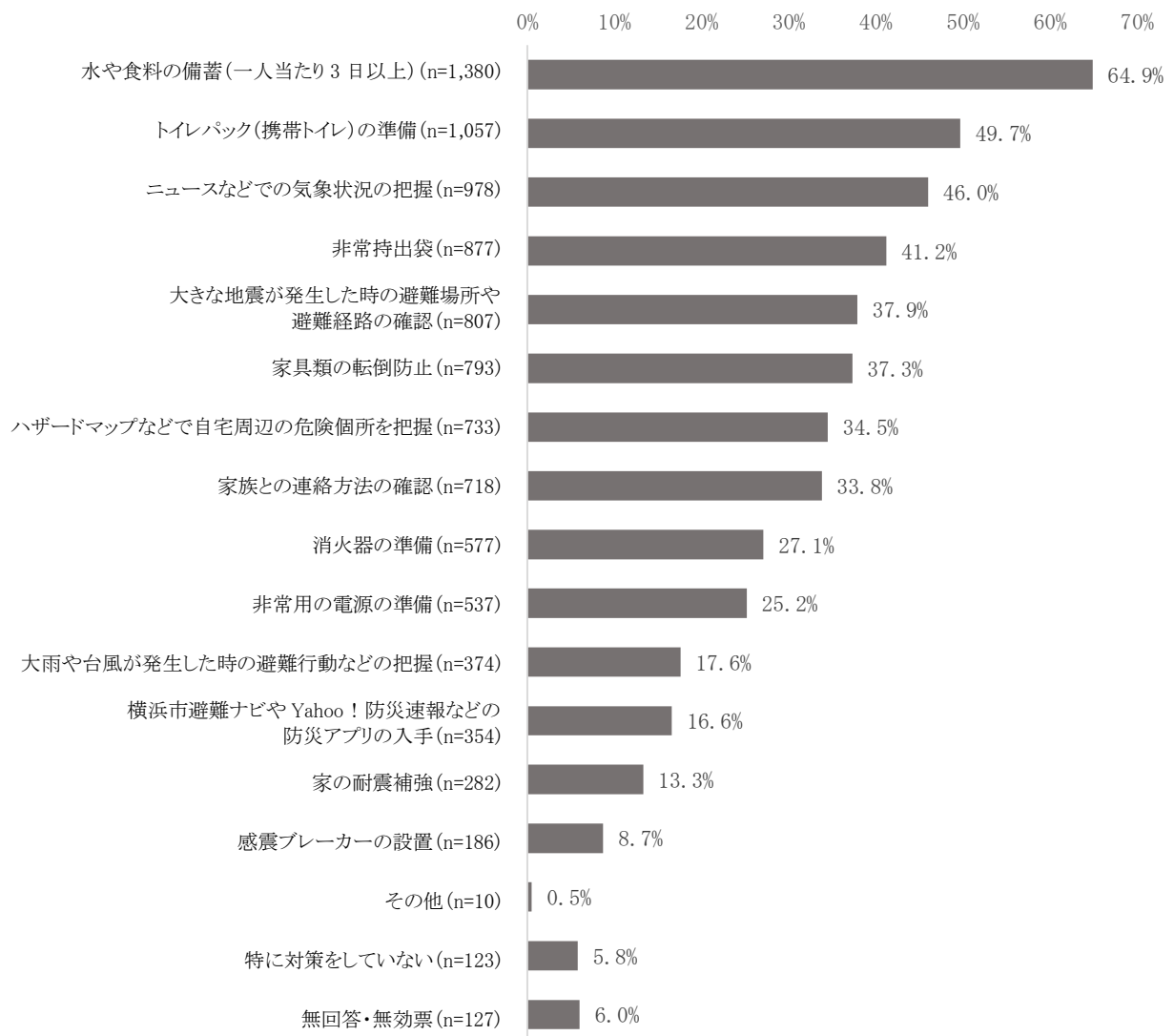
	手助けできること(A)	手助けしてほしいこと(B)	共助に対する意識の実態(A)-(B)
安否確認の声掛け	56.7%	15.1%	41.6%
ちょっとした買い物やごみ出し	37.4%	10.2%	27.2%
話し相手や相談相手	28.5%	10.8%	17.7%
災害時の避難の手助け	32.8%	24.0%	8.8%
ちょっとした力仕事	22.8%	15.0%	7.8%
食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	16.0%	11.0%	5.0%
急に具合が悪くなったときの手助け	26.7%	22.4%	4.3%
通院などの送迎や外出の付添い	16.5%	13.4%	3.1%
子どもの一時預かり	16.3%	14.2%	2.1%
その他	3.2%	1.8%	1.4%
食事の提供	8.9%	14.2%	-5.3%
気軽に行ける自由な居場所の提供	8.3%	19.0%	-10.7%

5. 防災・防犯について

問 16 あなたが実施している防災対策は何ですか。(〇はいくつでも)

実施している防災対策は、「水や食料の備蓄(一人当たり3日以上)」が64.9%と割合が最も高く、次いで、「トイレパック(携帯トイレ)の準備」が49.7%となっている。以下、「ニュースなどでの気象状況の把握」が46.0%、「非常持出袋」が41.2%と続いている。

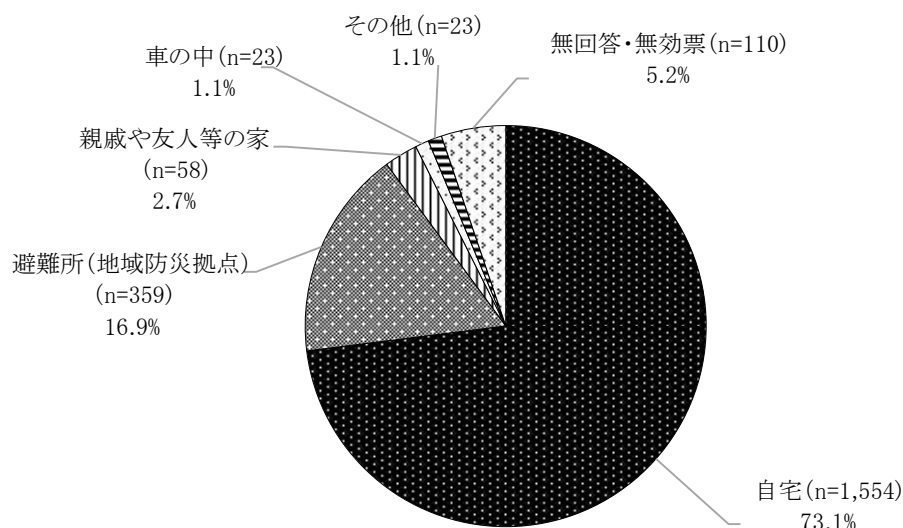
【全体集計】 n=2,127



問 17 大きな地震が発生したとき、あなたはどこで避難生活を送りたいですか。(○は1つだけ)

地震発生時どこで避難生活を送りたいかについては、「自宅」が 73.1%と全体の7割以上を占めており、次いで、「避難所（地域防災拠点）」が 16.9%となっている。以下、「親戚や友人等の家」が 2.7%、「車の中」が 1.1%と続いている。

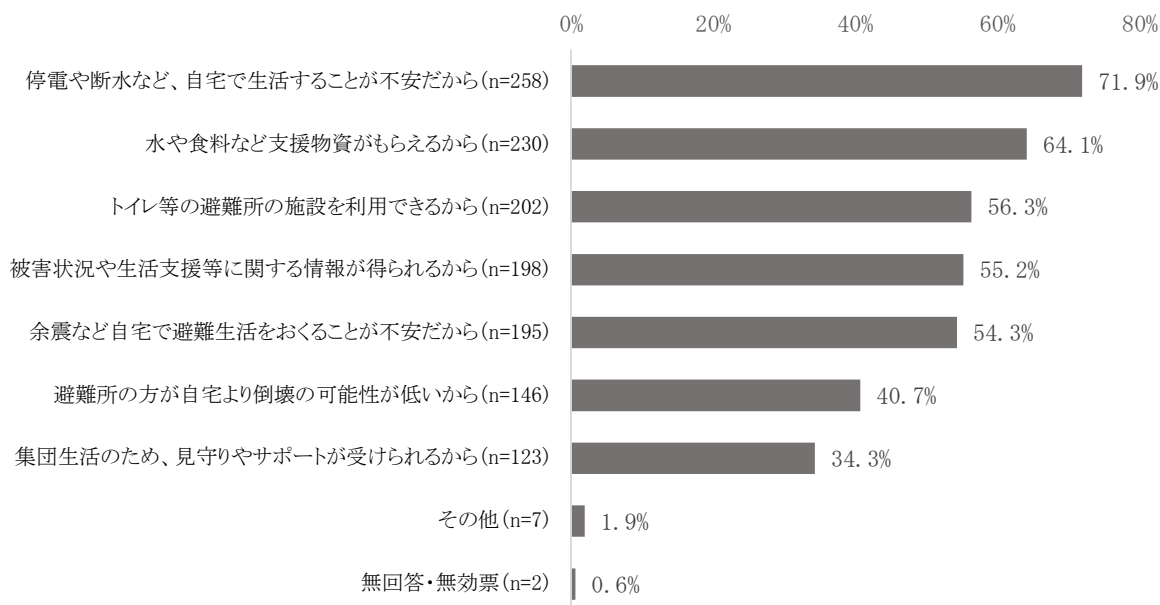
【全体集計】 n=2,127



問 17-1 避難所を選択した理由は何ですか。(○はいくつでも)
※問 17 で「2 避難所（地域防災拠点）」と回答された方へ

避難所（地域防災拠点）を選択した理由は、「停電や断水など、自宅で生活することが不安だから」が 71.9%と割合が最も高く、次いで、「水や食料など支援物資がもらえるから」が 64.1%となっている。以下、「トイレ等の避難所の施設を利用できるから」が 56.3%、「被害状況や生活支援等に関する情報が得られるから」が 55.2%と続いている。

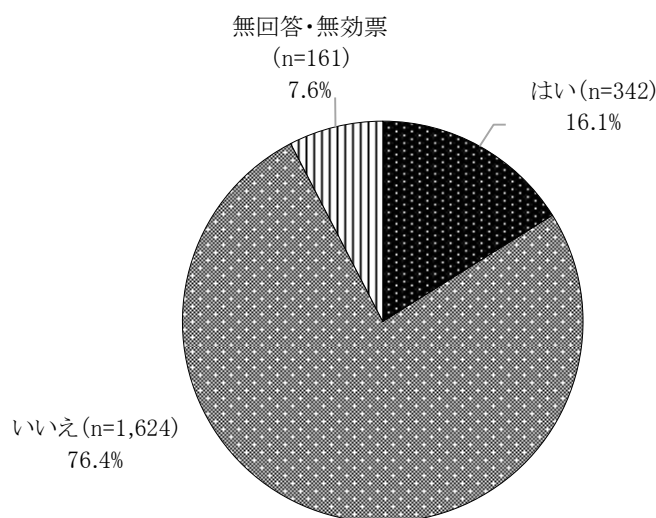
【全体集計】 n=359



問 18 あなたやあなたと一緒に住んでいる家族に、災害時要援護者の方はいらっしゃいますか。
(○は1つだけ)

あなたや同居の家族に災害時要援護者の方がいる割合は、「いいえ」が 76.4%と 7 割以上を占めており、「はい」が 16.1%となっている。

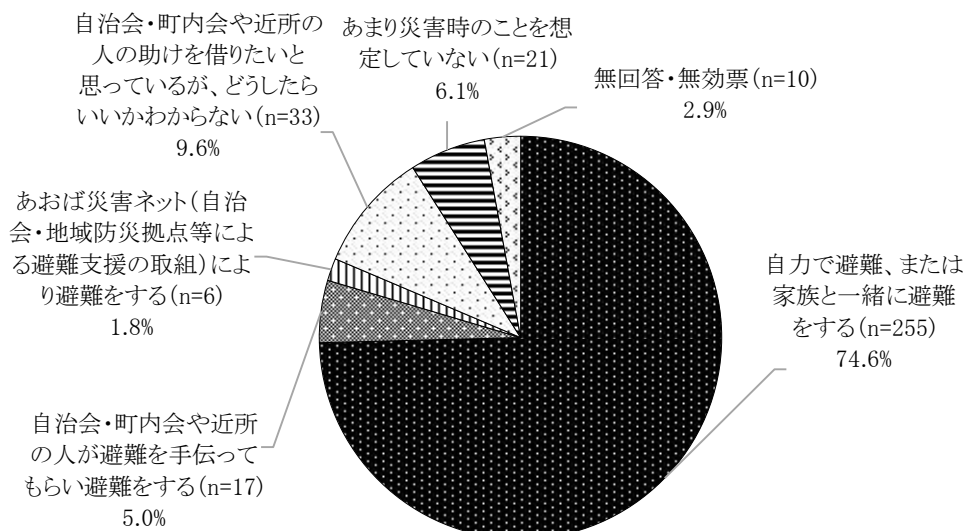
【全体集計】 n=2,127



問 18-1 あなたやあなたと一緒に住んでいる家族で、災害発生時の対応としてあてはまるものに○をしてください。(○は1つだけ)
※問 18 で「1 はい」と回答された方へ

災害時要援護者の方がいる場合の災害発生時の対応として、「自力で避難、または家族と一緒に避難をする」が 74.6%と割合が最も高く、次いで、「自治会・町内会や近所の人助けを借りたいと思っているが、どうしたらいいかわからない」が 9.6%となっている。

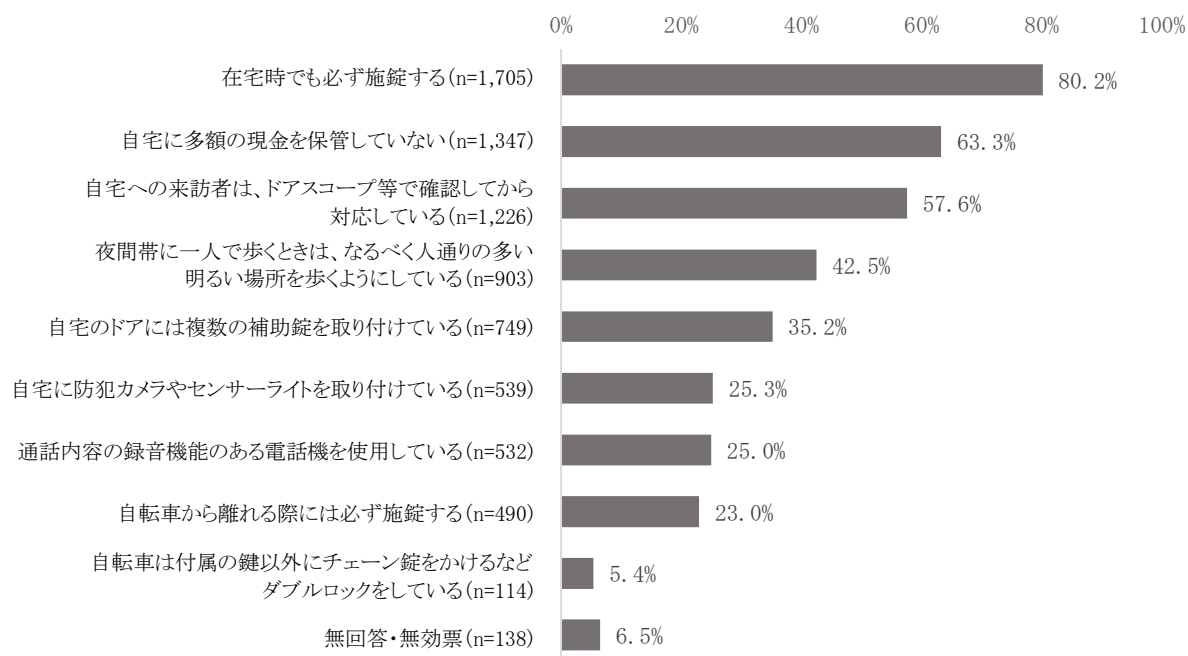
【全体集計】 n=342



問 19 あなたが実施している防犯対策は何ですか。(〇はいくつでも)

実施している防犯対策は、「在宅時でも必ず施錠する」が80.2%と割合が最も高く、次いで、「自宅に多額の現金を保管していない」が63.3%となっている。以下、「自宅への来訪者は、ドアスコープ等で確認してから対応している」が57.6%、「夜間帯に一人で歩くときは、なるべく人通りの多い明るい場所を歩くようにしている」が42.5%と続いている。

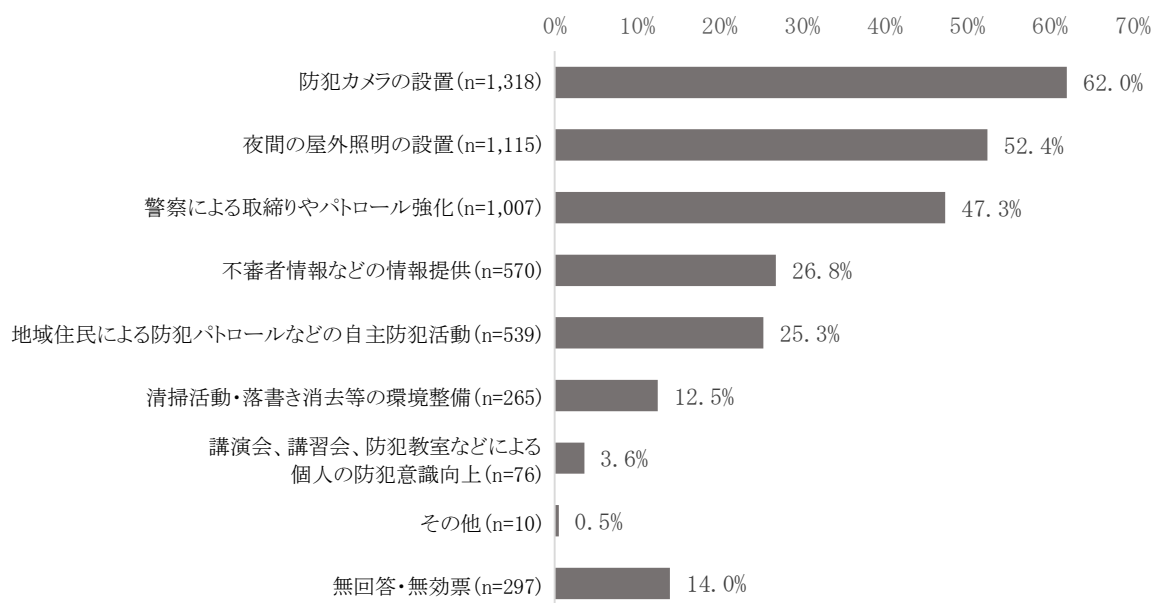
【全体集計】 n=2,127



問 20 地域の防犯対策として、どのようなことが効果があると思いますか。(〇は3つまで)

地域の防犯対策として効果があると思うことは、「防犯カメラの設置」が62.0%と割合が最も高く、次いで、「夜間の屋外照明の設置」が52.4%となっている。以下、「警察による取締りやパトロール強化」が47.3%、「不審者情報などの情報提供」が26.8%と続いている。

【全体集計】 n=2,127

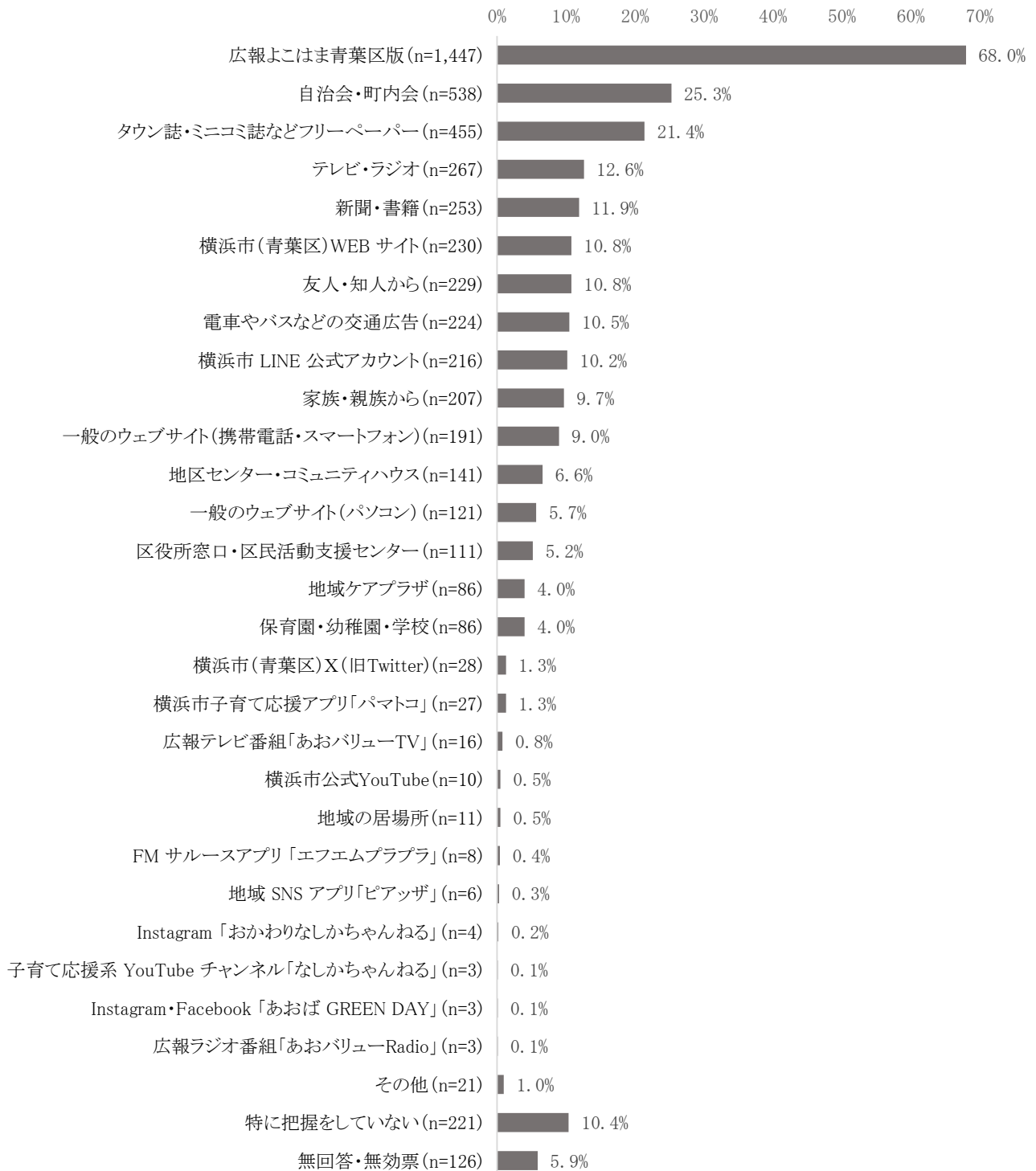


6. 広報について

問 21 あなたは、青葉区役所からののお知らせや地域情報をどこで知りますか。(〇はいくつでも)

青葉区からののお知らせ等の情報収集手段は、「広報よこはま青葉区版」が 68.0%と割合が最も高く、次いで「自治会・町内会」が 25.3%となっている。以下、「タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパー」が 21.4%、「テレビ・ラジオ」が 12.6%と続いている。

【全体集計】 n=2, 127



■年代別（問 21×年代）※クロス集計結果の見方は p5 参照

年代別で見ると、10 代、20 代は、「特に把握をしていない」の割合が最も高く、それ以外の年代では、「広報よこはま青葉区版」の割合が最も高くなっている。

		合計	広報よこはま青葉区版	横浜市（青葉区）WEB サイト	横浜市（青葉区）X（旧 Twitter）	横浜市 LINE 公式アカウント	横浜市公式 YouTube	地域 SNS アプリ「ピアッザ」	Instagram 「おかわりなしちゃんねる」 子育て応援系 YouTube チャンネル「なしかちゃんねる」	Instagram 「あおば GREEN・FACEBOOK DAY」	広報テレビ番組「あおバリューTV」	「あおバリューRadio」	FM サルースアプリ 「エフエムプラブラ」	FM サルースアプリ 「エフエムプラブラ」	新聞・書籍	テレビ・ラジオ	一般のウェブサイトを（携帯電話・スマートフォン）	一般のウェブサイトを（パソコン）	タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパー	電車やバスなどの交通広告	家族・親族から	友人・知人から	区役所窓口・区民活動支援センター	地区センター・コミュニティハウス	地域ケアプラザ	自治会・町内会	保育園・幼稚園・学校	地域の居場所	その他	特に把握をしていない	無回答・無効票	
全体		2,127	68.0	10.8	1.3	10.2	0.5	0.3	0.1	0.2	1.3	0.1	0.8	0.1	0.4	11.9	12.6	5.7	9.0	21.4	10.5	9.7	10.8	5.2	6.6	4.0	25.3	4.0	0.5	1.0	10.4	5.9
10代		26	26.9	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	3.8	0.0	11.5	0.0	7.7	26.9	7.7	0.0	3.8	3.8	15.4	0.0	0.0	3.8	38.5	0.0
20代		111	27.9	10.8	1.8	8.1	1.8	0.9	0.0	0.9	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	9.0	3.8	9.0	8.1	10.8	16.2	0.9	3.6	1.8	0.9	8.1	3.6	0.9	0.9	30.6	4.5
30代		183	41.0	14.8	2.2	12.6	1.6	0.5	1.6	1.6	7.1	0.0	1.1	0.0	0.0	2.7	4.9	3.8	10.9	6.6	8.7	12.0	8.2	4.9	3.6	1.6	13.7	14.8	1.6	0.5	25.7	2.7
40代		285	54.7	10.9	1.4	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.4	0.4	0.0	0.0	2.8	4.6	4.9	8.1	18.2	9.5	8.8	8.8	4.9	3.9	1.4	14.7	14.4	0.4	2.1	15.4	3.9
50代		424	75.9	14.6	1.7	13.9	0.2	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.9	0.2	1.2	6.4	6.1	5.7	9.7	18.2	10.4	8.0	8.3	3.1	5.7	1.9	21.9	1.9	0.7	0.5	10.1	1.9
60代		430	79.3	12.3	0.9	12.3	0.2	0.2	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.0	0.2	15.3	11.9	7.2	10.2	23.0	13.3	8.4	12.3	5.3	6.5	2.3	26.3	0.9	0.2	0.9	5.3	2.1
70～74歳		172	83.1	10.5	0.0	7.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.6	18.0	22.7	7.8	9.3	29.7	9.3	9.9	14.0	7.0	7.0	9.3	36.6	0.6	0.0	1.2	6.4	2.9
75歳以上		399	87.2	6.0	1.5	3.0	0.5	0.3	0.0	0.0	0.3	0.0	1.3	0.5	0.3	26.3	28.3	6.5	7.5	36.3	11.5	11.3	17.8	8.0	13.5	10.3	45.1	0.3	0.5	0.8	1.5	4.5

■自治会・町内会の加入状況別（問 21×問 10）※クロス集計結果の見方は p5 参照

自治会・町内会の加入状況別で見ると、「加入している」では 78.0%、「加入していない」では 43.7%で「広報よこはま青葉区版」の割合が最も高くなっている。

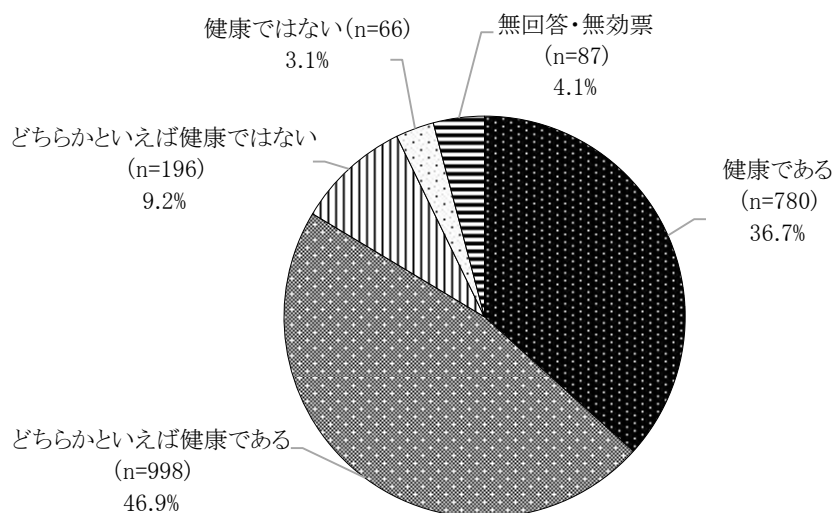
		合計	広報よこはま青葉区版	横浜市（青葉区）WEB サイト	横浜市（青葉区）X（旧 Twitter）	横浜市 LINE 公式アカウント	横浜市公式 YouTube	地域 SNS アプリ「ピアッザ」	Instagram「おかわりなしちゃんねる」 子育て応援系 YouTube チャンネル「なしかちゃんねる」	横浜市子育て応援アプリ「バマトコ」	Instagram「あおば GREEN・FACEBOOK DAY」	広報テレビ番組「あおバリューTV」	「あおバリューRadio」	FM サルースアプリ「エフエムプラブラ」	新聞・書籍	テレビ・ラジオ	一般のウェブサイトを（携帯電話・スマートフォン）	一般のウェブサイトを（パソコン）	タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパー	電車やバスなどの交通広告	家族・親族から	友人・知人から	区役所窓口・区民活動支援センター	地区センター・コミュニティハウス	地域ケアプラザ	自治会・町内会	保育園・幼稚園・学校	地域の居場所	その他	特に把握をしていない	無回答・無効票	
全体		2,127	68.0	10.8	1.3	10.2	0.5	0.3	0.1	0.2	1.3	0.1	0.8	0.1	0.4	11.9	12.6	5.7	9.0	21.4	10.5	9.7	10.8	5.2	6.6	4.0	25.3	4.0	0.5	1.0	10.4	5.9
加入している		1,540	78.0	10.3	1.3	10.4	0.3	0.1	0.1	0.1	0.9	0.1	0.6	0.1	0.5	13.8	13.4	6.0	8.7	23.6	11.0	10.1	12.0	5.5	7.9	4.8	34.4	4.2	0.6	0.9	6.6	3.3
加入していない		499	43.7	13.2	1.2	10.8	1.0	0.8	0.4	0.4	2.6	0.0	1.4	0.2	0.2	6.4	11.0	5.6	10.8	16.4	9.4	9.4	7.8	5.2	3.6	2.2	0.8	4.4	0.4	1.4	22.6	5.6

7. 健康について

問 22 あなたの健康状態はいかがですか。最近の状況に最も近いものに○をしてください。
(○は1つだけ)

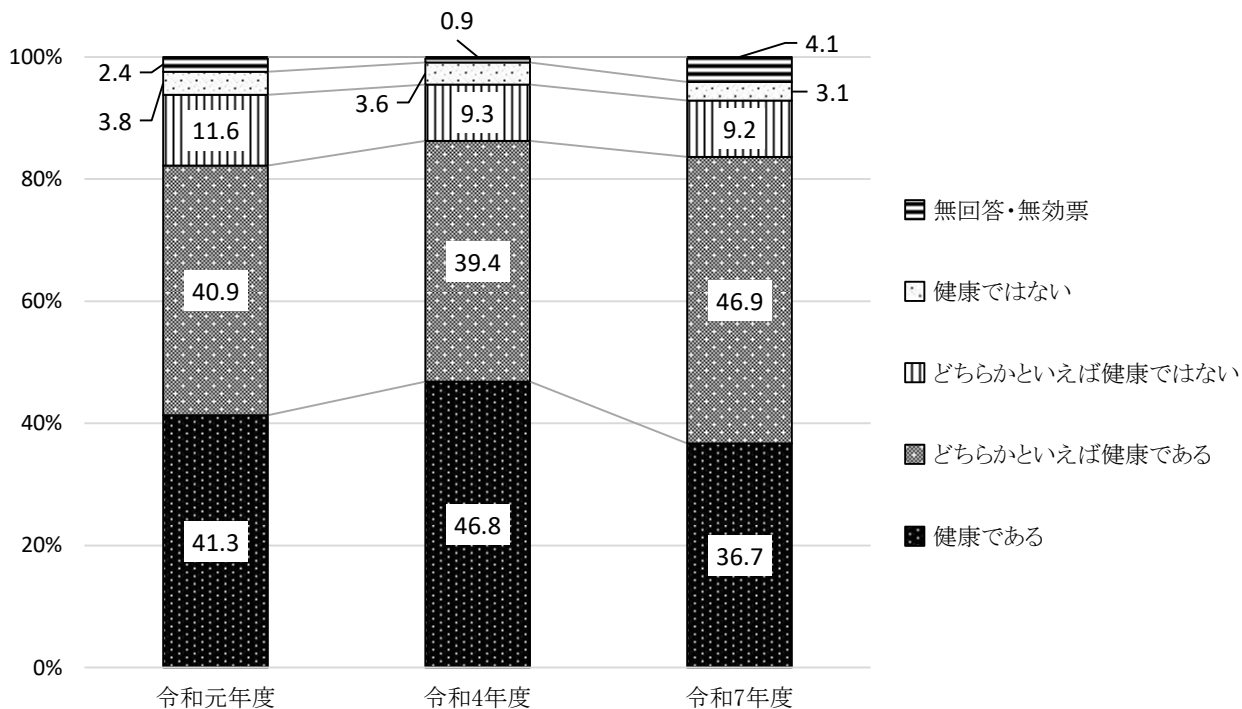
健康状態は、「どちらかといえば健康である」が 46.9%と割合が最も高く、次いで「健康である」が 36.7%、この2つを合わせると8割以上となる。以下、「どちらかといえば健康ではない」が 9.2%、「健康ではない」が 3.1%と続いている。

【全体集計】 n=2,127



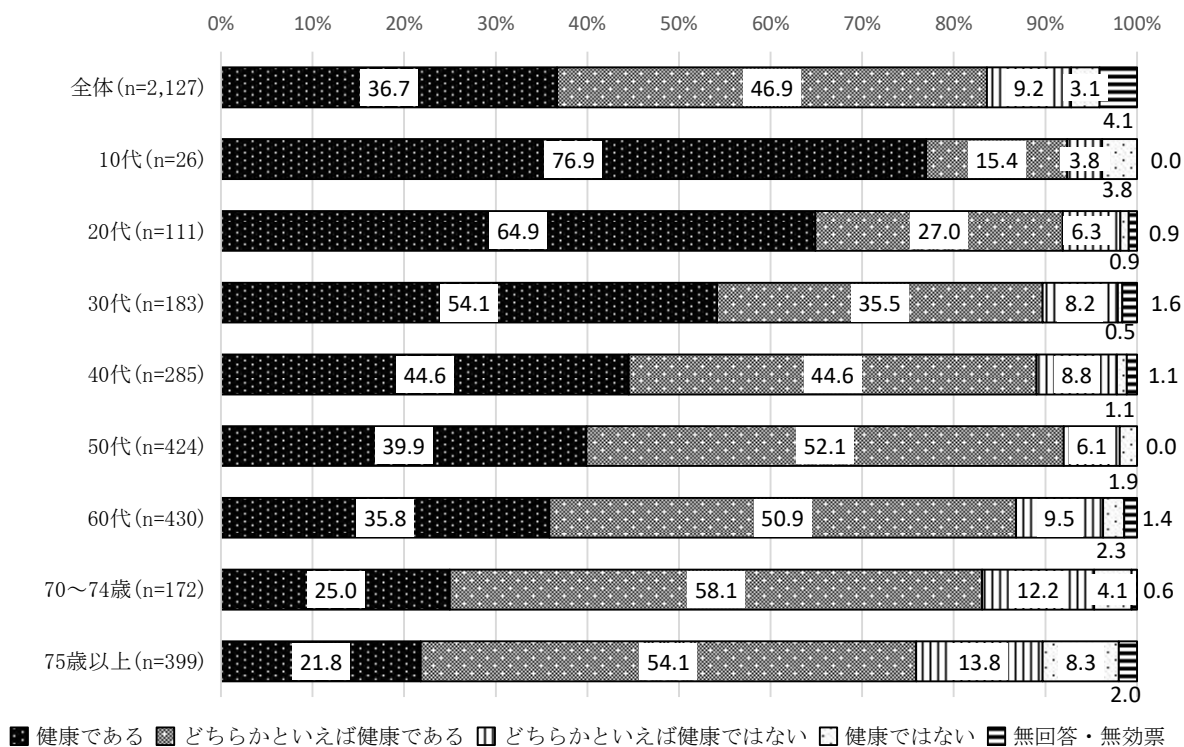
＜令和元年度調査、令和４年度調査との比較＞

令和元年度、令和４年度に比べ、「健康である」が減少し、「どちらかという健康である」が増加している。



■年代別（問 22×年代）

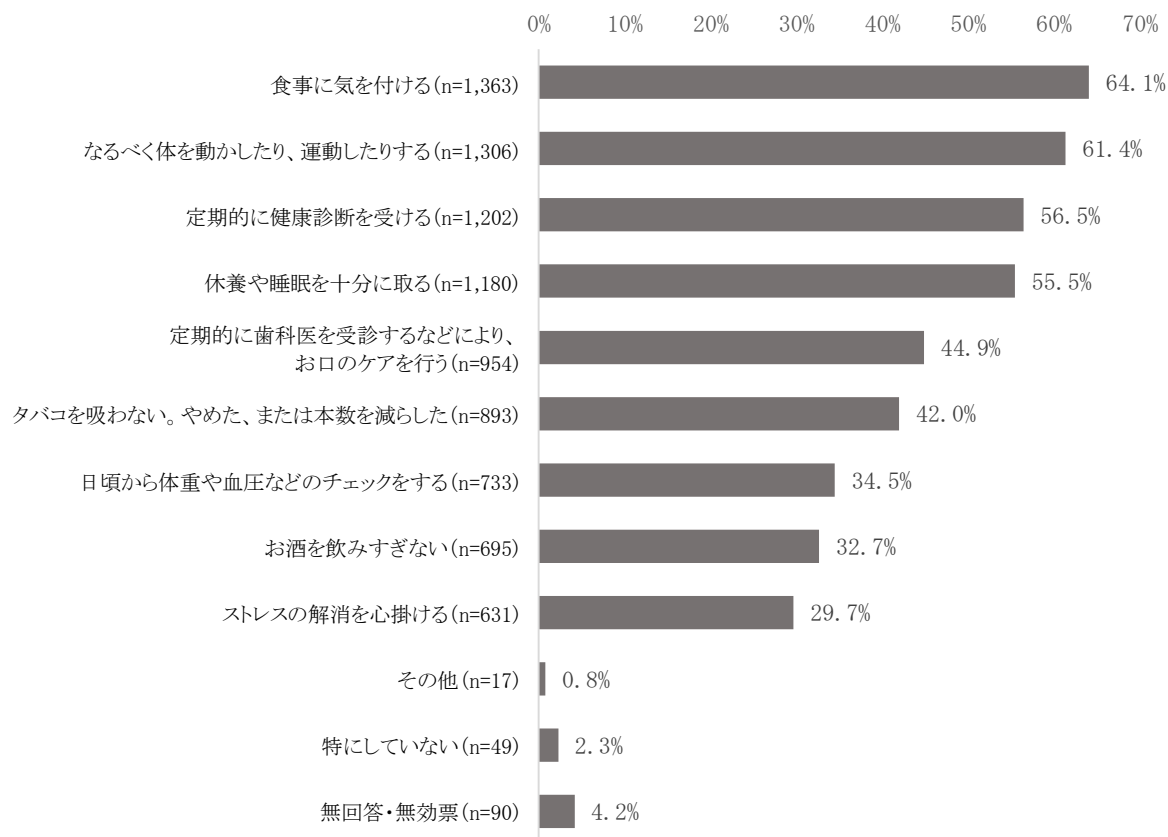
年代別で見ると、年齢を重ねるごとに、「健康である」の割合が減少している。



問 23 あなたは、ご自身の健康のためにどのようなことに気を付けていますか。
※印の質問は、20 歳以上の方のみお答えください。(〇はいくつでも)

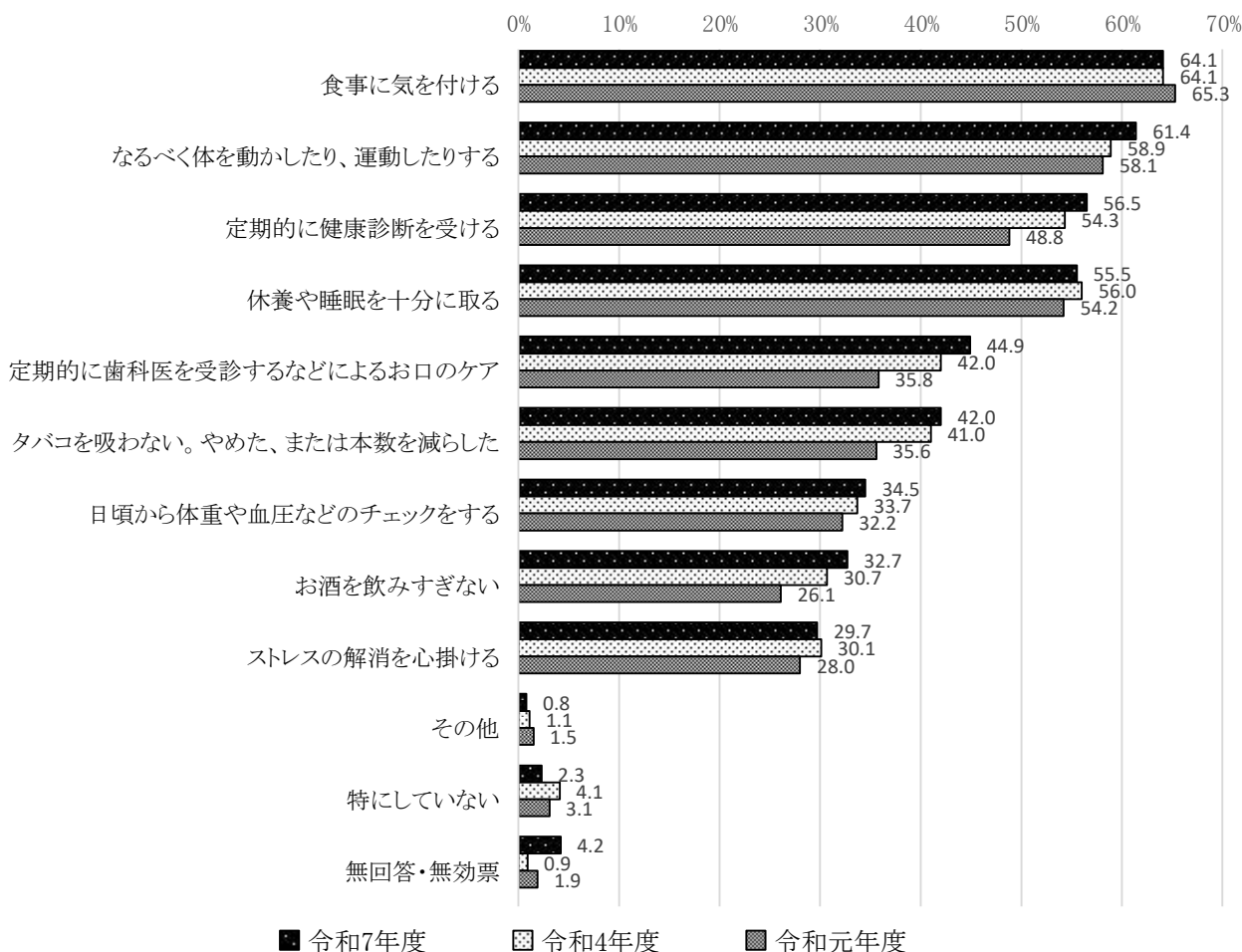
健康のために気を付けていることは、「食事に気を付ける」が 64.1%と割合が最も高く、次いで「なるべく体を動かしたり、運動したりする」が 61.4%となっている。以下、「定期的に健康診断を受ける」が 56.5%、「休養や睡眠を十分に取る」が 55.5%と続いている。

【全体集計】 n=2,127



＜令和元年度、令和4年度調査との比較＞

令和4年度に比べ、「食事に気を付ける」、「休養や睡眠を十分にする」、「ストレスの解消を心掛ける」、「その他」、「特にしていない」以外は増加している。「定期的に歯科医を受診するなどによるお口のケア」で、最も差があり、2.9ポイント増加している。



■健康状態別（問23×問22）※クロス集計結果の見方はp5参照

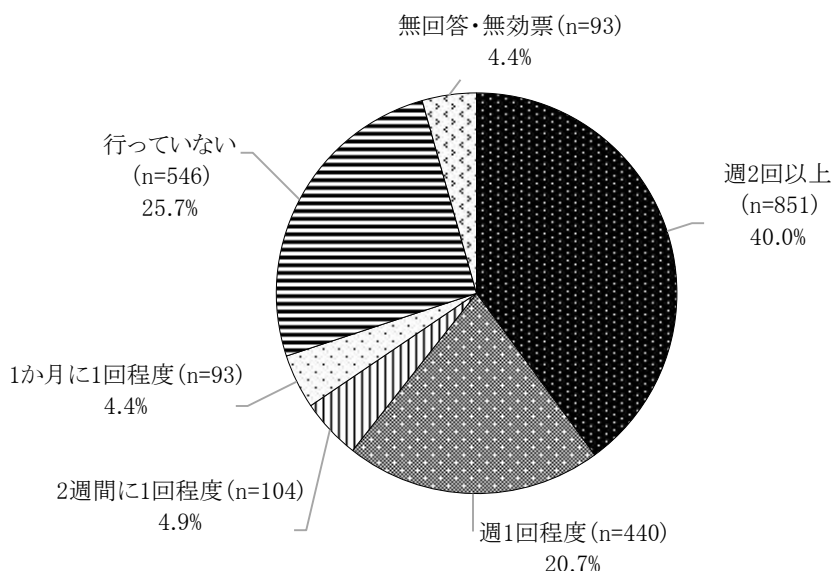
健康状態別で見ると、「健康である」と回答した方は、「なるべく体を動かしたり、運動したりする」、「食事に気を付ける」の割合が高い。

	合計	なるべく体を動かしたり、運動したりする	食事に気を付ける	休養や睡眠を十分にする	日頃から体重や血圧などのチェックをする	定期的に健康診断を受ける	ストレスの解消を心掛ける	定期的に歯科医を受診するなどによるお口のケア	※タバコを吸わない。やめた、または本数を減らした	※お酒を飲みすぎない	その他	特にしていない	無回答・無効票
全体	2,127	61.4	64.1	55.5	34.5	56.5	29.7	44.9	42.0	32.7	0.8	2.3	4.2
健康である	780	72.9	71.0	64.7	31.4	58.2	34.7	46.2	43.5	33.5	1.0	1.9	0.3
どちらかといえば健康である	998	61.3	64.6	54.3	36.8	61.5	29.9	49.0	44.8	34.8	0.4	2.0	0.6
どちらかといえば健康ではない	196	46.9	59.2	48.5	42.3	50.5	21.9	38.3	38.3	31.1	2.6	4.6	1.0
健康ではない	66	40.9	62.1	50.0	50.0	47.0	22.7	37.9	43.9	31.8	0.0	7.6	4.5

問 24 あなたは、1回30分以上の運動をどのくらいの頻度で行っていますか。(〇は1つだけ)

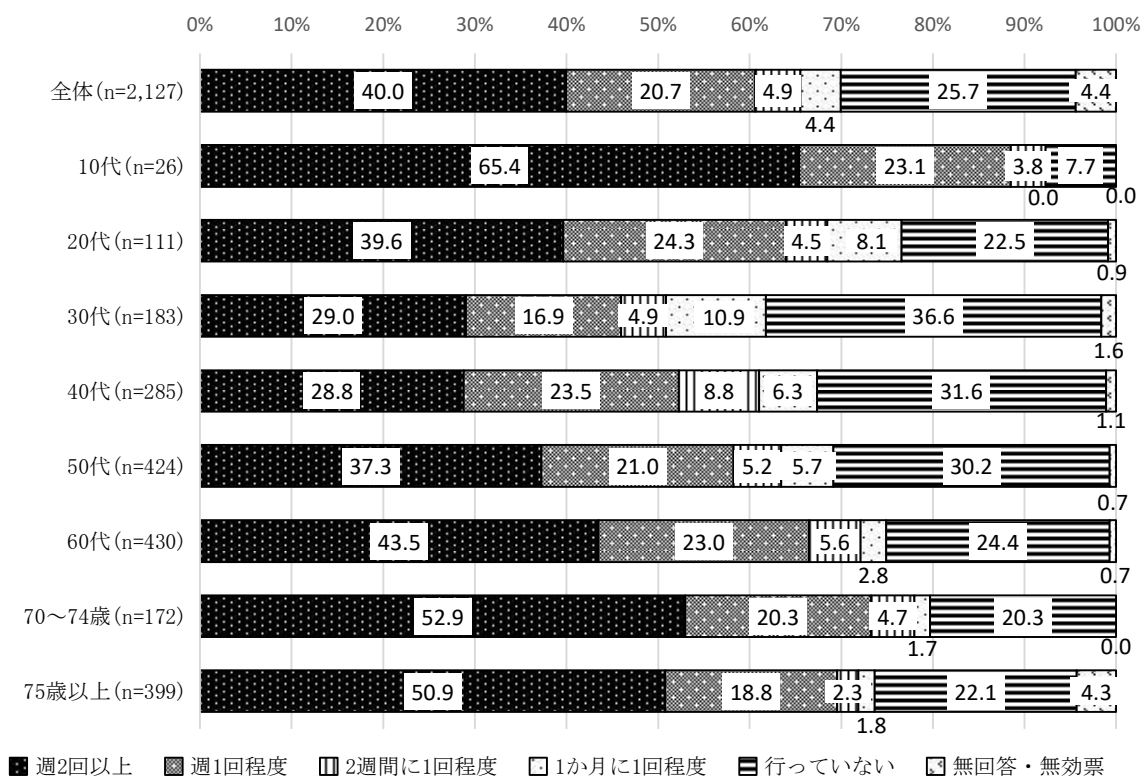
1回30分以上の運動の頻度は、「週2回以上」が40.0%と割合が最も高く、次いで「行っていない」が25.7%となっている。以下、「週1回程度」が20.7%、「2週間に1回程度」が4.9%が続いている。

【全体集計】 n=2,127



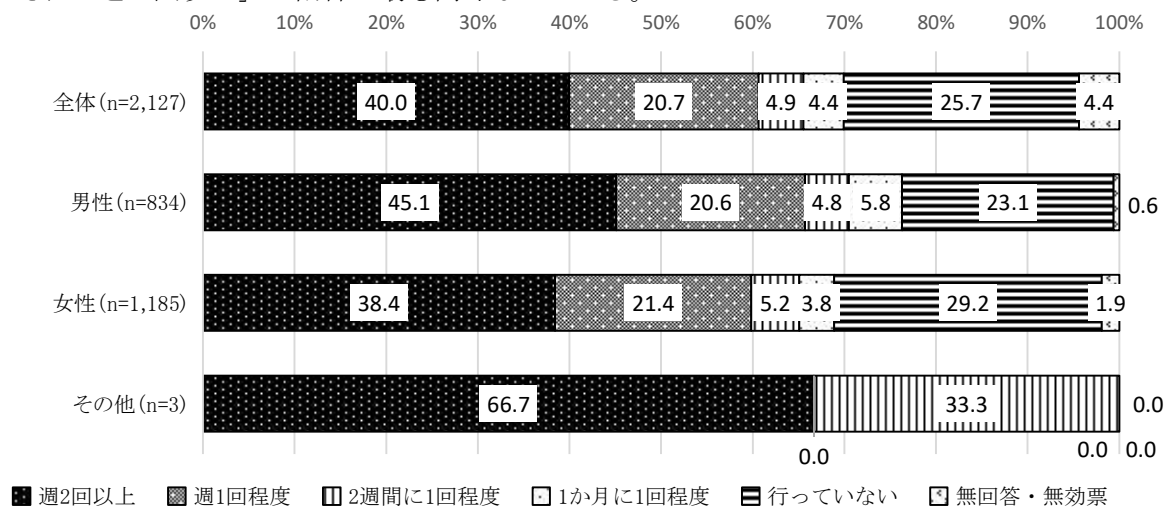
■年代別（問24×年代）

年代別で見ると、1回30分以上の運動をする頻度は、10代、20代、50代、60代、70～74歳、75歳以上は「週2回以上」、30代、40代は「行っていない」の割合がそれぞれ最も高くなっている。



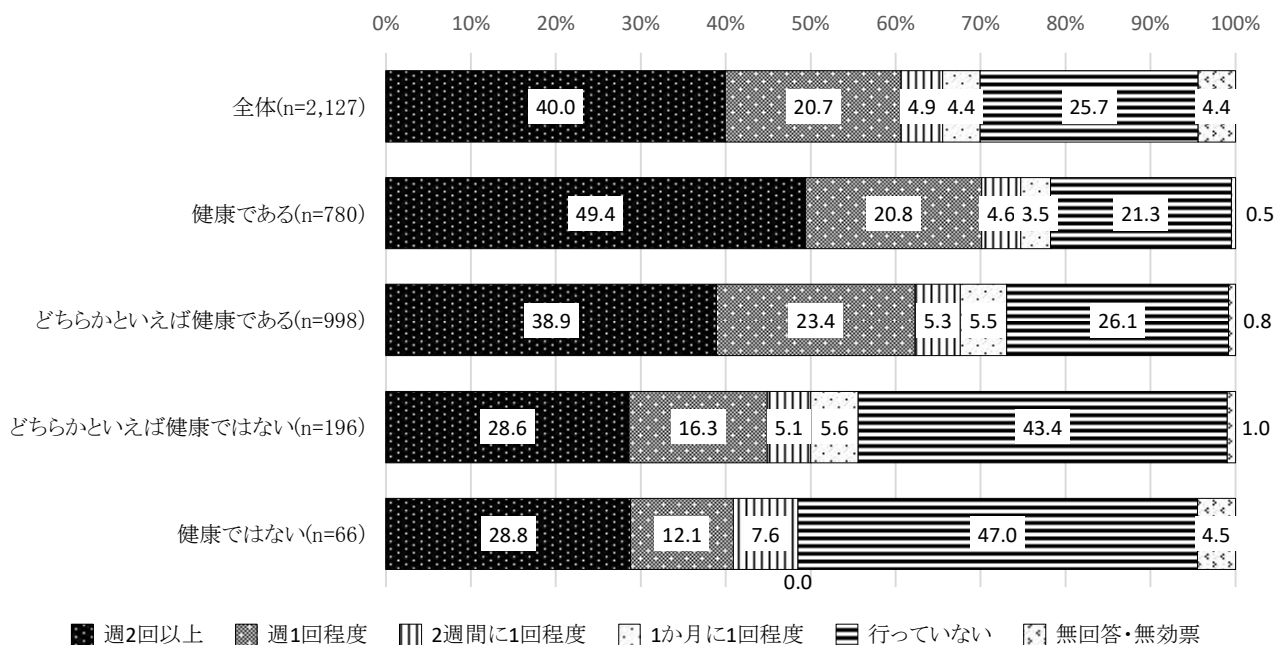
■男女別（問 24×男女別）

男女別で見ると、1回30分以上の運動をする頻度は、「週2回以上」が、男性45.1%、女性38.4%と、それぞれ「週2回以上」の割合が最も高くなっている。



■健康状態別（問 24×問 22）

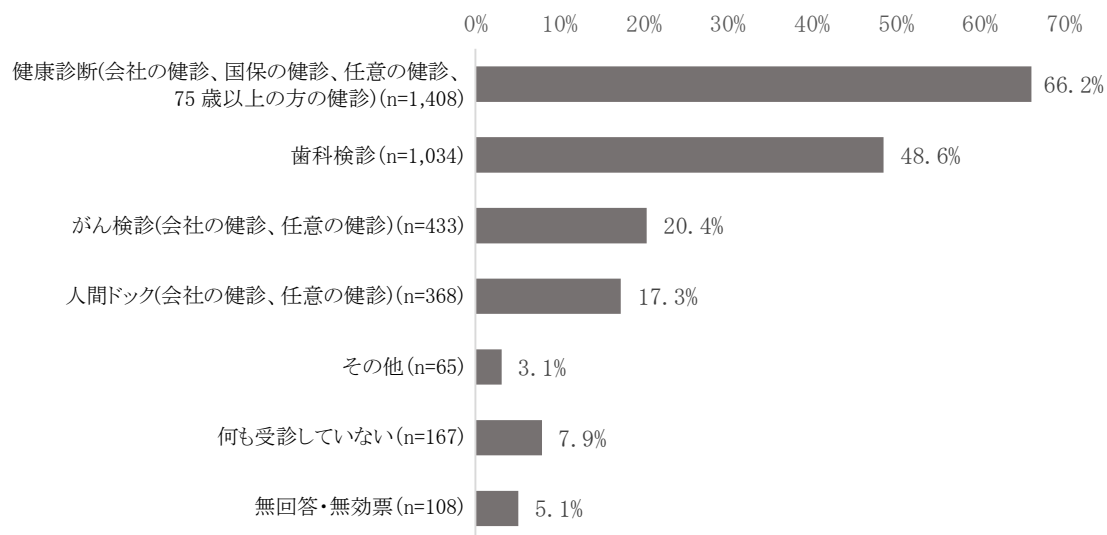
健康状態別で見ると、1回30分以上の運動をする頻度は、健康である、どちらかといえば健康である人は「週2回以上」、どちらかといえば健康ではない、健康ではない人は「行っていない」の割合がそれぞれ最も高くなっている。



問 25 概ね過去 1 年内に受診した健診・検診はありますか。(〇はいくつでも)

過去 1 年内に受診した健診・検診は、「健康診断(会社の健診、国保の健診、任意の健診、75 歳以上の方の健診)」が 66.2%と最も高く、次いで「歯科検診」が 48.6%となっている。以下、「がん検診(会社の健診、任意の健診)」が 20.4%、「人間ドック(会社の健診、任意の健診)」が 17.3%と続いている。

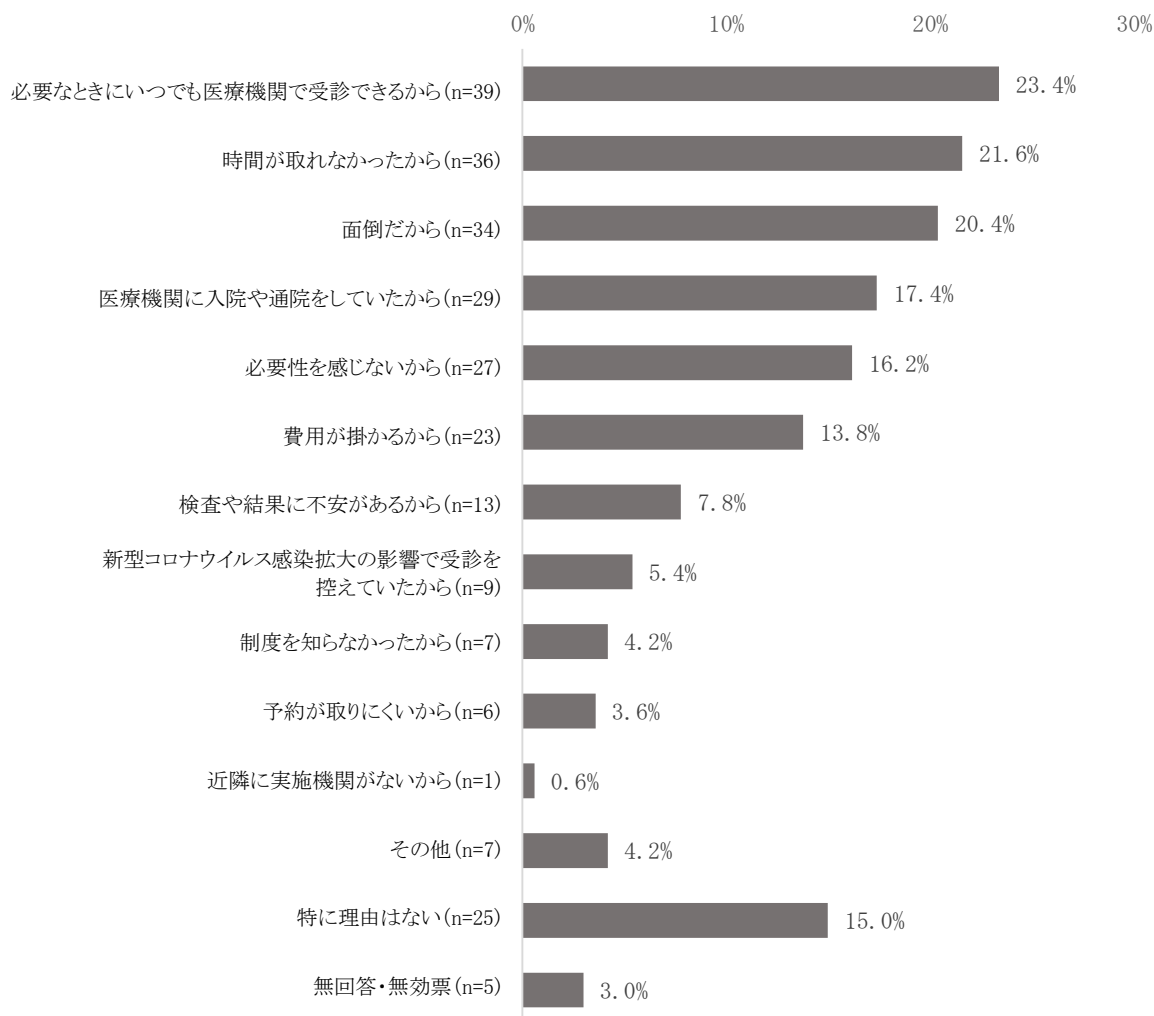
【全体集計】 n=2,127



問 25-1 受診していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)
※問 25 で「6 何も受診していない」と回答された方へ

受診していない理由は、「必要なときにいつでも医療機関で受診できるから」が 23.4%と最も高く、次いで「時間が取れなかったから」が 21.6%となっている。以下、「面倒だから」が 20.4%、「医療機関に入院や通院をしていたから」が 17.4%と続いている。

【全体集計】n=167

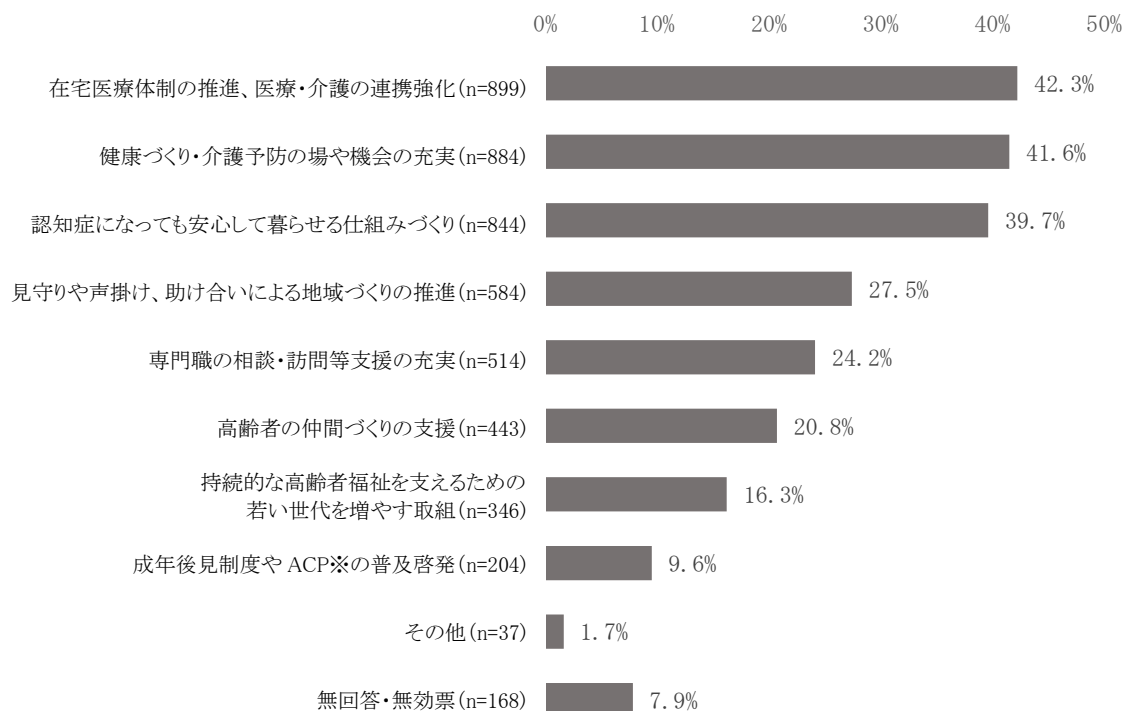


8. 高齢化対策・障害者支援について

問 26 今後、高齢者人口が増加する中で、青葉区はどの施策に力を入れていくべきと思いますか。
(○は3つまで)

どの施策に力を入れていくべきかについて、「在宅医療体制の推進、医療・介護の連携強化」が 42.3%と割合が最も高く、次いで「健康づくり・介護予防の場や機会の充実」が 41.6%となっている。以下、「認知症になっても安心して暮らせる仕組みづくり」が 39.7%、「見守りや声掛け、助け合いによる地域づくりの推進」が 27.5%と続いている。

【全体集計】 n=2,127

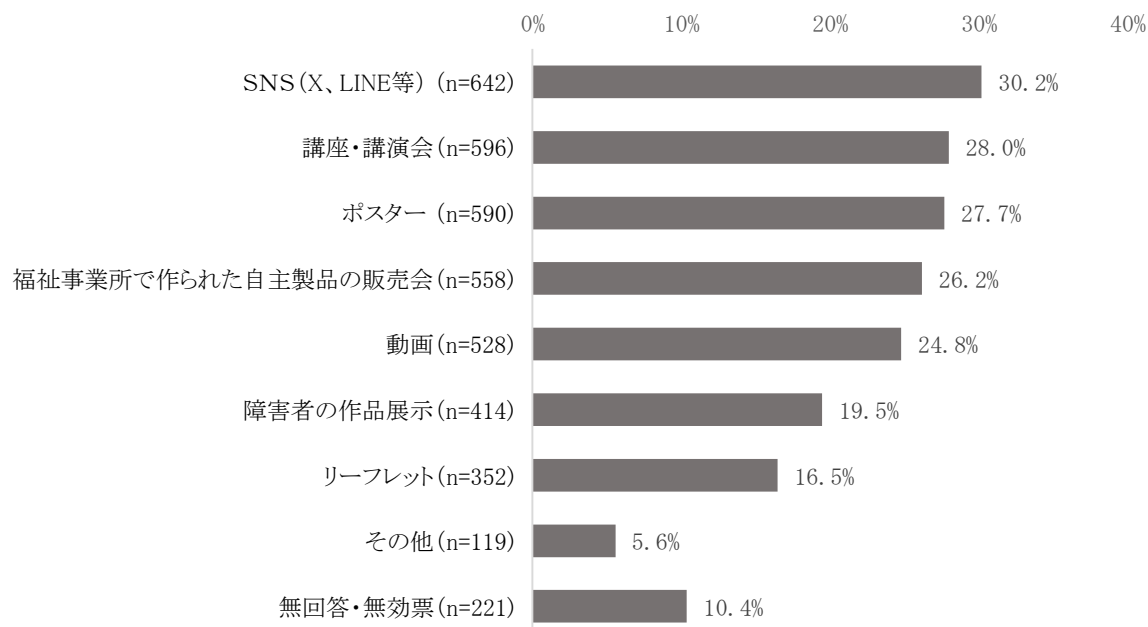


※ACP: もしものときにどのような医療やケアを望むのか、前もって考え、家族や信頼する人、医療・介護従事者たちと繰り返し話し合い、共有する「人生会議 (アドバンス・ケア・プランニング)」の略称

問 27 あなたは、どのような取組があると障害者への理解が進むと思いますか。
(〇はいくつでも)

どの取組があると障害者への理解が進むかについて、「SNS (X、LINE 等)」が 30.2%と割合が最も高く、次いで「講座・講演会」が 28.0%となっている。以下、「ポスター」が 27.7%、「福祉事業所で作られた自主製品の販売会」が 26.2%と続いている。

【全体集計】 n=2, 127

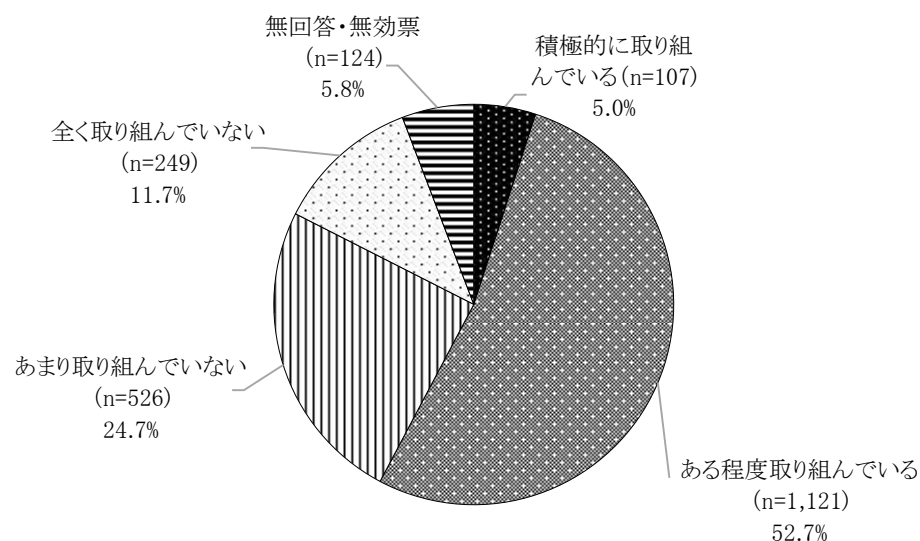


9. 脱炭素化に向けた取組について

問 28 あなたは、「脱炭素化」に向けた取組について、どの程度取り組んでいますか。
(○は1つだけ)

脱炭素化に向けた取組について、「ある程度取り組んでいる」が52.7%と割合が最も高く、次いで「あまり取り組んでいない」が24.7%となっている。以下、「全く取り組んでいない」が11.7%、「積極的に取り組んでいる」が5.0%となっている。

【全体集計】n=2,127

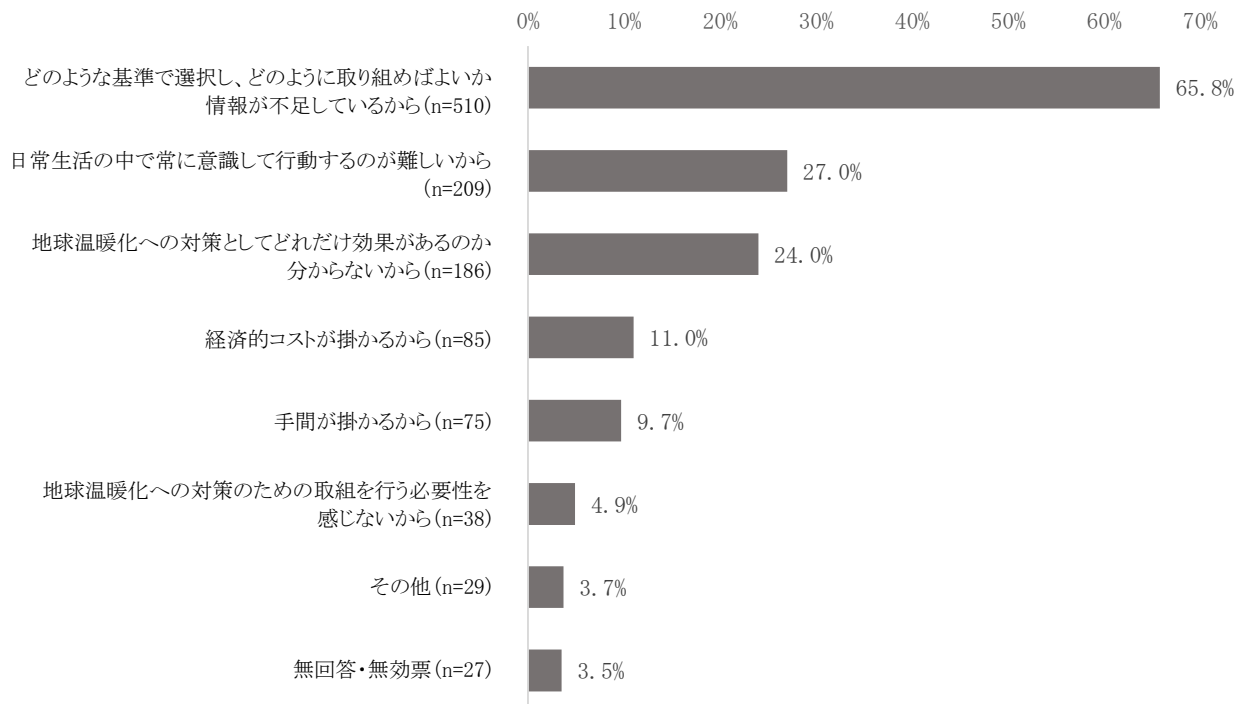


問 28- 1 その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

※問 28 で「3 あまり取り組んでいない」、「4 全く取り組んでいない」と回答された方へ

取り組んでいない理由は、「どのような基準で選択し、どのように取り組めばよいか情報が不足しているから」が 65.8%と割合が最も高く、次いで「日常生活の中で常に意識して行動するのが難しいから」が 27.0%となっている。以下、「地球温暖化への対策としてどれだけ効果があるのか分からないから」が 24.0%、「経済的コストが掛かるから」が 11.0%と続いている。

【全体集計】 n=775

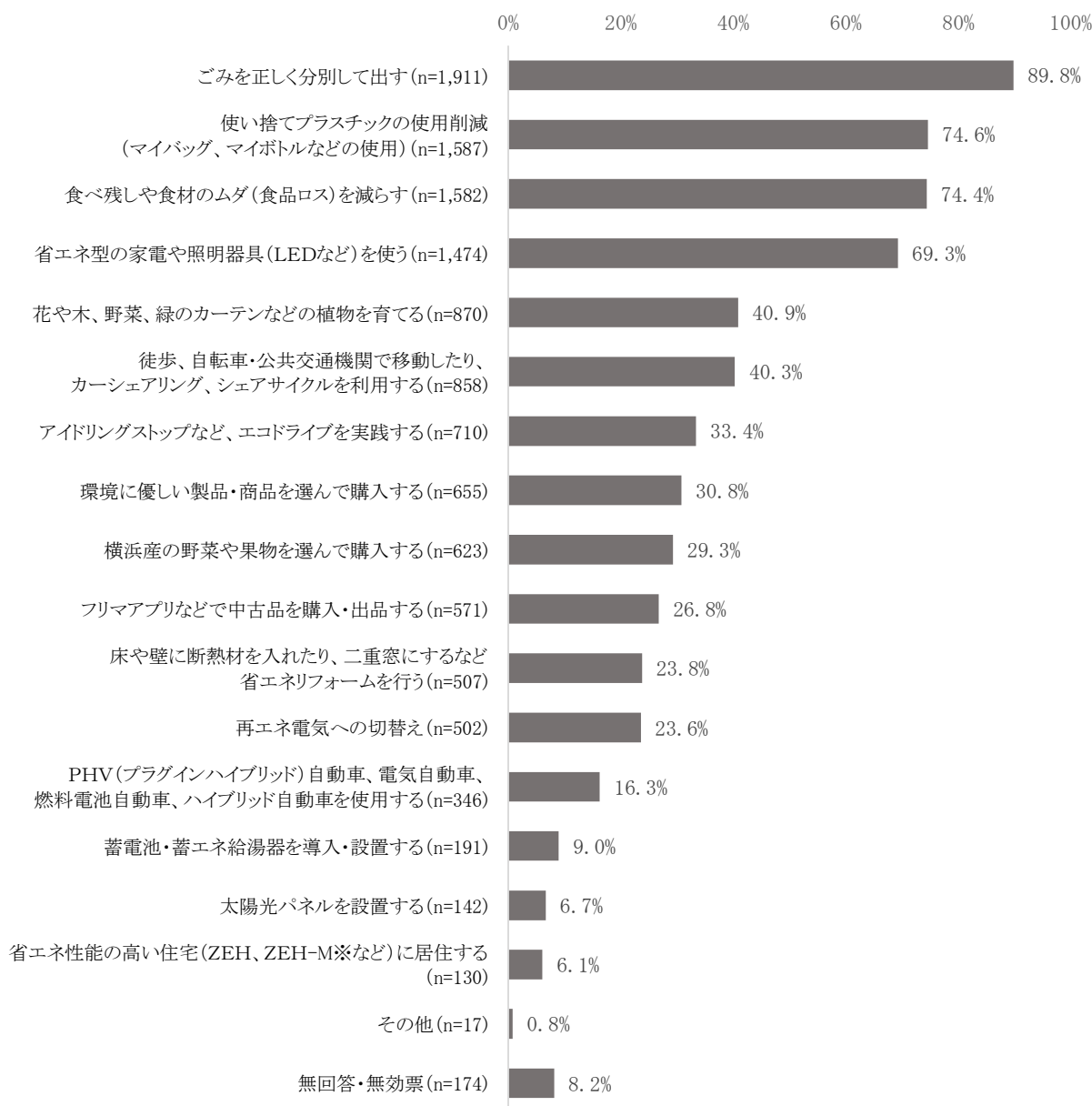


問 29 あなたが「脱炭素化」につながる行動で既に取り組んでいること、今後取り組んでみたいと思うことはありますか。（当てはまる項目に○はいくつでも）

○既に取り組んでいること

脱炭素化に向けて既に取り組んでいることは、「ごみを正しく分別して出す」が 89.8%と割合が最も高く、次いで「使い捨てプラスチックの使用削減（マイバッグ、マイボトルなどの使用）」が 74.6%となっている。以下、「食べ残しや食材のムダ（食品ロス）を減らす」が 74.4%、「省エネ型の家電や照明器具（LEDなど）を使う」が 69.3%と続いている。

【全体集計】 n=2,127

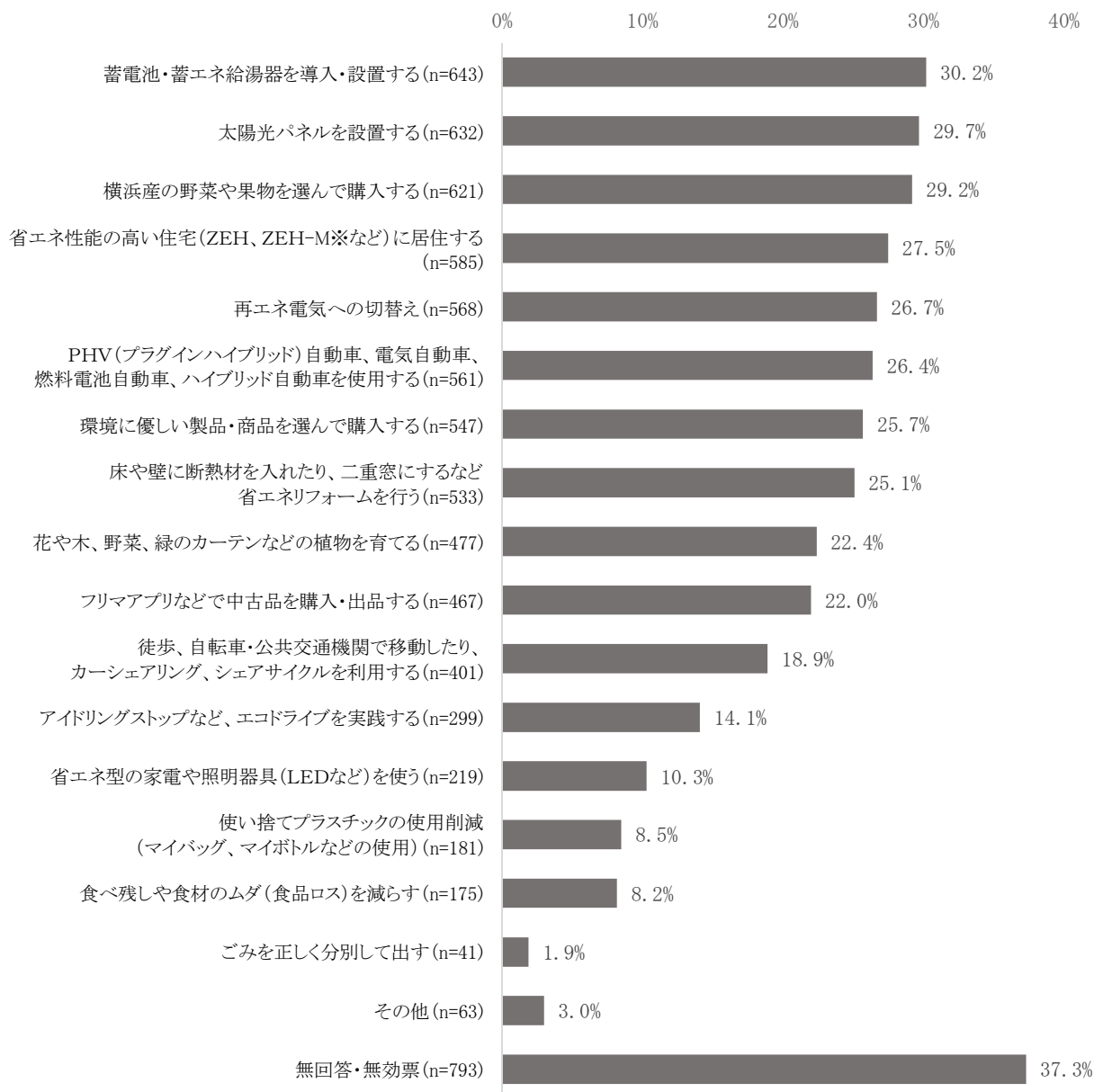


※ZEH（ゼッチ）とは、「ネット・ゼロ・エネルギーハウス」の略称で、住宅の高断熱化、高効率設備により消費エネルギーを減らし、太陽光パネルでエネルギーを作ることによって年間の消費エネルギーがゼロになる住宅をいいます。ZEHは戸建・マンションの住戸を対象とし、ZEH-Mはマンションの住棟を対象としています。

○今後取り組んでみたいと思うこと

脱炭素化に向けて今後取り組んでみたいと思うことは、「蓄電池・蓄エネ給湯器を導入・設置する」が30.2%と割合が最も高く、次いで「太陽光パネルを設置する」が29.7%となっている。以下、「横浜産の野菜や果物を選んで購入する」が29.2%、「省エネ性能の高い住宅（ZEH、ZEH-Mなど）に居住する」が27.5%と続いている。

【全体集計】 n=2,127

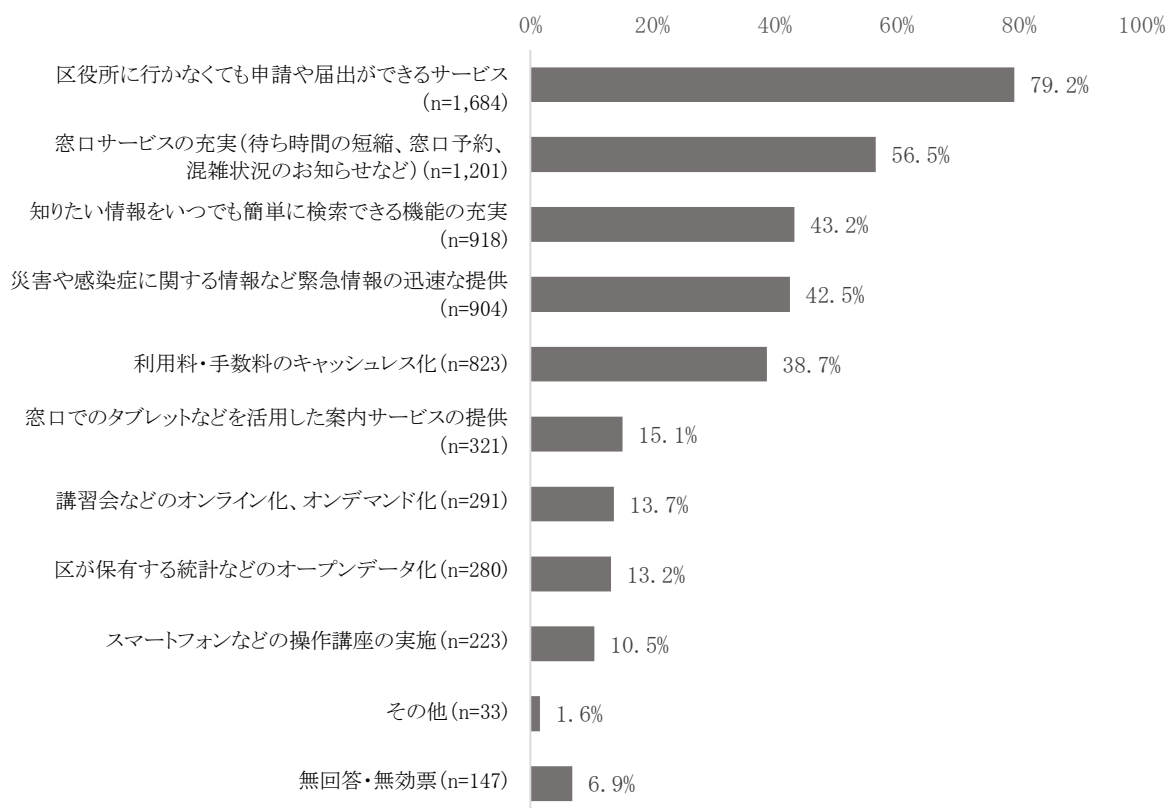


10. DX（デジタル・トランスフォーメーション）について

問 30 あなたが区役所のデジタル化に期待する分野・サービスは何ですか。（〇はいくつでも）

区役所のデジタル化に期待することは、「区役所に行かなくても申請や届出ができるサービス」が79.2%と割合が最も高く、次いで「窓口サービスの充実（待ち時間の短縮、窓口予約、混雑状況のお知らせなど）」が56.5%となっている。以下、「知りたい情報をいつでも簡単に検索できる機能の充実」が43.2%、「災害や感染症に関する情報など緊急情報の迅速な提供」が42.5%と続いている。

【全体集計】 n=2,127



Ⅲ 調査票

令和7年度 青葉区区民意識調査 ご協力のお願い

この調査は、より良い区政の運営に向け、区民の皆さまの生活環境に対する意識や区政へのニーズなどをお伺いするものです。インターネット(推奨)または郵送でご回答ください。

また、個人のお考えが直接外部に公表されることは一切ございませんので、率直なご回答をお願いいたします。なお、回答に要する時間は20分程度です。

<回答期限>

令和7年6月20日(金)まで

インターネットで回答する場合



回答用ページへの
二次元コード

左記の二次元コード、もしくは「青葉区区民意識調査」ホームページより、回答フォームにアクセスしご回答ください。

【検索方法】「横浜市青葉区 区民意識調査」と検索
→「令和7年度インターネット回答」よりアクセス

ログインID: _____ パスワード: _____

※6月21日以降はアクセスできません。

「ログインID」と「パスワード」は、重複して回答することを避けるためのものです。
個人を特定するものではありません。

郵送で回答する場合

この調査票に回答を記入



返信用封筒に入れ、ポストに投函

◆お問合せ先◆

調査機関：株式会社ジャンボ内 青葉区区民意識調査事務局 電話：045-912-2689

調査主体：横浜市青葉区 区政推進課企画調整係 電話：045-978-2216

※この調査は、区内にお住まいの18歳以上の方々5,000人を無作為に抽出して実施しております。
回答は無記名で行い、集計結果は統計的に処理をしますので、この調査により個人が特定されることはありません。集計した調査結果については、今後区のホームページなどで公開する予定です。

生活環境・定住意識・区や市への愛着について

問1 あなたは、現在のお住まいの周辺の生活環境をどのように感じていますか。 (〇は1つだけ)

1 暮らしやすい	4 どちらかという暮らしにくい
2 どちらかという暮らしやすい	5 暮らしにくい
3 どちらともいえない	

問2 あなたは、青葉区や横浜市に対して、愛着や誇りを感じていますか。

青葉区、横浜市それぞれについてお答えください。

(それぞれに〇は1つ)

青葉区	横浜市
1 感じている	1 感じている
2 やや感じている	2 やや感じている
3 どちらともいえない	3 どちらともいえない
4 あまり感じていない	4 あまり感じていない
5 まったく感じていない	5 まったく感じていない
6 わからない	6 わからない

問3 あなたが青葉区に住んだきっかけや理由は何ですか。

(〇はいくつでも)

1 子どもの頃からずっと住んでいるため	5 就職・進学のため
2 以前に住んでいたことがあるため	6 子どもの通学のため
3 青葉区に魅力を感じたため	7 結婚
4 親や子、親族と同居・近居するため	8 寮や社宅があったため

問4 あなたは、青葉区に住みつづけたいと思いますか。

(〇は1つだけ)

1 住み続けたい	4 どちらかといえば住み続けたくない
2 どちらかといえば住み続けたい	5 住み続けたくない
3 どちらとも言えない	6 その他 ()

問5 あなたは、将来、青葉区がどのようなまちであってほしいと思いますか。

(〇は3つまで)

1 快適な生活環境が整っているまち	5 若い世代が流入し、活気や活力のあるまち
2 安心して子育てできるまち	6 いきいきと生活できるまち
3 福祉サービスが充実したまち	7 災害に強いまち
4 地域での支え合いが活発なまち	8 その他 ()

問6 現在のお住まいの住環境について（ア）現在の状況と（イ）以前（4, 5年前）と比べた変化、それぞれについて該当する番号に○を付けてください。

		(ア) 現在の状況					(イ) 以前と比べて				
		よい	どちらかという とよい	どちらかという と悪い	悪い	分 か ら な い	良 く な っ た	変 わ ら な い	悪 く な っ た	分 か ら な い	
1	交通（通勤・通学など）の便	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
2	職場・学校などへの距離	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
3	日頃の買い物などの利便性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
4	保育所などの子育て環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
5	学校・塾などの教育環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
6	文化・スポーツ施設の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
7	図書館や図書に関するサービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
8	趣味や余暇活動のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
9	魅力的な飲食店の多さ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
10	病院・診療所などの地域医療	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
11	福祉サービスの充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
12	静かな住環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
13	身近にある豊かな自然環境(緑地や公園、農地が豊富)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
14	街並みや景観	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
15	まちの賑わいや活気	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
16	治安の良さ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
17	地震や風水害などの災害に強い	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
18	まちのイメージ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
19	住民の気質や感性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
20	家賃や住宅の価格	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
21	のちの開発の可能性（利便性や資産価値向上の期待）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	

問6-1 上記(1)～(21)の質問項目のうち、お住まいの住環境にとって、特にどれが重要だと思いますか。

（該当する項目の番号を3つまで記入）

--	--	--

将来について

問7 あなたは自由に使える時間ができたとき(子育て後や退職後など)、どのような生活像を描いていますか。

(○はいくつでも)

1	趣味を楽しむ	(具体的に:)
2	地域活動やボランティア活動で充実感を得る	(具体的に:)
3	新しい仕事をしたい	(具体的に:)
4	子どもや孫と一緒に生活する		
5	運動するなど健康づくりに取り組みたい		
6	特に考えていない		
7	その他 ()

問8 もし、将来、あなたに介護が必要になったとき、どのような生活を望みますか。 (○は1つだけ)

1	家族に介護してもらい、最後まで自宅で生活したい
2	在宅で利用できる介護保険サービスを受けて、最後まで自宅で生活したい
3	家族の支援と在宅で利用できる介護保険サービスを受けて、最後まで自宅で生活したい
4	公的施設(特別養護老人ホームなど)に入所したい
5	民間施設(介護付有料老人ホームなど)に入所したい
6	療養病床のある病院など、長期療養ができる病院に入院したい
7	その他 (

)

問9 あなたにとって、将来の不安に感じる点はどのようなことですか。 (○はいくつでも)

1	子育て支援の不足
2	子どもが安心して遊ぶ場の不足
3	子どもの減少による地域活力の低下
4	子どもの将来への不安(進学、就職、友だち付き合い、結婚など)
5	障害がある方への支援の不足
6	障害がある方に対する理解の不足
7	高齢者への支援の不足
8	老後の資金や終活のこと
9	自分の病気や健康、生活上の問題
10	家族の病気や健康、生活上の問題
11	景気や生活費のこと
12	困ったときに身近に相談できる人がいないこと
13	近隣の人との付き合いの希薄化
14	犯罪の増加・治安の悪化
15	事故や災害のこと
16	住宅の建て替えのこと
17	バス便の減少など交通利便性の低下
18	身近な日用品販売店(コンビニやスーパーなど)の不足
19	その他 (

)

地域のつながりについて

(○は1つだけ)

1 加入している

2 加入していない



問10で「2 加入していない」と回答された方へ

(○はいくつでも)

1 加入するメリットを感じない

5 加入の仕方が分からない

2 いろいろな役を任せられそう

6 住んでいる場所がどの自治会・町内会に

3 近所付き合いが面倒

所属しているか分からない

4 加入を勧誘されなかった

7 その他()

問11 あなたは、地域活動に参加していますか、または、参加したいと思いますか。

(当てはまる項目に○はいくつでも)

		現在参加している		参加してみたい		今は参加できないが興味がある	参加できない・するつもりはない
		参加者として	運営スタッフとして	参加者として	運営スタッフとして		
1	お祭り・運動会など地域住民交流活動						
2	エコ・環境に関する活動						
3	花・緑に関する活動						
4	健康・スポーツの活動						
5	子育てを支援する活動						
6	子どもを支援する活動						
7	高齢者を支援する活動						
8	障害がある方を支援する活動						
9	ボランティア育成に関わる活動						
10	災害に備えた助け合いの活動						
11	街並みの形成や維持保全に関わる活動						
12	その他の活動（趣味の活動など） （具体的に： ）						

問12 あなたは、地域活動に関する情報に満足していますか。

(○は1つだけ)

1 滿足

2 やや満足

3 ふつう

4 やや不満

5 不滿

6 興味・関心がない

問13 あなたが地域活動に参加する場合、期待することは何ですか。 (〇はいくつでも)

1 一緒に活動する知り合いや仲間を作りたい	5 地域貢献したい
2 家族で参加し、交流したい	6 自身の楽しみ、充実感を得たい
3 自分の知識・経験を活かしたい	7 その他 ()
4 新たな趣味を見つけたい	8 特になし

問14 あなたは、地域とどのように関わっていきたいと思いますか。 (〇は1つだけ)

1 地域(近隣)の人と普段から関わっていきたい	3 できるだけ地域とは関わらないようにしたい
2 困ったときには地域と関わりたい	4 地域と関わるつもりはない

問14で「3 できるだけ地域とは関わらないようにしたい」「4 地域と関わるつもりはない」と回答された方へ

問14-1 地域と関わりたくない理由は何ですか。 (〇は2つまで)

1 時間がないから	5 地域の情報やイベントなどに興味がないから
2 人付き合いが苦手だから	6 過去に嫌な思いをしたことがあるから
3 負担が増えるから	7 その他 (具体的に:)
4 いずれ転居するつもりだから	

問15 あなたは、地域の困っている人にどのような手助けができると思いますか。

また、少し困ったことがあった場合、地域から手助けしてもらいたいことはありますか。

(当てはまる項目に〇はいくつでも)

		手助けできること	地域に手助けしてほしいこと	将来、地域の手助けが必要になりそうなこと
1	安否確認の声掛け			
2	ちょっとした買い物やゴミ出し			
3	食事づくりや掃除・洗濯の手伝い			
4	ちょっとした力仕事			
5	通院などの送迎や外出の付添い			
6	話し相手や相談相手			
7	子どもの一時預かり			
8	気軽に行ける自由な居場所の提供			
9	食事の提供			
10	災害時の避難の手助け			
11	急に具合が悪くなった時の手助け			
12	その他 ()			

防災・防犯について

(○はいくつでも)

- 1 水や食料の備蓄（一人当たり3日以上）
- 2 非常持出袋
- 3 非常用の電源の準備
- 4 家族との連絡方法の確認
- 5 トイレバック（携帯トイレ）の準備
- 6 家具類の転倒防止
- 7 家の耐震補強
- 8 消火器の準備
- 9 感震ブレーカーの設置
- 10 ニュースなどでの気象状況の把握
- 11 ハザードマップなどで自宅周辺の危険個所を把握
- 12 横浜市避難ナビやYahoo! 防災速報などの防災アプリの入手
- 13 大きな地震が発生した時の避難場所や避難経路の確認
- 14 大雨や台風が発生した時の避難行動などの把握
- 15 その他（ ）
- 16 特に対策をしていない

(○は1つだけ)

- 1 自宅

2 避難所（地域防災拠点）

3 親戚や友人等の家

4 車の中

5 その他（ ）

問17で「2 避難所（地域防災拠点）」と回答された方へ

(○はいくつでも)

- | | |
|---|--------------------------|
| 1 | 余震など自宅で避難生活をおくることが不安だから |
| 2 | 停電や断水など、自宅で生活することが不安だから |
| 3 | 避難所の方が自宅より倒壊の可能性が低いから |
| 4 | 水や食料など支援物資がもらえるから |
| 5 | 被害状況や生活支援等に関する情報が得られるから |
| 6 | トイレ等の避難所の施設を利用できるから |
| 7 | 集団生活のため、見守りやサポートが受けられるから |
| 8 | その他（ |

※災害時要援護者とは、災害時に何らかの助けが必要になる方（高齢者、障害者、妊婦、乳幼児、傷病者など自力では避難が困難と思われる方）を指します。（〇は1つだけ）

1 はい 2 いいえ

問18-1 あなたやあなたと一緒に住んでいる家族で、災害発生時の対応としてあてはまるものに○を
してください。 (○は1つだけ)

- 1 自力で避難、または家族と一緒に避難をする
- 2 自治会・町内会や近所の人が避難を手伝ってもらい避難をする
- 3 あおば災害ネット（自治会・地域防災拠点等による避難支援の取組）により避難をする
- 4 自治会・町内会や近所の人の助けを借りたいと思っているが、どうしたらいいかわからない
- 5 あまり災害時のことを想定していない

- 1 在宅時でも必ず施錠する
- 2 自宅のドアには複数の補助錠を取り付けている
- 3 自宅に防犯カメラやセンサーライトを取り付けている
- 4 自宅への来訪者は、ドアスコープ等で確認してから対応している
- 5 自宅に多額の現金を保管していない
- 6 通話内容の録音機能のある電話機を使用している
- 7 自転車から離れる際には必ず施錠する
- 8 自転車は付属の鍵以外にチェーン錠をかけるなどダブルロックをしている
- 9 夜間帯に一人で歩くときは、なるべく人通りの多い明るい場所を歩くようにしている

- 1 地域住民による防犯パトロールなどの自主防犯活動
- 2 講演会、講習会、防犯教室などによる個人の防犯意識向上
- 3 防犯カメラの設置
- 4 夜間の屋外照明の設置
- 5 不審者情報などの情報提供
- 6 清掃活動・落書き消去等の環境整備
- 7 警察による取締りやパトロール強化
- 8 その他（ ）

広報について

(○はいくつでも)

- | | |
|--|----------------------------|
| 1 広報よこはま青葉区版 | 15 テレビ・ラジオ |
| 2 横浜市（青葉区）WEB サイト | 16 一般のウェブサイト（パソコン） |
| 3 横浜市（青葉区）X（旧Twitter） | 17 一般のウェブサイト（携帯電話・スマートフォン） |
| 4 横浜市 LINE 公式アカウント | 18 タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパー |
| 5 横浜市公式YouTube | 19 電車やバスなどの交通広告 |
| 6 地域 SNS アプリ「ピアッツァ」 | 20 家族・親族から |
| 7 子育て応援系 YouTube チャンネル
「なしかちゃんねる」 | 21 友人・知人から |
| 8 Instagram 「おかわりなしかちゃんねる」 | 22 区役所窓口・区民活動支援センター |
| 9 横浜市子育て応援アプリ「パマトコ」 | 23 地区センター・コミュニティハウス |
| 10 Instagram・Facebook
「あおば GREEN DAY」 | 24 地域ケアプラザ |
| 11 広報テレビ番組「あおバリューTV」 | 25 自治会・町内会 |
| 12 広報ラジオ番組「あおバリューRadio」 | 26 保育園・幼稚園・学校 |
| 13 FM サルースアプリ「エフエムプラブラ」 | 27 地域の居場所 |
| 14 新聞・書籍 | 28 その他（ ） |
| | 29 特に把握をしていない |

健康について

問22 あなたの健康状態はいかがですか。最近の状況に最も近いものに○をしてください。

(○は1つだけ)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 健康である | 2 どちらかといえば健康である |
| 3 どちらかといえば健康ではない | 4 健康ではない |

問23 あなたは、ご自身の健康のためにどのようなことに気を付けていますか。

※印の質問は、20歳以上の方のみお答えください。

(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|----------------------------------|
| 1 なるべく体を動かしたり、運動したりする | 7 定期的に歯科医を受診するなどにより、
お口のケアを行う |
| 2 食事に気を付ける | 8 ※タバコを吸わない、やめた、または本数を減らした |
| 3 休養や睡眠を十分に取る | 9 ※お酒を飲みすぎない |
| 4 日頃から体重や血圧などのチェックをする | 10 その他 () |
| 5 定期的に健康診断を受ける | 11 特にしていない |
| 6 ストレスの解消を心掛ける | |

問24 あなたは、1回30分以上の運動をどのくらいの頻度で行っていますか。

(○は1つだけ)

- | | | |
|------------|----------|------------|
| 1 週2回以上 | 2 週1回程度 | 3 2週間に1回程度 |
| 4 1か月に1回程度 | 5 行っていない | |

問25 概ね過去1年内に受診した健診・検診はありますか。

(○はいくつでも)

- | |
|--------------------------------------|
| 1 健康診断(会社の健診、国保の健診、任意の健診、75歳以上の方の健診) |
| 2 歯科検診 |
| 3 がん検診(会社の健診、任意の健診) |
| 4 人間ドック(会社の健診、任意の健診) |
| 5 その他 () |
| 6 何も受診していない |

問25で「6 何も受診していない」と回答された方へ

問25-1 受診していない理由は何ですか。

(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|------------------|
| 1 医療機関に入院や通院をしていたから | 7 時間が取れなかったから |
| 2 必要なときにいつでも医療機関で受診できるから | 8 制度を知らなかったから |
| 3 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で
受診を控えていたから | 9 面倒だから |
| 4 費用が掛かるから | 10 必要性を感じないから |
| 5 予約が取りにくいから | 11 検査や結果に不安があるから |
| 6 近隣に実施機関がないから | 12 その他 () |
| | 13 特に理由はない |

高齢化対策・障害者支援について

問26 今後、高齢者人口が増加する中で、青葉区はどの施策に力を入れていくべきと思いますか。

(〇は3つまで)

- 1 健康づくり・介護予防の場や機会の充実
- 2 高齢者の仲間づくりの支援
- 3 見守りや声掛け、助け合いによる地域づくりの推進
- 4 認知症になっても安心して暮らせる仕組みづくり
- 5 専門職の相談・訪問等支援の充実
- 6 在宅医療体制の推進、医療・介護の連携強化
- 7 成年後見制度やACP※の普及啓発
- 8 持続的な高齢者福祉を支えるための若い世代を増やす取組
- 9 その他 ()

※ACP：もしものときにどのような医療やケアを望むのか、前もって考え、家族や信頼する人、医療・介護従事者たちと繰り返し話し合い、共有する「人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）」の略称

問27 あなたは、どのような取組があると障害者への理解が進むと思いますか。 (〇はいくつでも)

- | | | |
|----------|-------------------|-----------------|
| 1 ポスター | 4 障害者の作品展示 | 6 講座・講演会 |
| 2 動画 | 5 福祉事業所で作られた自主製品の | 7 SNS (X、LINE等) |
| 3 リーフレット | 販売会 | 8 その他 () |

問29 あなたが「脱炭素化」につながる行動で既に取り組んでいること、今後取り組んでみたいと思うことはありますか。
(当てはまる項目に○はいくつでも)

		既に取り組んでいること	今後取り組んでみたいと思うこと
1	ごみを正しく分別して出す		
2	使い捨てプラスチックの使用削減（マイバッグ、マイボトルなどの使用）		
3	フリマアプリなどで中古品を購入・出品する		
4	食べ残しや食材のムダ（食品ロス）を減らす		
5	横浜産の野菜や果物を選んで購入する		
6	環境に優しい製品・商品を選んで購入する (原料の調達や製造過程で環境に配慮しているものなど)		
7	花や木、野菜、緑のカーテンなどの植物を育てる		
8	省エネ型の家電や照明器具（LEDなど）を使う		
9	再エネ電気への切替え		
10	太陽光パネルを設置する		
11	床や壁に断熱材を入れたり、二重窓にするなど省エネリフォームを行う		
12	蓄電池・蓄エネ給湯器を導入・設置する		
13	省エネ性能の高い住宅（ZEH、ZEH-M※など）に居住する		
14	徒歩、自転車・公共交通機関で移動したり、カーシェアリング、シェアサイクルを利用する		
15	アイドリングストップなど、エコドライブを実践する		
16	PHV（プラグインハイブリッド）自動車、電気自動車、燃料電池自動車、ハイブリッド自動車を使用する		
17	その他（ ）		

※ZEH（ゼッチ）とは、「ネット・ゼロ・エネルギーハウス」の略称で、住宅の高断熱化、高効率設備により消費エネルギーを減らし、太陽光パネルでエネルギーを作ることによって年間の消費エネルギーがゼロになる住宅をいいます。ZEHは戸建・マンションの住戸を対象とし、ZEH-Mはマンションの住戸を対象としています。

DX（デジタル・トランスフォーメーション）について

問30 あなたが区役所のデジタル化に期待する分野・サービスは何ですか。(〇はいくつでも)

問30 あなたが区役所のデジタル化に期待する分野・サービスは何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 区役所に行かなくても申請や届出ができるサービス
- 2 利用料・手数料のキャッシュレス化
- 3 窓口サービスの充実（待ち時間の短縮、窓口予約、混雑状況のお知らせなど）
- 4 窓口でのタブレットなどを活用した案内サービスの提供
- 5 災害や感染症に関する情報など緊急情報の迅速な提供
- 6 知りたい情報をいつでも簡単に検索できる機能の充実
- 7 スマートフォンなどの操作講座の実施
- 8 区が保有する統計などのオープンデータ化
- 9 講習会などのオンライン化、オンデマンド化
- 10 その他（ ）

(○は1つだけ)

1 会社員・公務員・団体職員など（フルタイム）
2 自営業・自由業
3 アルバイト・パート
4 学生
5 家事専業
6 就労していない
7 その他（ ）

F7で「1 会社員・公務員・団体職員など」～「4 学生」の中から回答された方へ

(○は1つだけ)

1 青葉区内	5 東京都 23 区内
2 青葉区以外の横浜市内	6 自宅（在宅勤務やオンライン授業など）
3 川崎市内	7 その他（ ）
4 町田市内	

(○は1つだけ)

1 持家（一戸建て）	4 借家（マンション・共同住宅・社宅・寮など）
2 持家（マンション・共同住宅）	5 その他（ ）
3 借家（一戸建て）	

F 9 あなたは、青葉区（平成5年以前は緑区北部支所管内）にどのくらいの期間お住まいになっていますか。（〇は1

1	5 年未満	4	20 年以上～30年未満
2	5 年以上～10 年未満	5	30 年以上
3	10 年以上～20 年未満		

区政について

本調査でお尋ねした内容や青葉区政全般について、具体的なご意見、ご要望、ご提案がありましたら自由にご記入ください。

--

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、同封の返信用封筒に入れ、6月20日（金）までにご投函ください。

※切手の貼付は不要です。

※返信用封筒には住所氏名を記入しないでください。

令和 7 年度 青葉区区民意識調査 調査結果報告書

発行年月 令和 8 年 1 月

発 行 青葉区 総務部 区政推進課 企画調整係
〒225-0024 横浜市青葉区市ヶ尾町 31 番地 4
TEL 045 (978) 2216 FAX 045 (978) 2411